

令和6年度 子育て意識・状況調査分析

株式会社 新学社 ポピー事業部

協力/公益財団法人 日本教材文化研究財団

指導・監修/帝京大学・佐藤晴雄先生

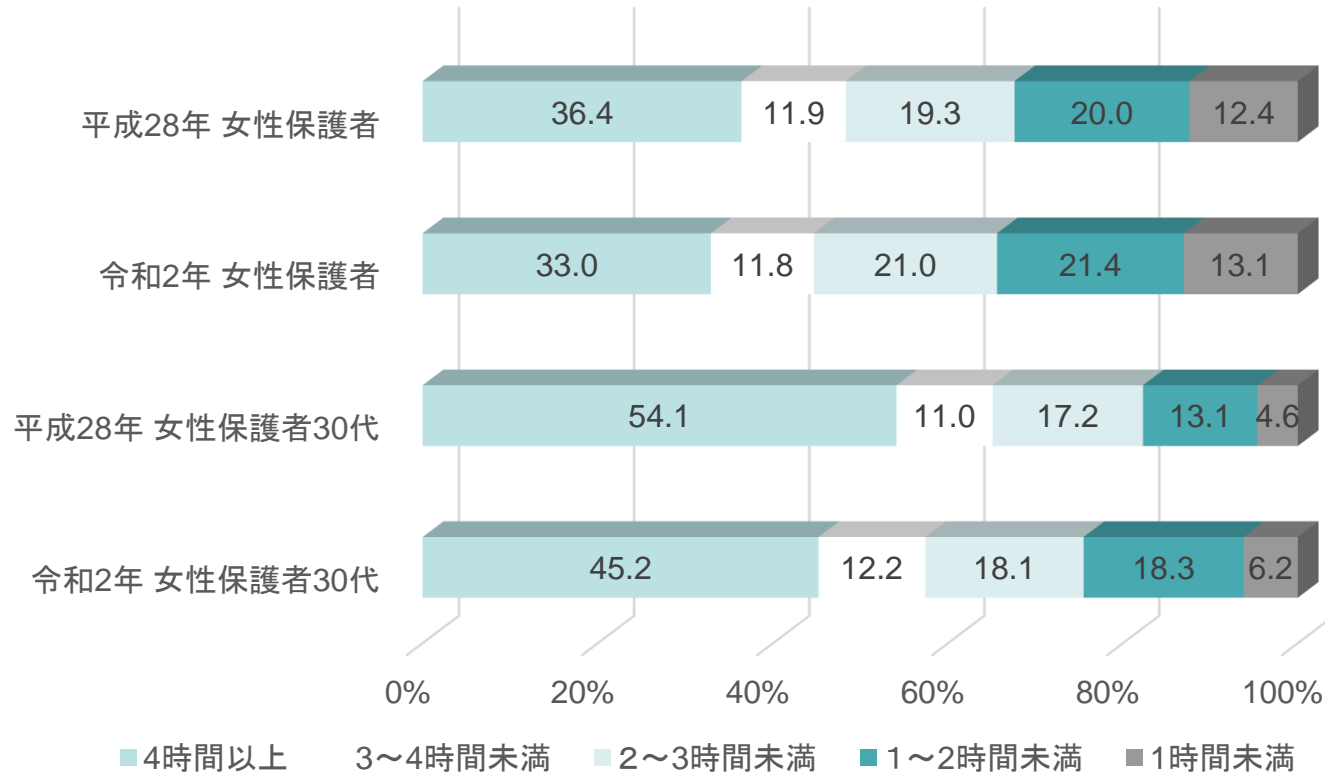
日本大学・佐久間邦友先生

目次

令和6年度 家庭の子育ての現状	3
子育て意識・状況調査分析の趣旨と狙い	6
関わり時間が少ない保護者の傾向	7
関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向	10
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント	32
「子どもをほめる」関わり、平成29年ポピー会員調査との比較 ※参考	90
全家研運動展開への反映	96
まとめ	102

令和6年度 家庭の子育ての現状

女性保護者の平日の子どもと触れ合う時間



文部科学省委託調査「家庭教育の総合的推進に関する調査研究」より

※0~18歳の子供を持つ保護者にインターネット調査。

n=平成28年1,688人(30代518人)

令和2年1,872人(30代580人)

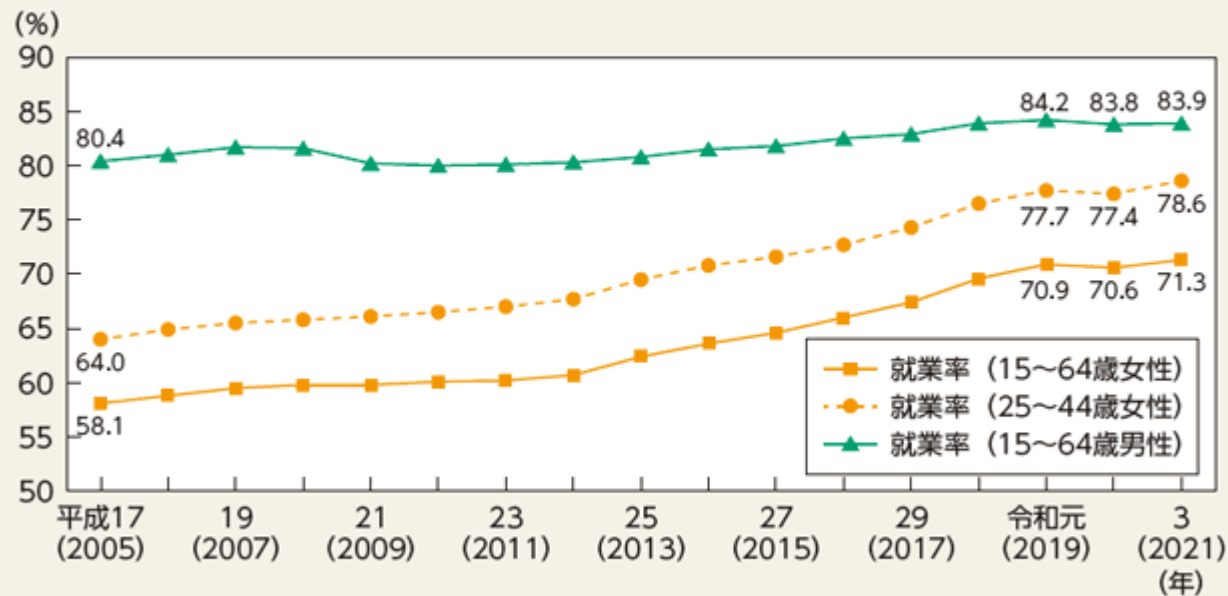
子どもとの関わり時間が減少、特に働き盛りの30代女性保護者の子どもとの関わり時間が減っている。

令和6年度 家庭の子育ての現状

子どもとの関わる時間が減少することは必然①～母親の社会進出～

2-2図 女性就業率の推移

○就業率は、近年男女ともに上昇傾向。令和2（2020）年は前年より低下したが、令和3（2021）年は、15～64歳の女性は71.3%、25～44歳の女性は78.6%、15～64歳の男性は83.9%。



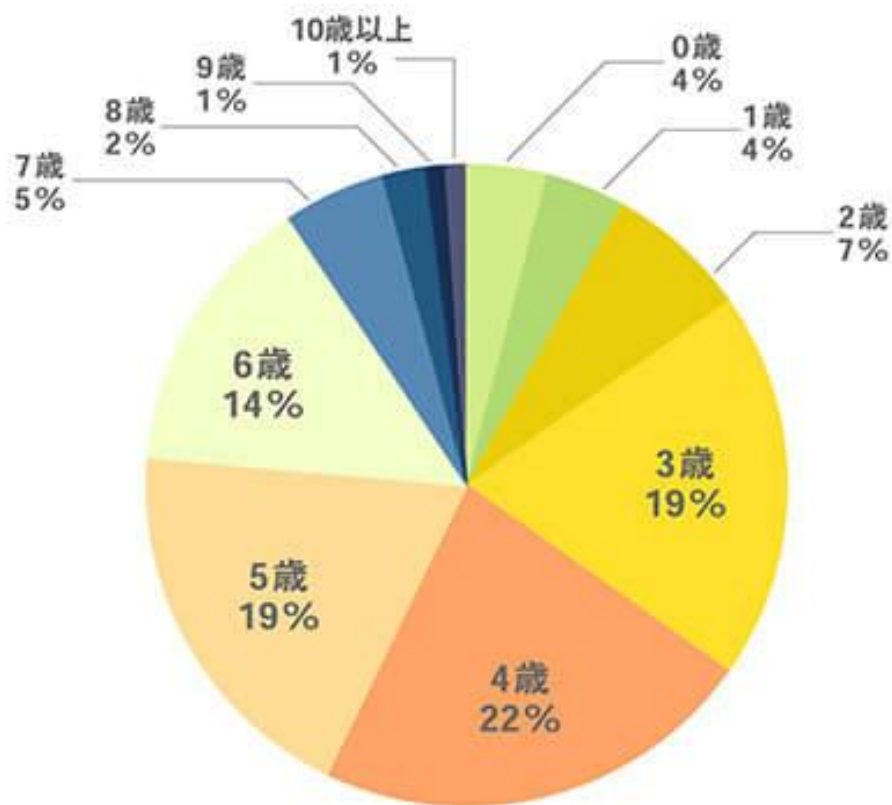
(備考) 1. 総務省「労働力調査（基本集計）」より作成。
2. 平成23（2011）年の就業率は、総務省が補完的に推計した値。

出典：男女共同参画局 男女共同参画白書令和4年度版
https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r04/zentai/html/zuhyo/zuhyo02-02.html

令和6年度 家庭の子育ての現状

子どもとの関わる時間が減少することは必然②～子どもの多忙化～

お子さまが習い事を始めた年齢は？



出典:ベネッセ 習い事についてのアンケート
<https://benesse.jp/kosodate/202403/20240307-1.html>

子育て意識・状況調査分析の趣旨と狙い

より良い「親子関係」「家庭教育」の確立、「10分よりそい運動」の推進につながるサポート、情報提供を創出するため、「子育て意識・状況 インターネットアンケート調査※」の結果に対しクロス集計、相関分析を実施、下記の把握を行った。

1. 子どもとの関わり時間を持ちにくい家庭の傾向、課題のポイントは何か。
2. より良い「親子関係」「家庭教育」を実現する上での行動、意識のポイント。
子どもとの関わり時間を持ちにくい家庭でも、できることは何か。

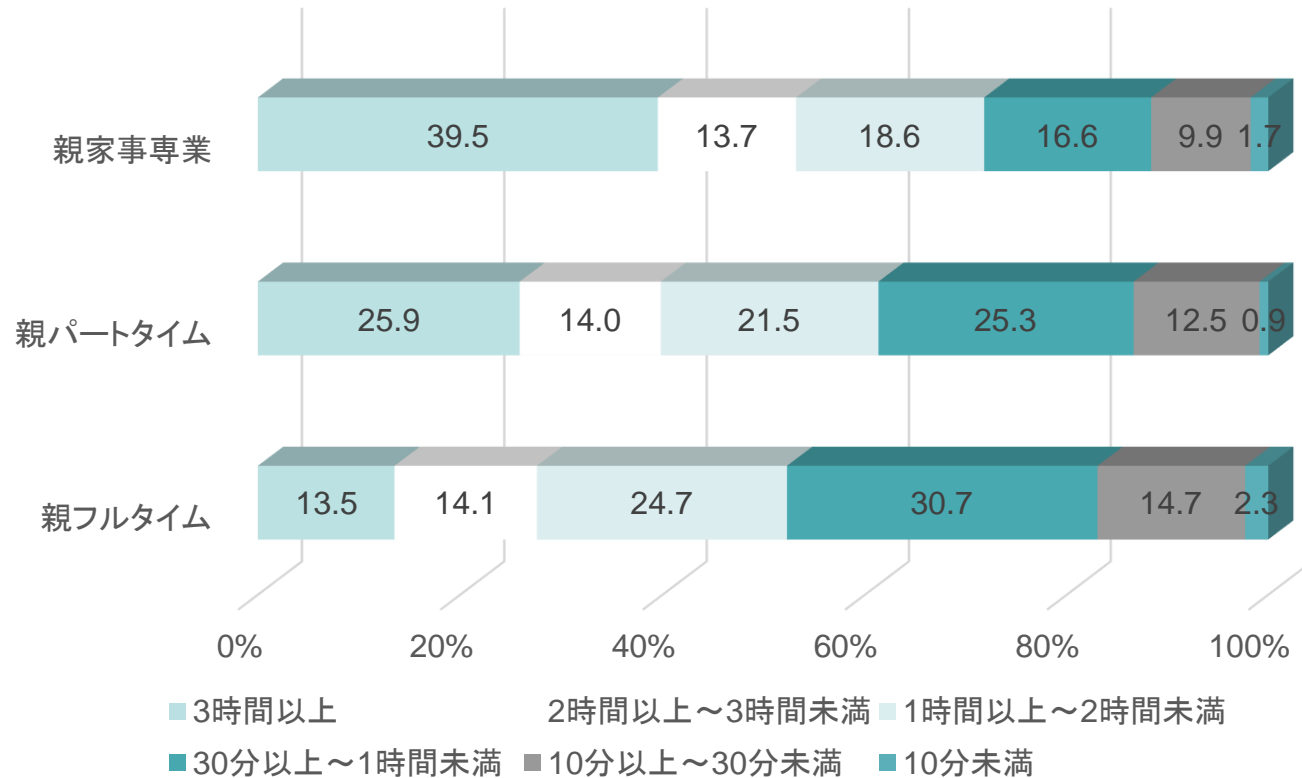
※「子育て意識・状況 インターネットアンケート調査」

令和6年5月下旬、調査会社マクロミルに委託し実施。2歳～小学4年生の子どもの保護者約1,000人が対象。

対象者の属性、アンケート質問項目と質問ごとの回答集計データは、「アンケート基礎データ」に記載。

関わり時間が少ない保護者の傾向

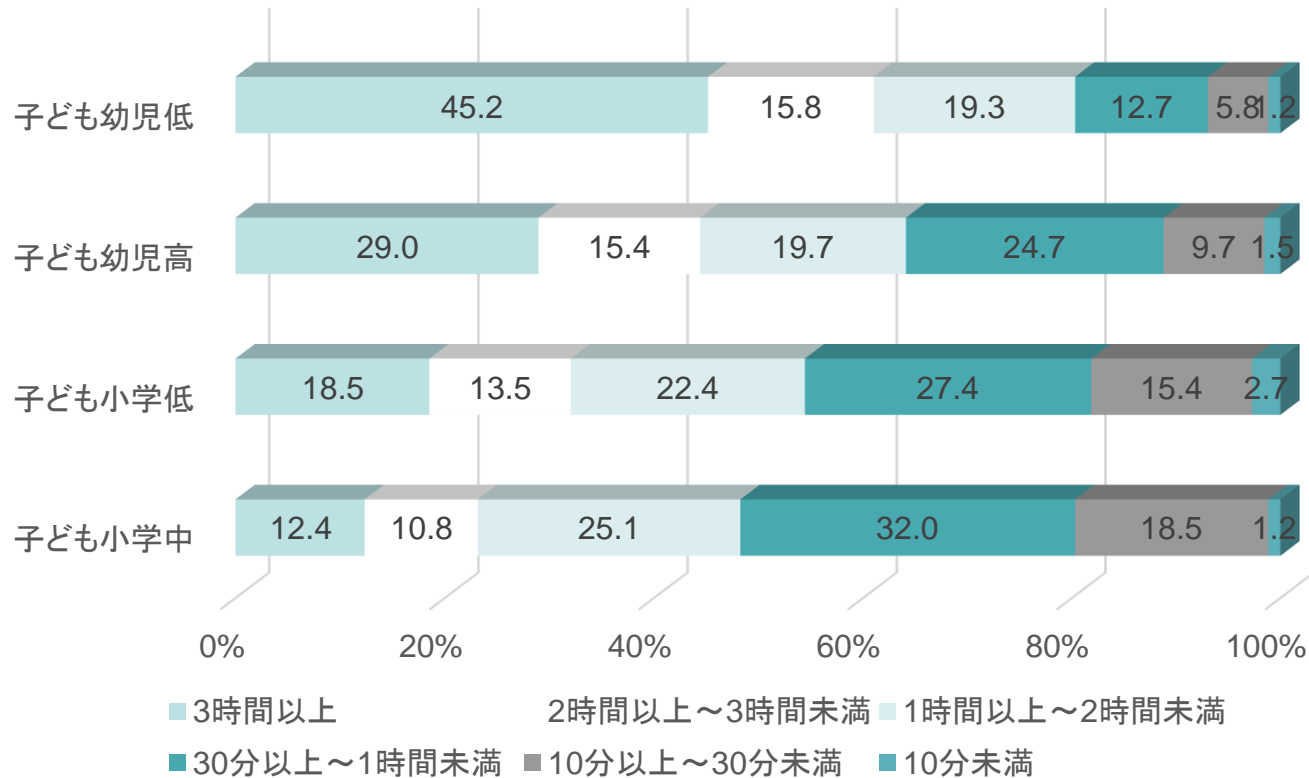
親の就業形態別 平日の子どもと関わる時間



フルタイム就業親の子どもとの関わり時間がやはり短く、47.7%が1時間未満。
家事専業でも28.2%が1時間未満。

関わり時間が少ない保護者の傾向

子どもの学齢別 平日の子どもと関わる時間



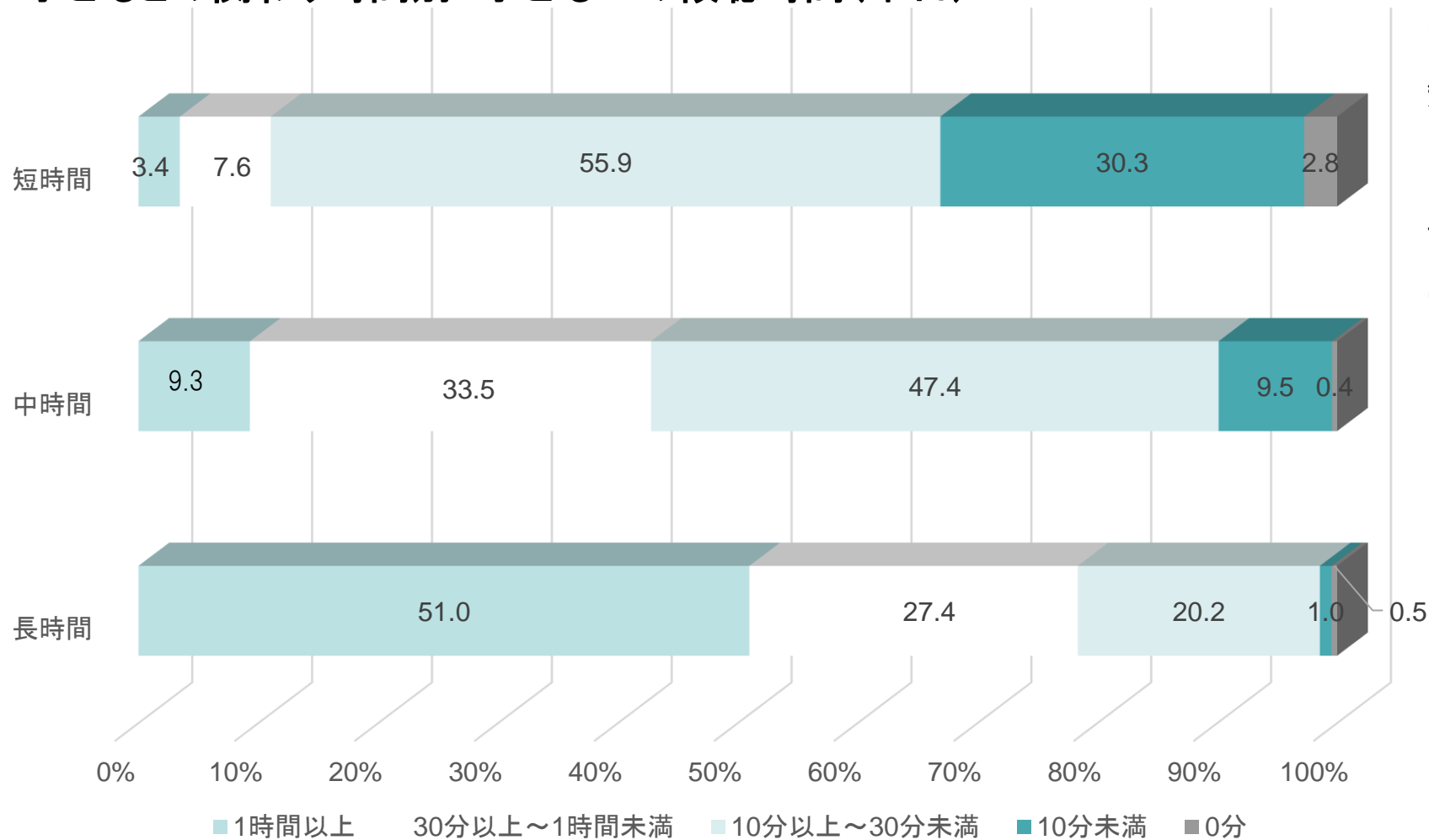
小学校入学前の幼児高学齢でも、35.9%は1日の関わり時間が1時間未満。

小学校入学後の低学年で、45.5%が1日の関わり時間が1時間未満。

学齢が上がるにつれ、子どもとの関わり時間は短くなる。

関わり時間が少ない保護者の傾向

子どもとの関わり時間別 子どもへの傾聴時間(平日)



※縦軸が平日の子どもとの関わり時間

短時間=30分未満 n=145

中時間=30分以上2時間未満 n=475

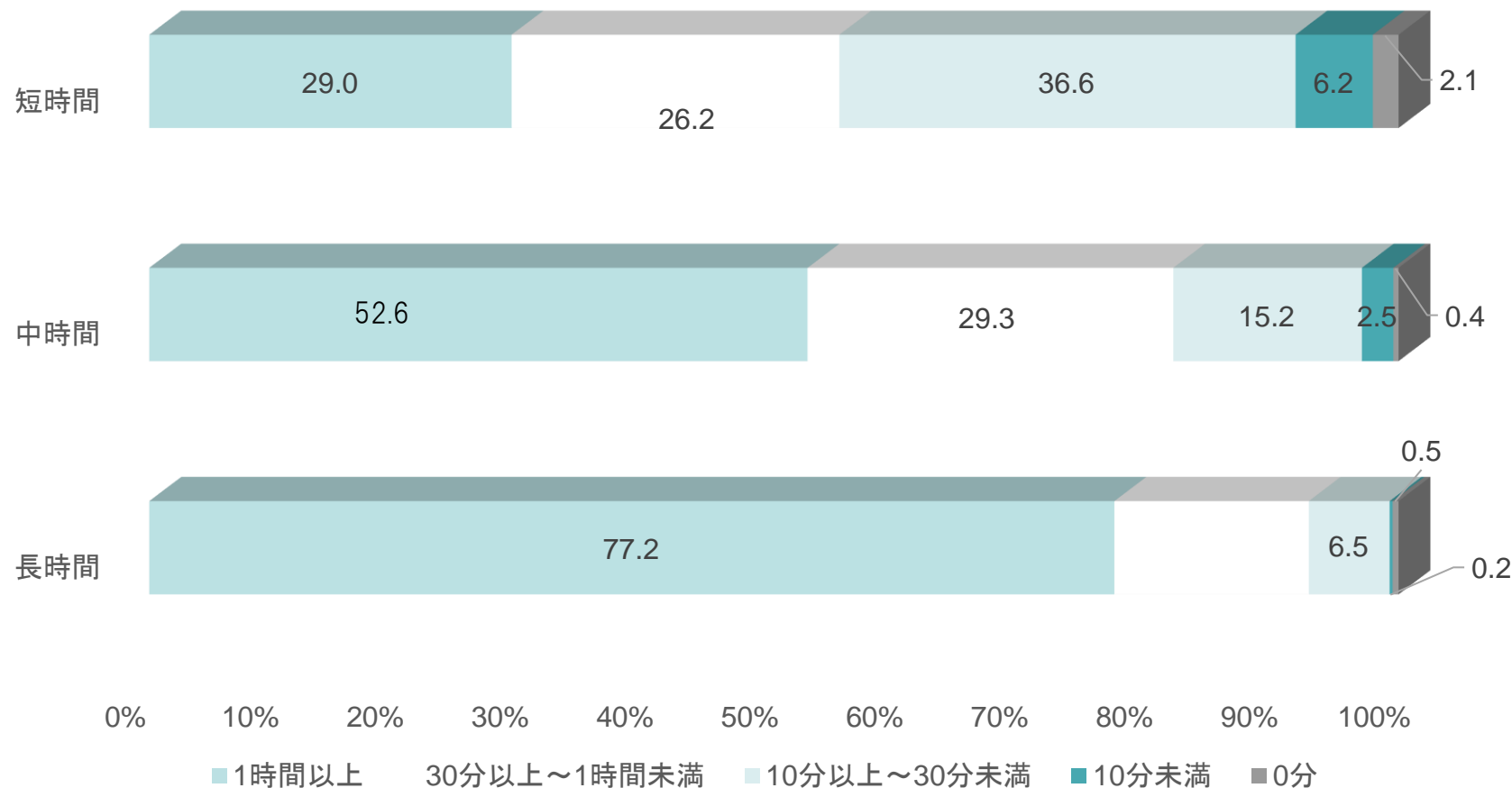
長時間=2時間以上 n=416

※短・中・長時間の基準以下同

横軸が傾聴時間(平日)

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもとの関わり時間別 子どもへの傾聴時間(休日)



※縦軸が平日の子どもとの関わり時間
横軸が傾聴時間(休日)

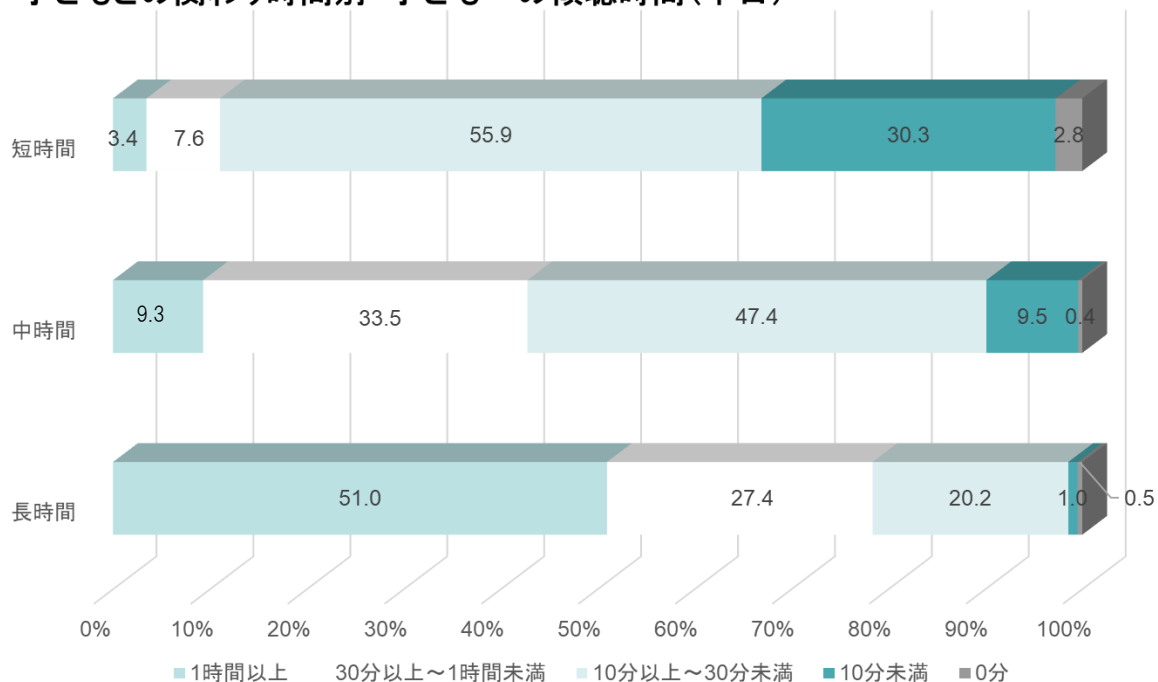
子どもとの関わり時間が短い親は、
休日でも子どもへの傾聴時間を
取りにくい(取れていない)。
4割強が30分未満。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

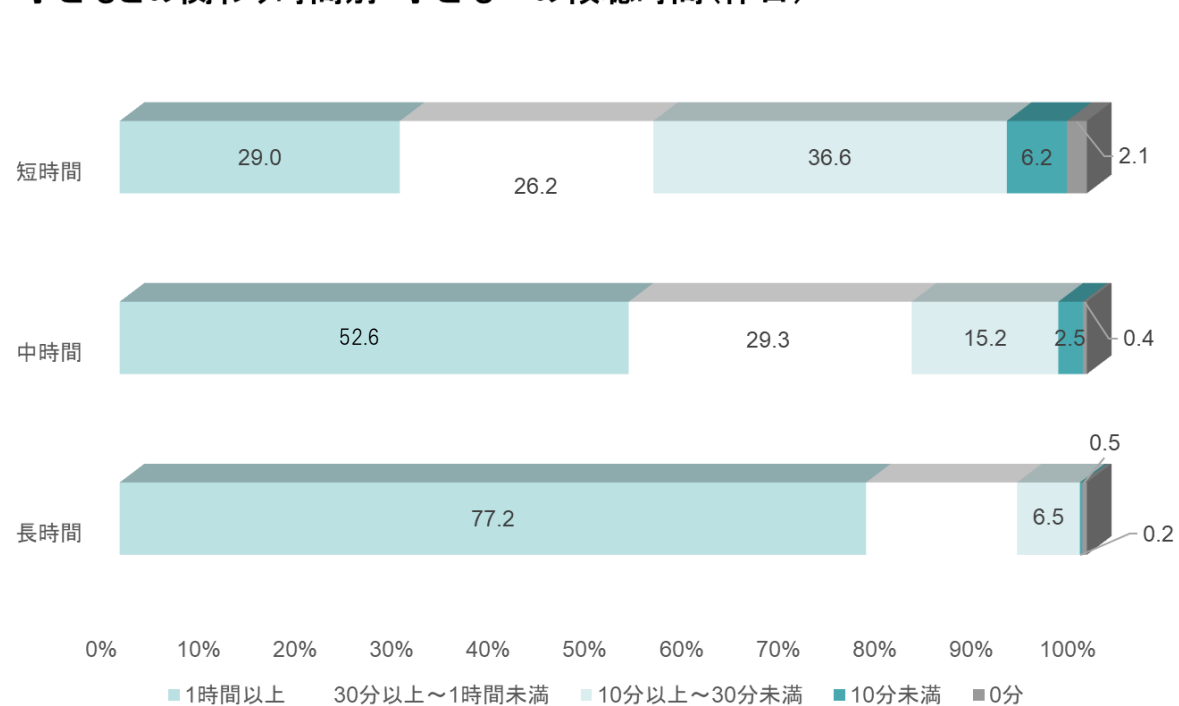
子どもへの傾聴時間

- ・すべての時間(長・中・短)において、「1時間以上」と回答した割合は、平日<休日
- ・すべての時間(長・中・短)において、平日・休日ともに「0分」「10分未満」の存在

子どもとの関わり時間別 子どもへの傾聴時間(平日)

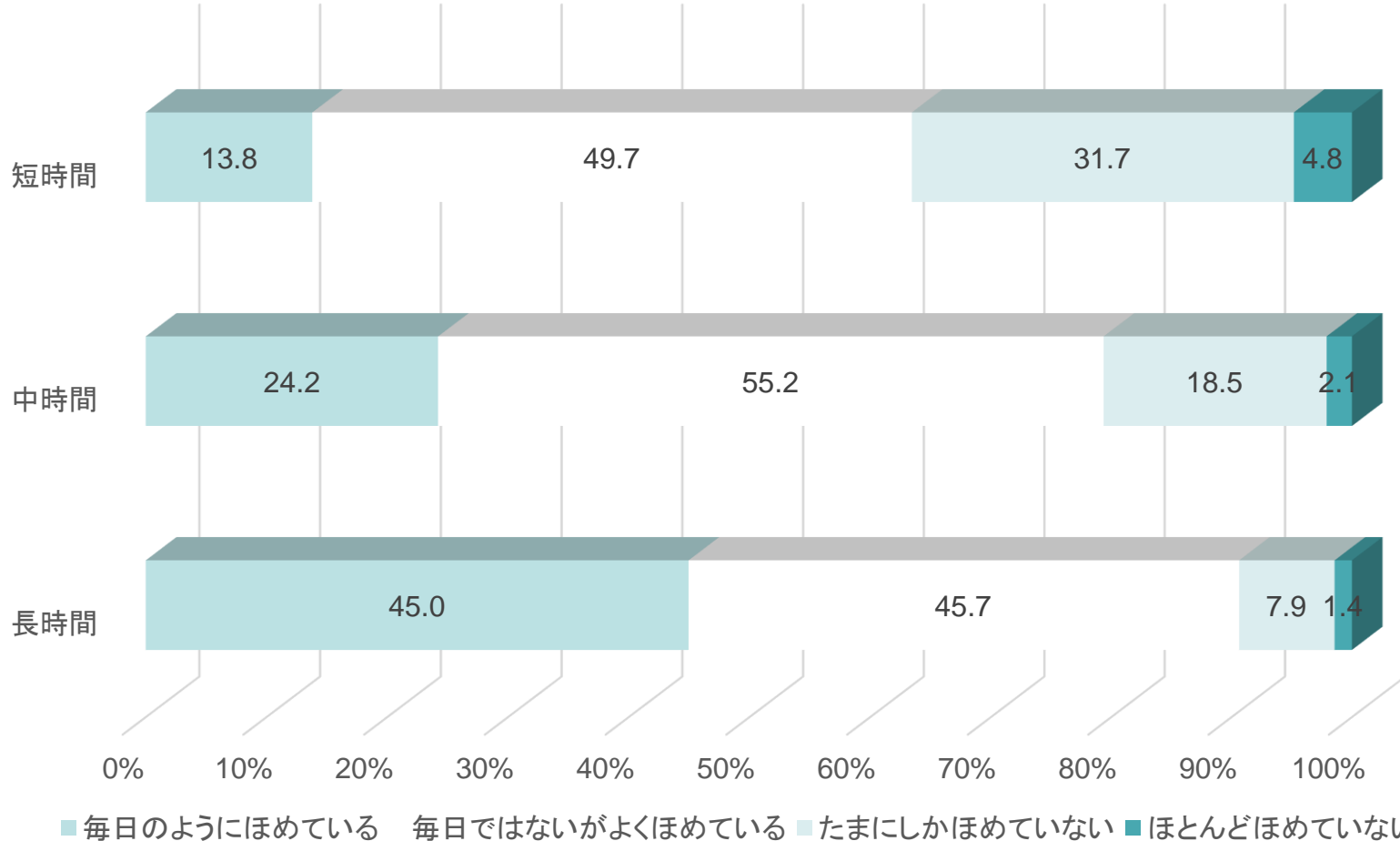


子どもとの関わり時間別 子どもへの傾聴時間(休日)



関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもと関わる時間別 子どもをほめる頻度



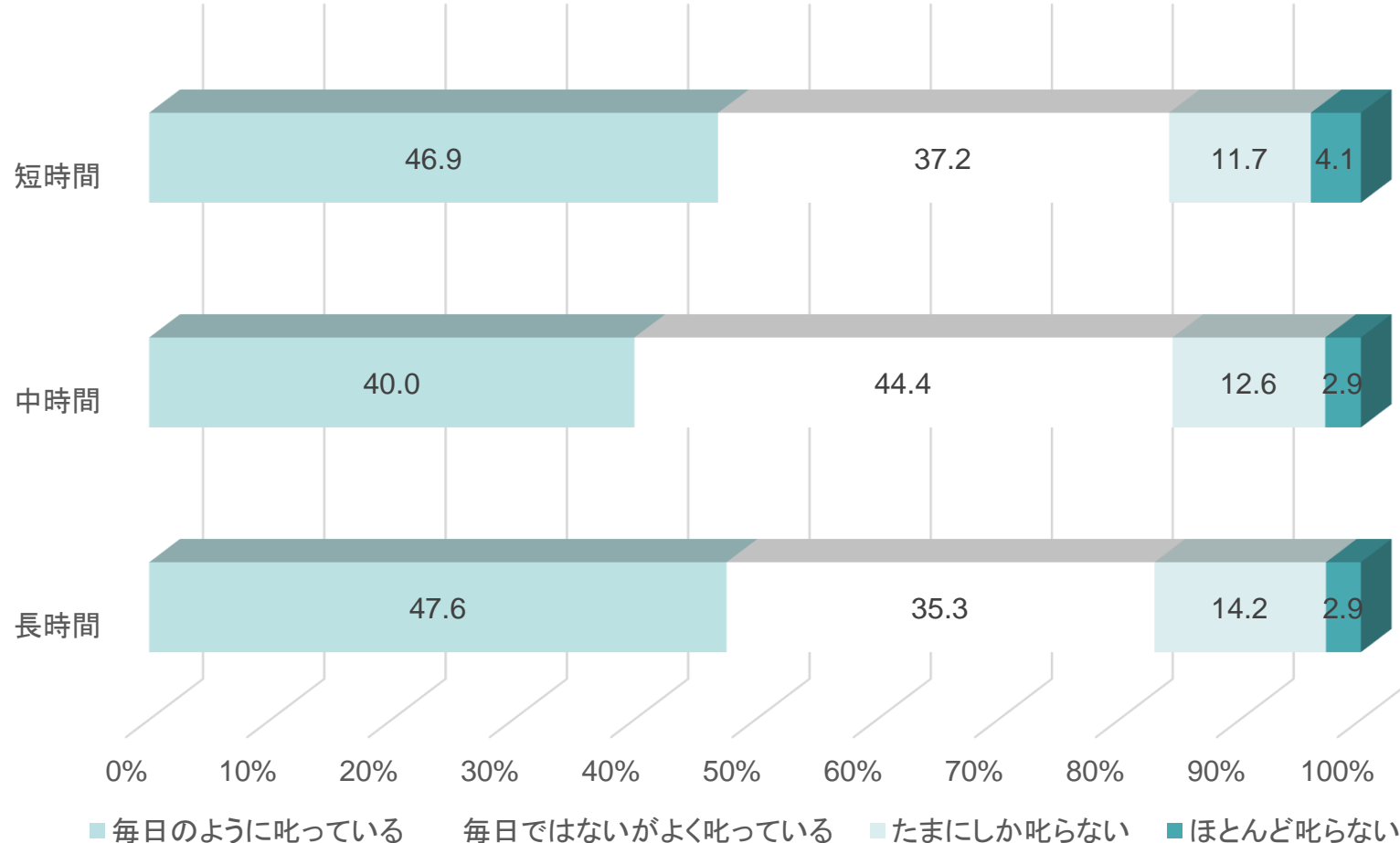
※縦軸が平日の子どもとの関わり時間
横軸が子どもをほめる頻度

子どもとの関わり時間が短くなると、
子どもをほめる機会が少なくなる。

短い場合、35%以上はたまにしか
ほめていない。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもと関わる時間別 子どもを叱る頻度



※縦軸が平日の子どもとの関わり時間
横軸が子どもを叱る頻度

ほめる頻度と違い、叱る頻度は子どもとの関わり時間と比例しない。

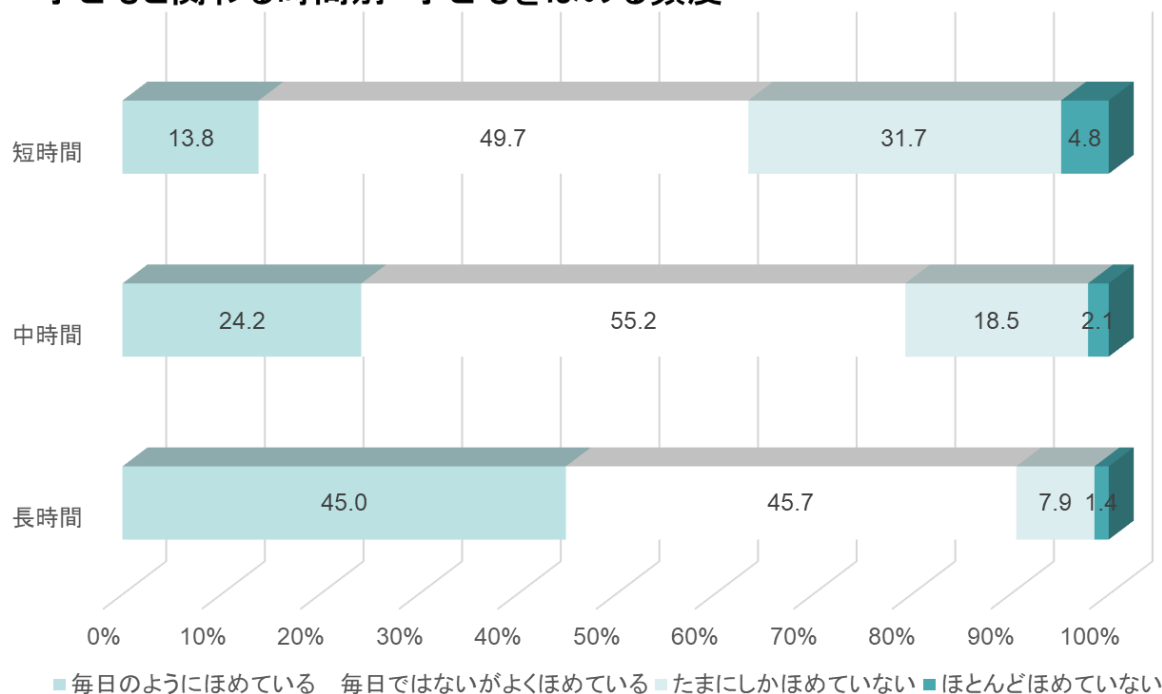
叱る頻度は子どもとの関わり時間に関係していると言えず、関わり時間が短時間でも、85%程度が「毎日のように」または「毎日ではないがよく」叱っている。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

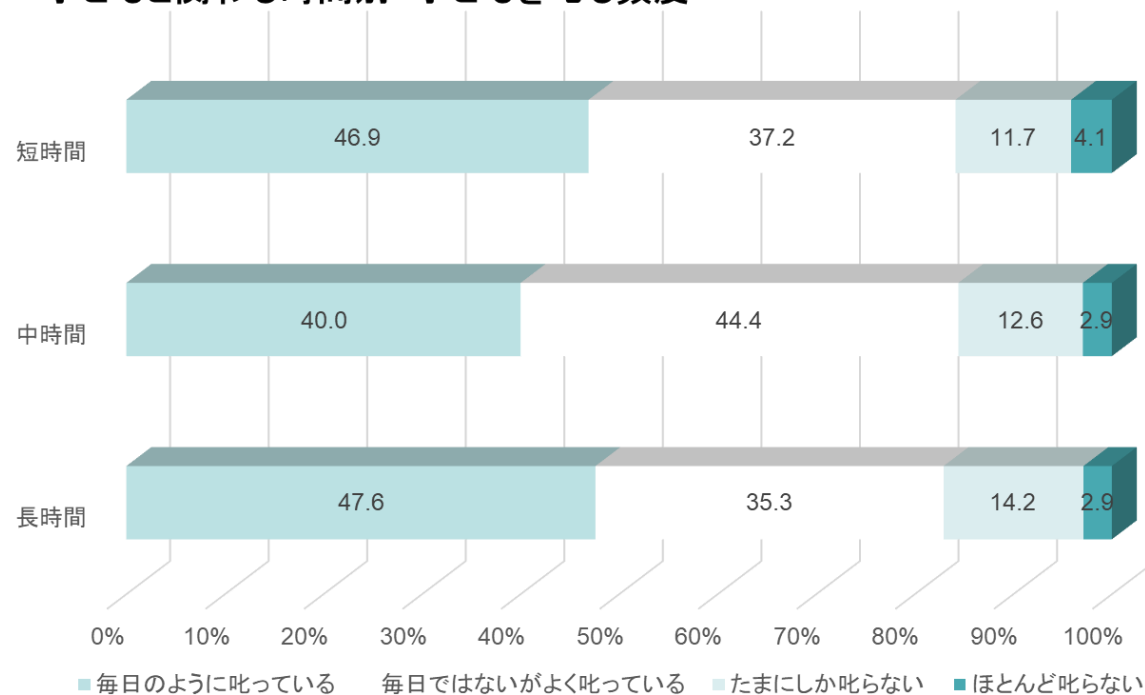
叱るときは叱る、ほめるときにほめられない

- ・すべての時間(長・中・短)において、必要に応じて「叱っている」
- ・適切なタイミングでほめることができていない可能性。 短時間<中時間<長時間

子どもと関わる時間別 子どもをほめる頻度



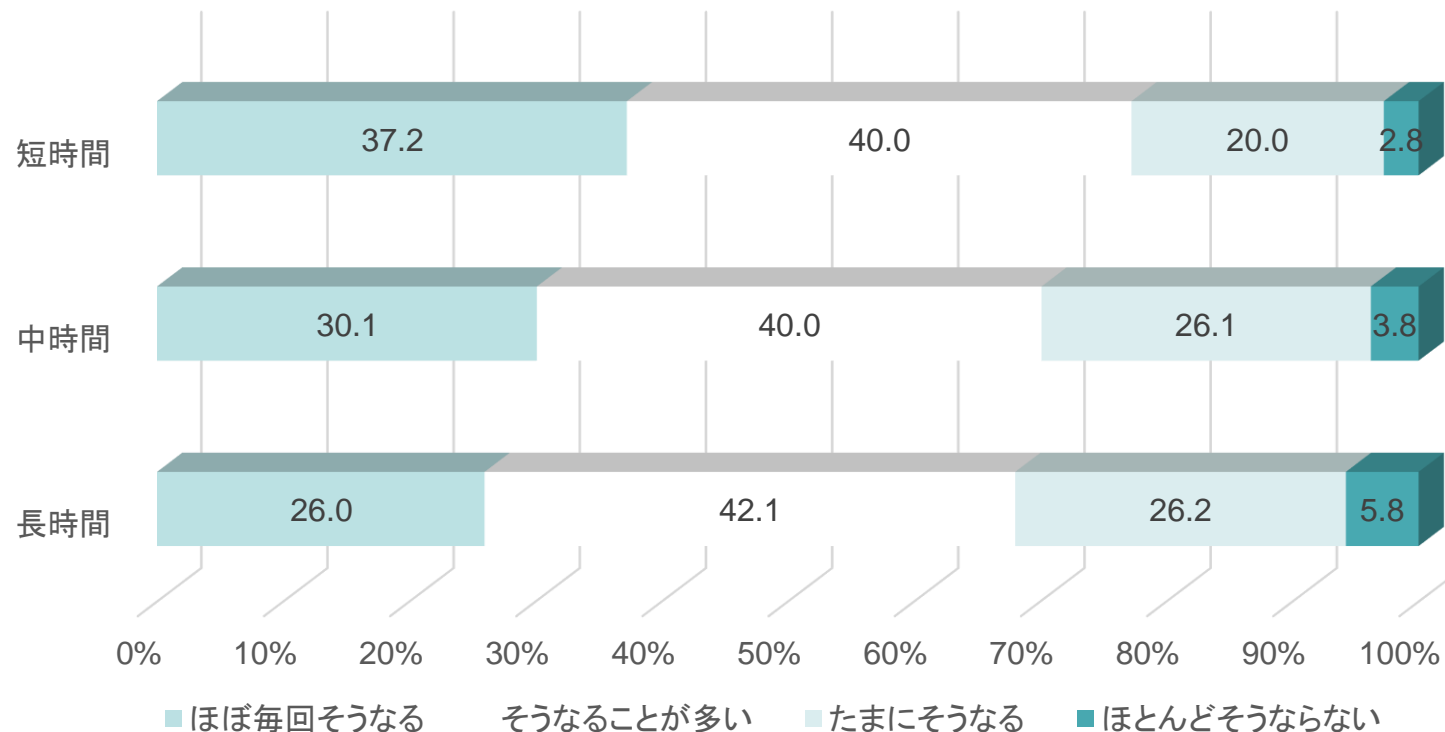
子どもと関わる時間別 子どもを叱る頻度



関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

叱る頻度は子どもとの関わり時間と関係していないが、「叱るとき、感情的になり怒ってしまうことがあるか」は関係している。

子どもを叱るとき、感情的になり怒ってしまうことはあるか

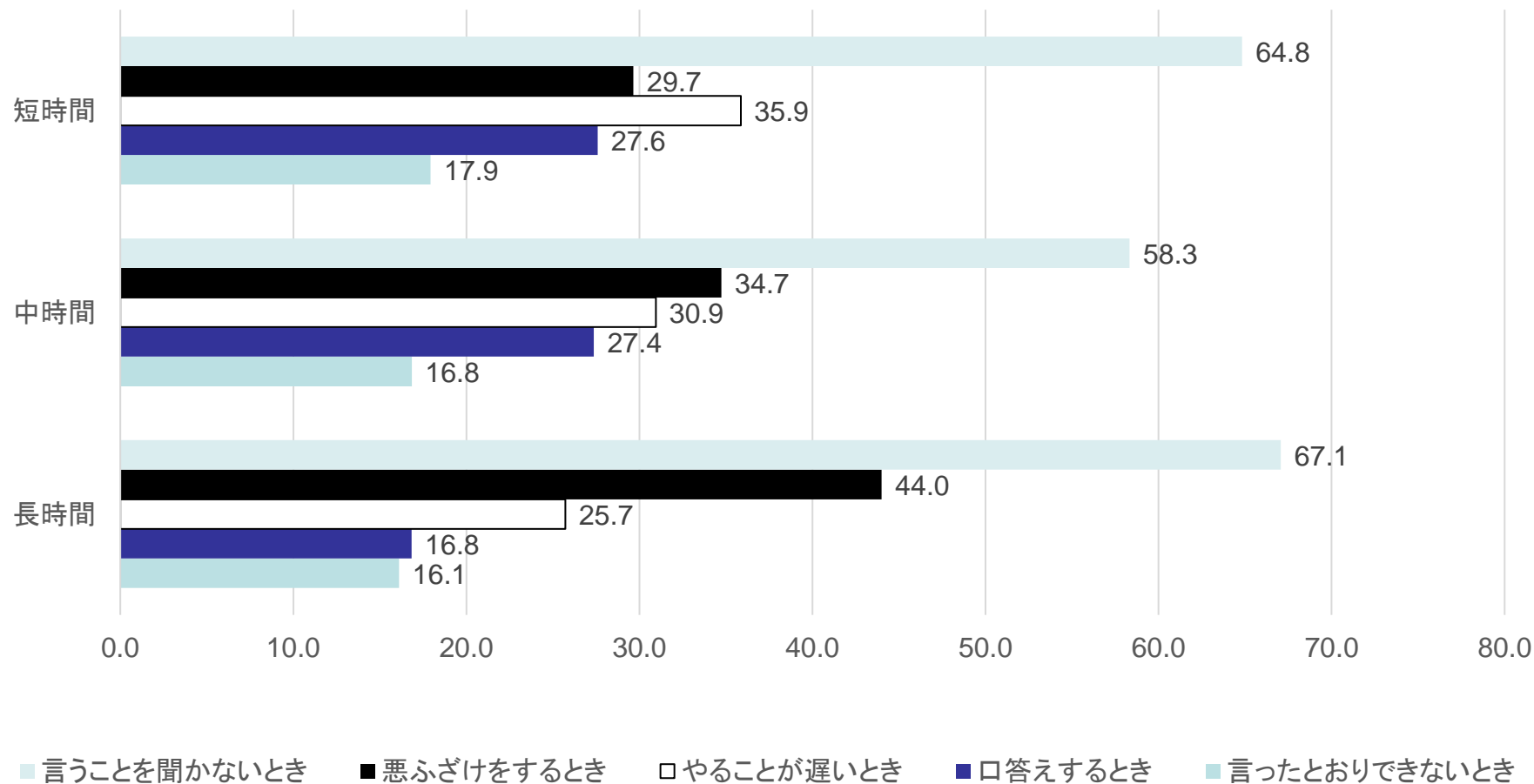


子どもとの関わり時間が短いほど、感情的になり、怒ってしまう傾向がある。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

「感情的になり怒ってしまう」ことが多いのはどんなときか

下記は「特に多いときを3つまでお選びください」の質問(Q24)での上位5選択肢の関わり時間別選択された割合。

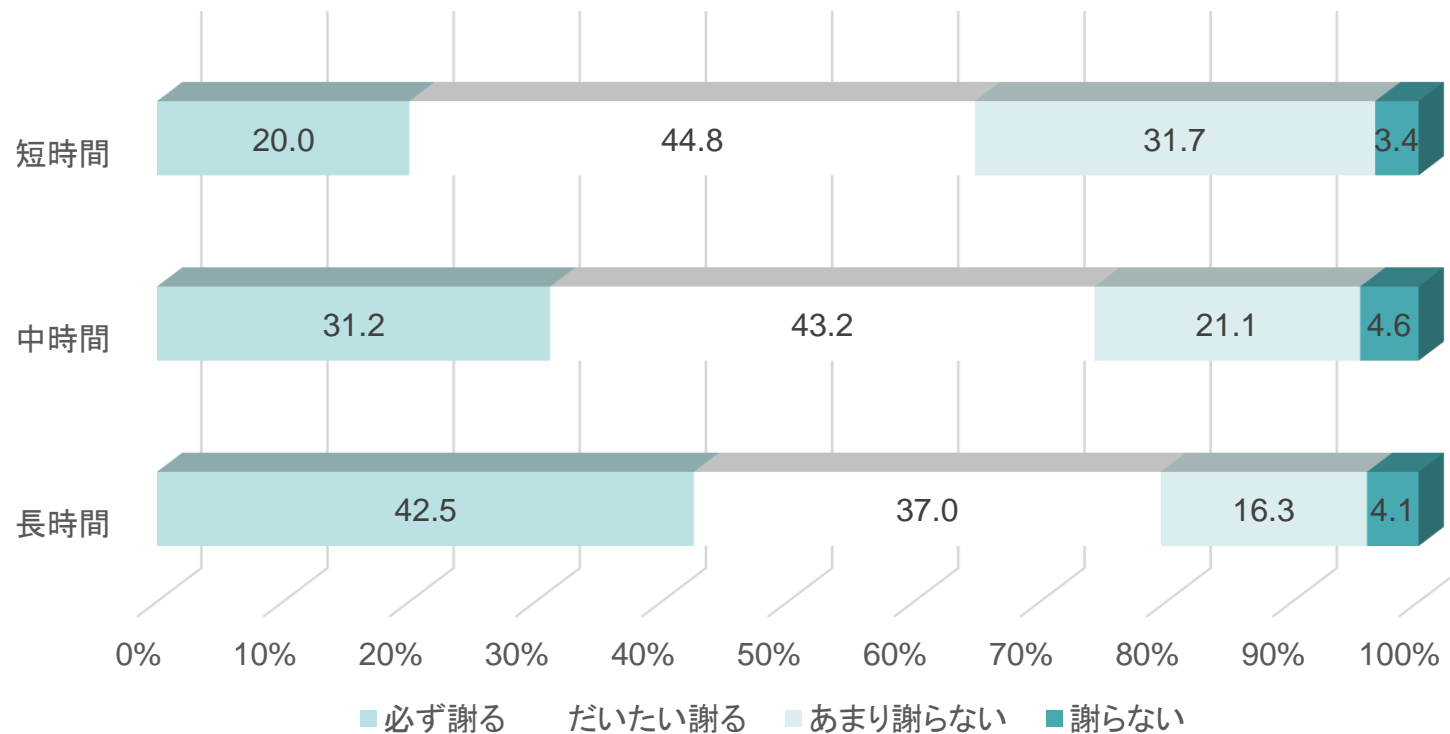


子どもとの関わり時間が短いと、「やることが遅いとき」の選択が多く、また「言った通りできないとき」の選択がやや増えている。
また、時間が短いと「口答え」で、長いと「悪ふざけ」で、感情的に叱るが多くなっている。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもとの関わり時間は、「感情的になり怒ってしまったあと、子どもに謝っているか」とも関係している。

感情的になり怒ってしまったあと、子どもに謝っているか



子どもとの関わり時間が短いほど、謝れていない。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

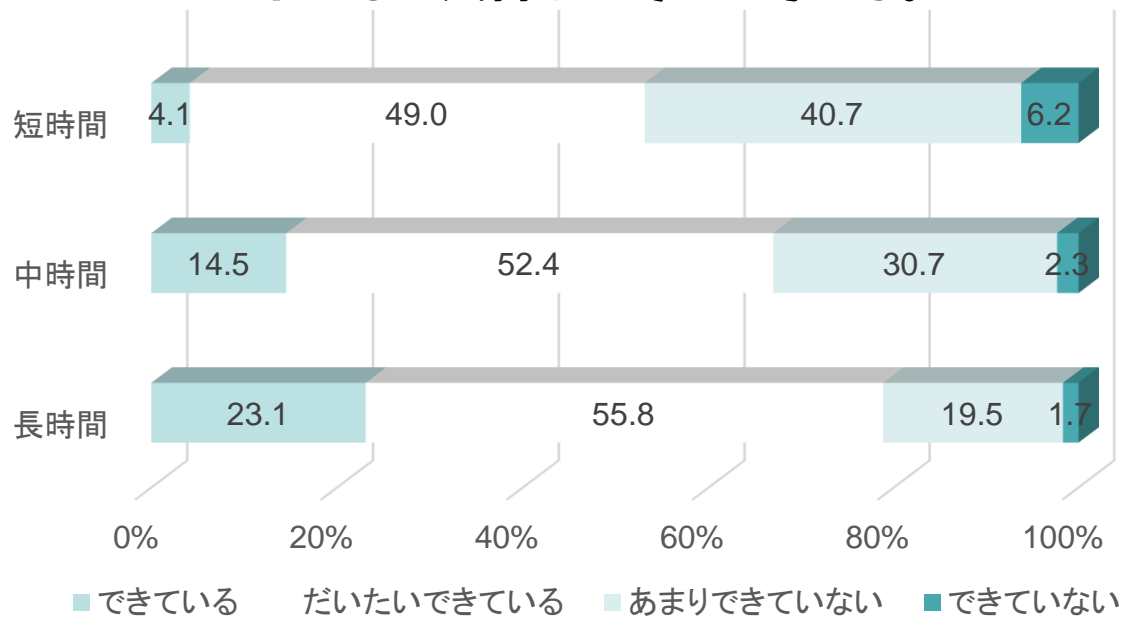
感情的な怒りと「ゆとり」の必要性～原因～

- ・子どもとの関わる時間が短いほど、感情的に怒ってしまう傾向
- ・感情的な怒りの原因として
 - 「悪ふざけをするとき」…短時間<中時間<長時間
 - 「やることが遅いとき」…短時間>中時間>長時間
- ・感情的に怒ってしまった後、子どもとの関わり時間が短いほど謝れていない。
 - ※感情的に怒っていることが認識できていない可能性

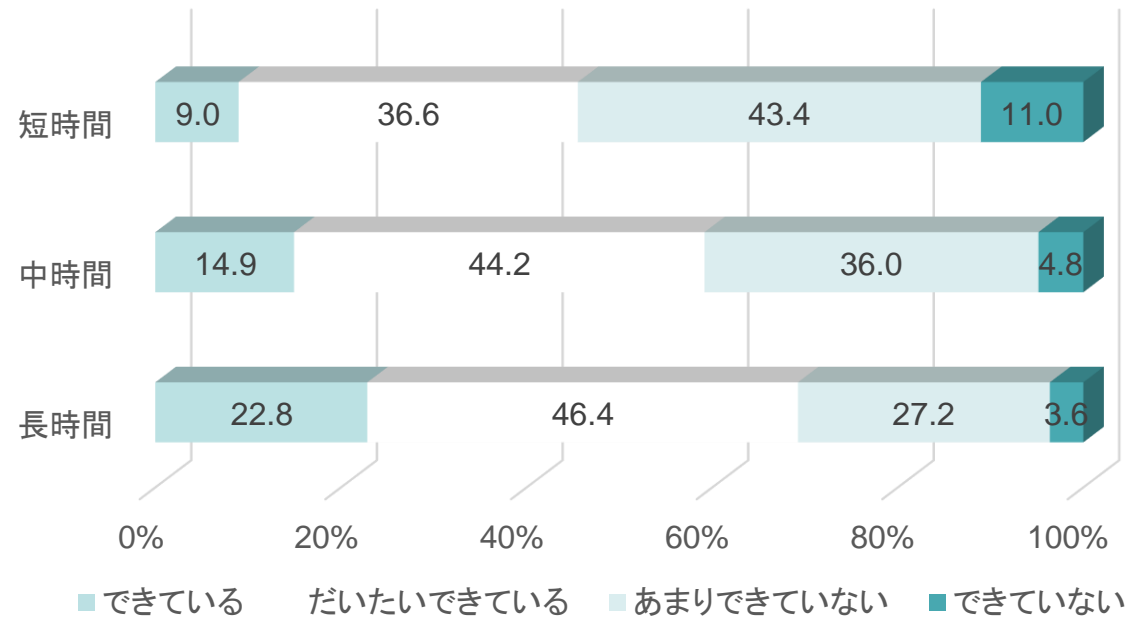
関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもとの関わり方では、関わり時間が短いほど
下記姿勢が実行されていない傾向がある。

子どもが困っているとき、
子どもの気持ちにそって考える。

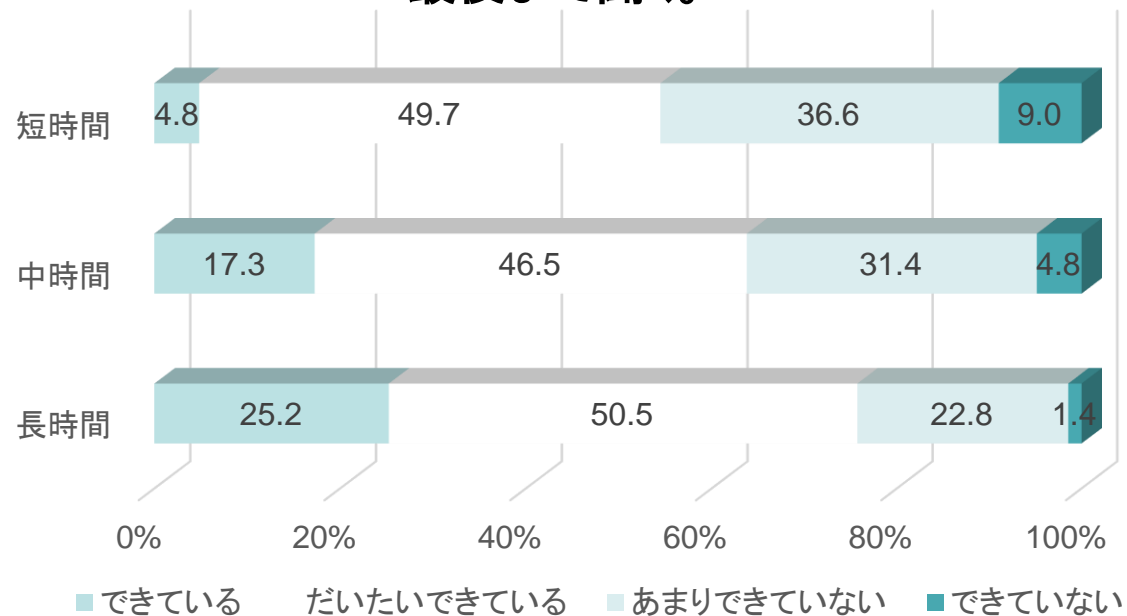


子どもには、笑顔で接するよう心掛けている。

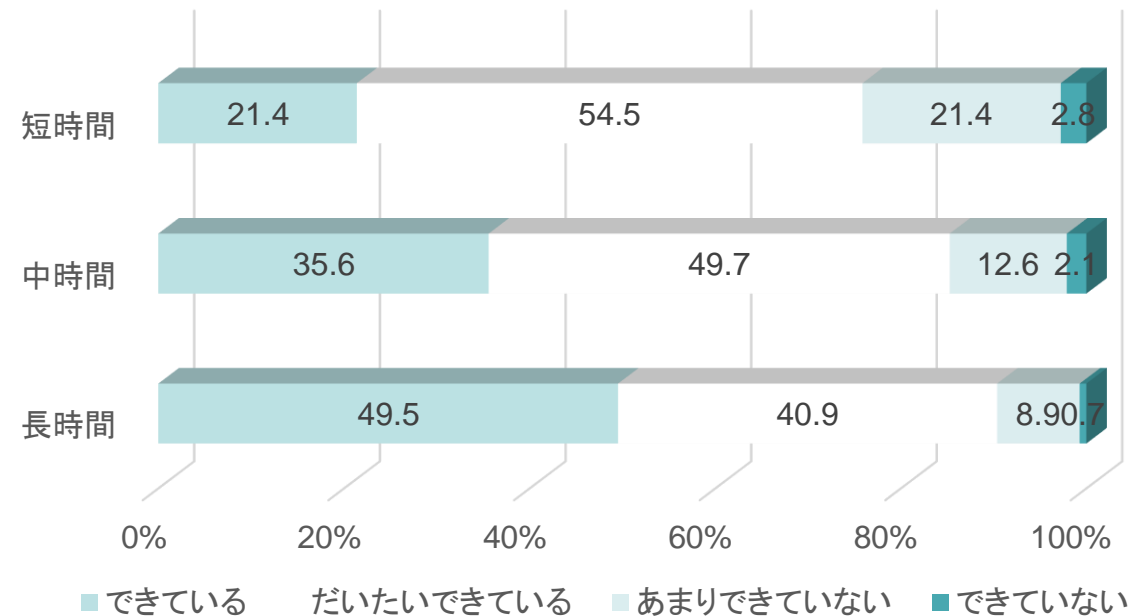


関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもの話を口を挟まず、
最後まで聞く。



小さなことでもできるようになったことを
ほめて、親子で喜ぶ。



**子どもと関わる時間が短いと、傾聴が減少。
また、「ほめる」に比べ「叱る」機会の頻度が多くなる傾向がある。**

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

「子どもがポジティブな感情を得やすい助長的声かけ」よりも、
「子どもがネガティブな感情を得やすい命令的声かけ」が多くなる傾向が見られる。

次シート、質問「子どもに対して、どんな声かけをよくしますか？

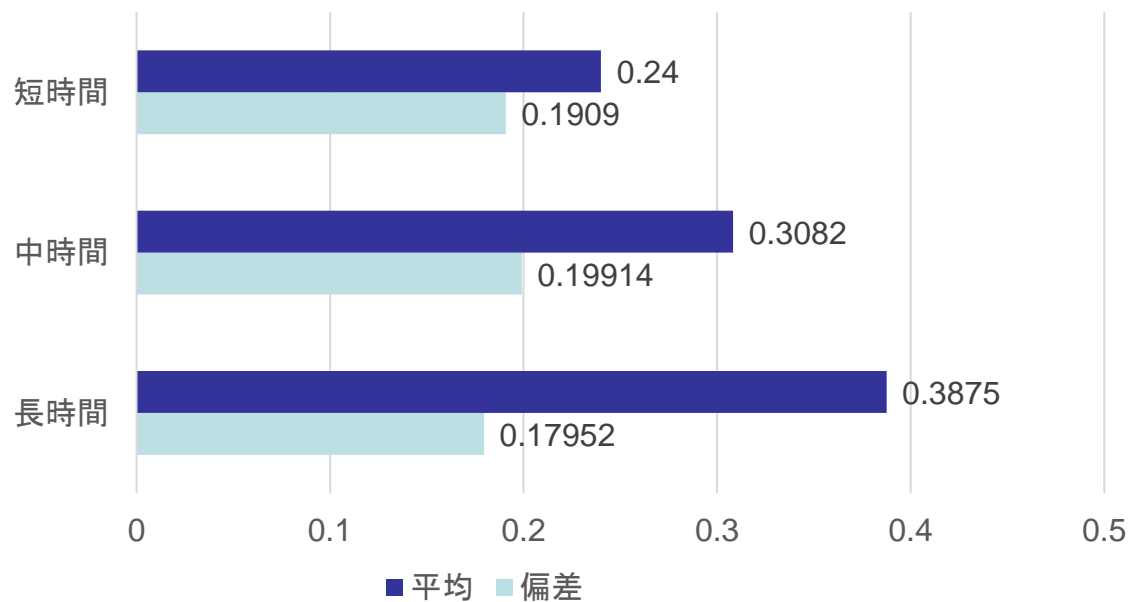
特によく声かけするものを以下より3つまで選んでください」での選択肢(声かけ)を「助長的声かけ」と「命令的声かけ」に分類し、それぞれの選択された平均値と標準偏差値を「子どもとの関わり時間別」に算出した。

助長的声かけ＝「えらいね」「ありがとう」「がんばったね」「すごいね」「やればできる」

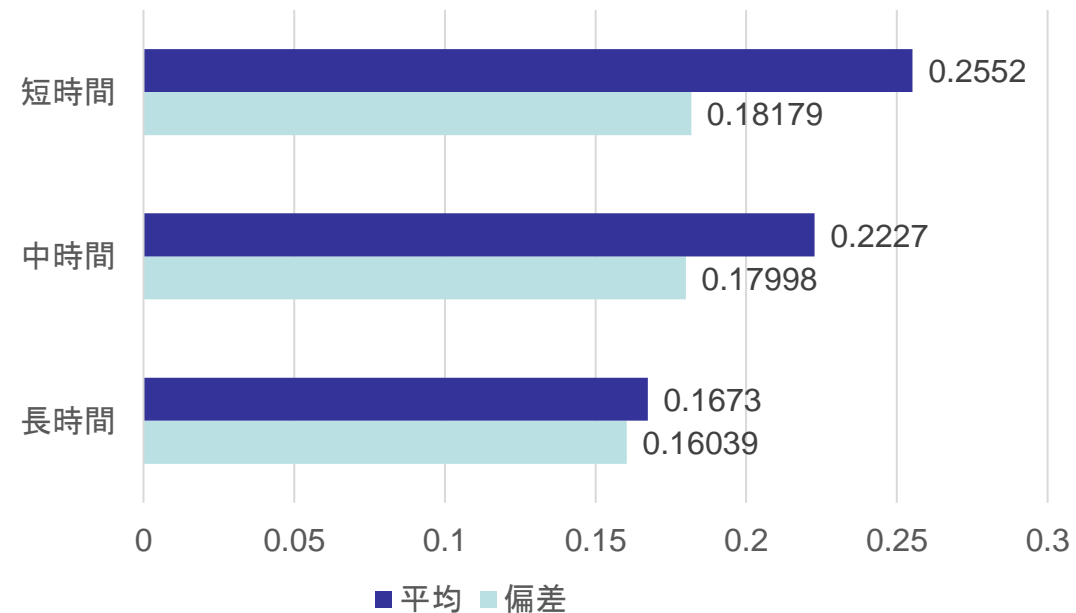
命令的声かけ＝「勉強しなさい」「早くしなさい」「いうこと聞きなさい」「なんでできないの」
「しっかりしなさい」

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

助長的声かけ



命令的声かけ



関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもとの関わりが時間少ないと、「子どもと楽しむ時間」も少なくなる。

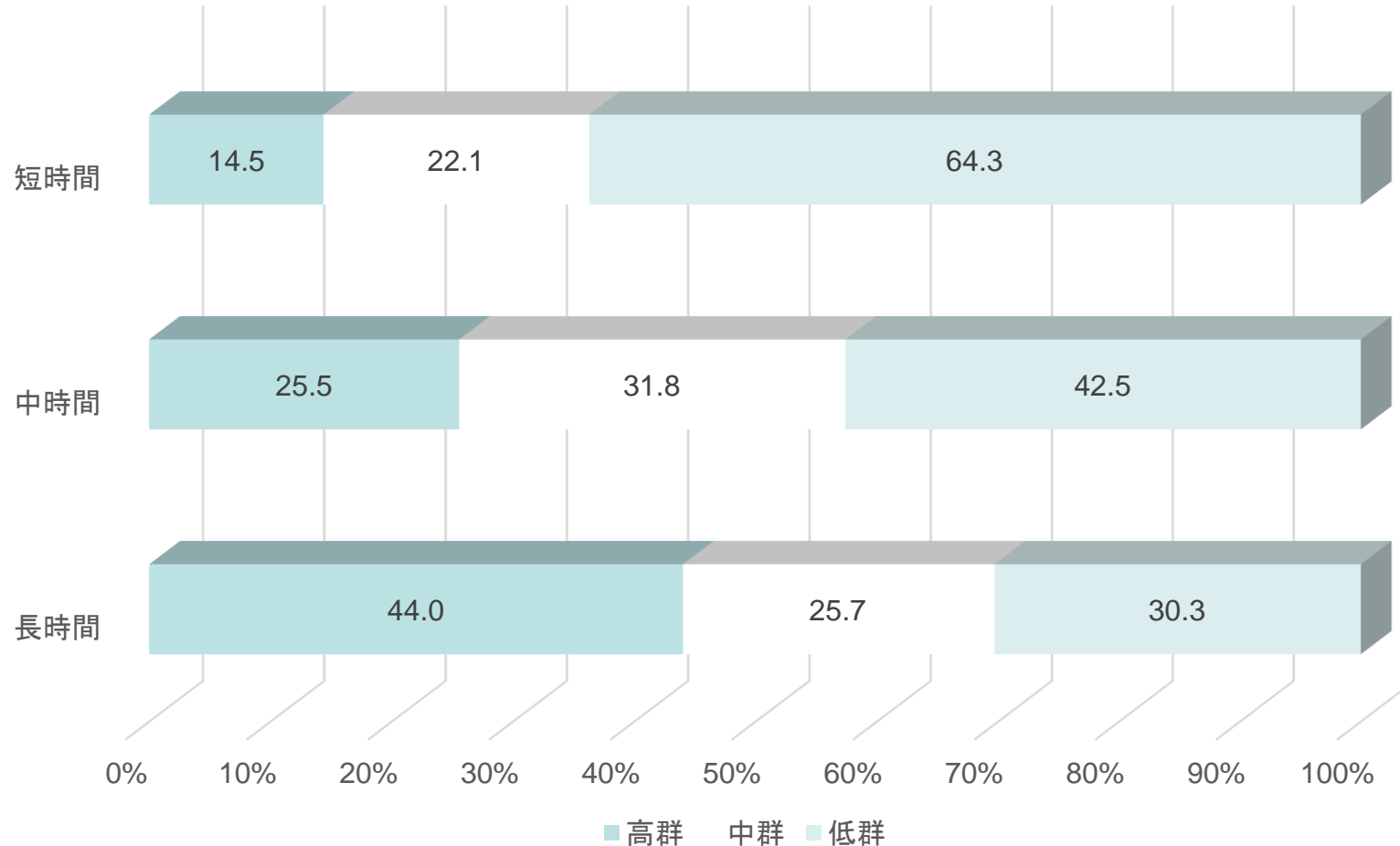
次シート、マトリックス形式の質問「次の事柄について子どもと行う、楽しむ時間を持っていますか？」において、「あてはまる」を4ポイント、「少しあてはまる」を3ポイント、「あまりあてはまらない」を2ポイント、「あてはまらない」を1ポイントとし、回答者ごとに平均値を算出。

平均値ごとに「**低群**≤ 2.75 (n=420)」「**中群**2.76 - 3.13 (n=290)」「**高群**3.14+ (n=326)」の3グループに分類、子どもとの関わり時間別の分布を出した。

親子で読書を楽しむ／朝夕の挨拶や「ありがとう」などの言葉を交わす／親子で一緒に家の用事(片づけ、掃除など)をする／
親子で散歩したり、買い物に行ったりする／親子で工作や料理など、何かを作りながら一緒に楽しむ／
親子で動画やデジタルゲームを楽しむ／親子でデジタルゲーム以外の遊びを一緒に楽しむ／季節の行事(正月、節句、ハロウィン、クリスマスなど)を楽しむ

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもと関わる時間別 子どもと楽しむ時間

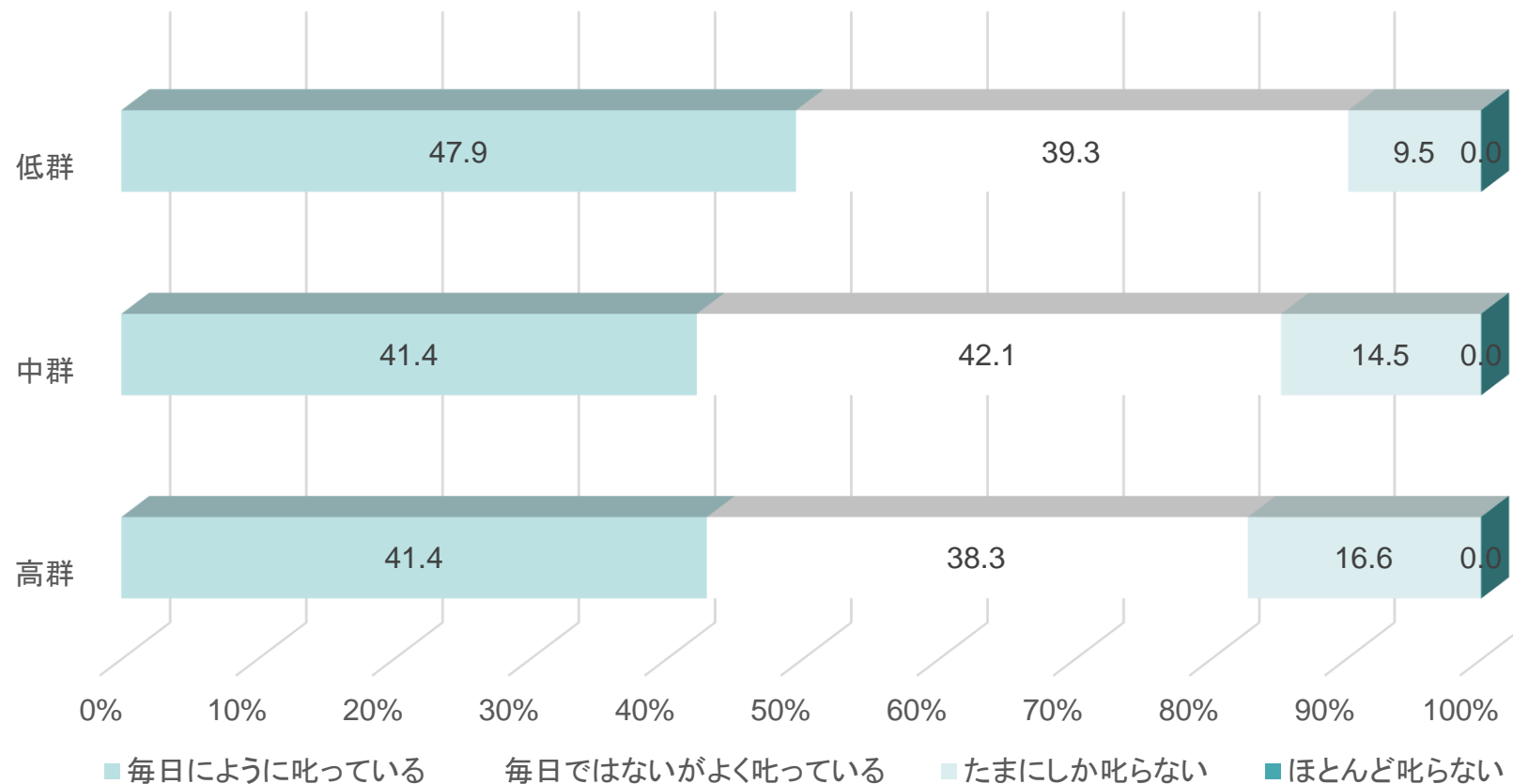


子どもとの関わり時間が短くなると、「子どもと楽しむ時間」を持つ機会も少なくなる傾向が見られる。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

「子どもとの関わり時間」と「子どもを叱る頻度」の関係性は見られなかったが、
「子どもと楽しむ時間」と「子どもを叱る頻度」の関係性はやや確認できる。

子どもとの楽しい時間別 子どもを叱る頻度

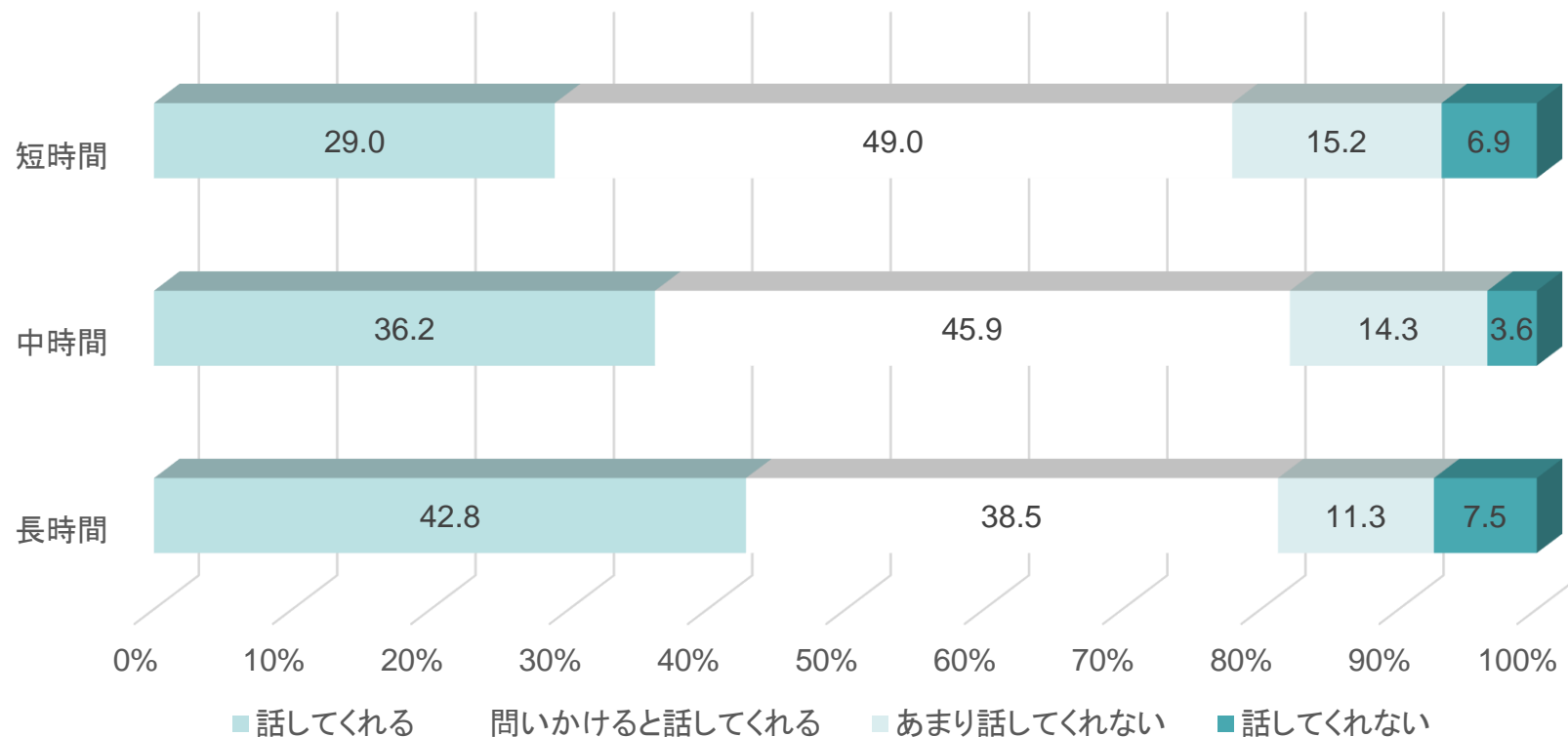


「子どもと楽しむ時間」を持つ機会が多いほど「子どもを叱る頻度」は少なくなる。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもとの関わり時間は、下記「子育てにポジティブな手ごたえを感じているか」の指標となる回答にも関係している。

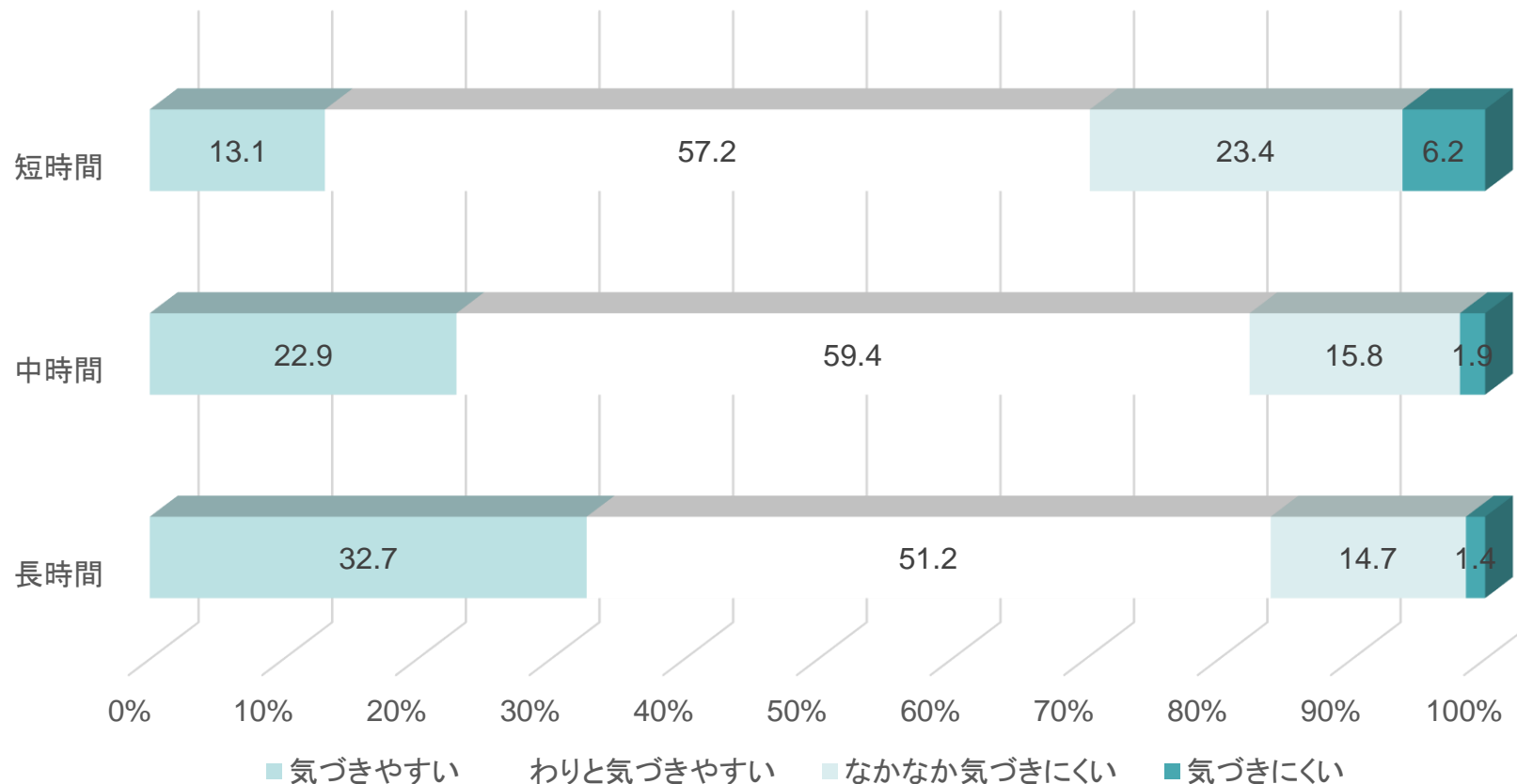
子どもが悩みなどを話し、相談してくれるか



子どもとの関わり時間が短い層ほど「子どもがあまり悩みを話し、相談してくれない」と感じている傾向がある。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

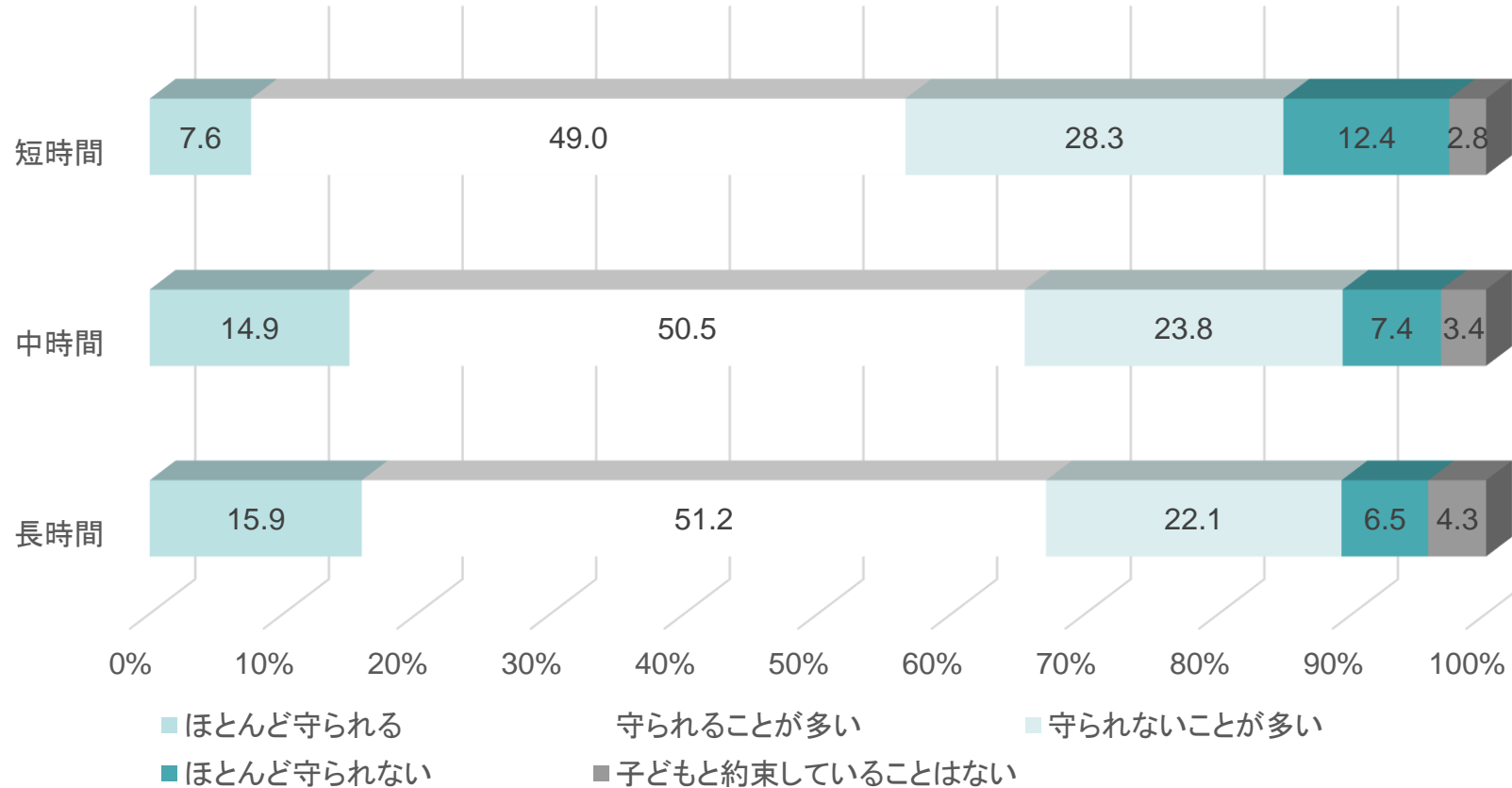
子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか



子どもとの関わり時間が短い層ほど「子どもの変化に気づきにくい」と感じている傾向がある。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもと交わす約束、子どもは守っているか

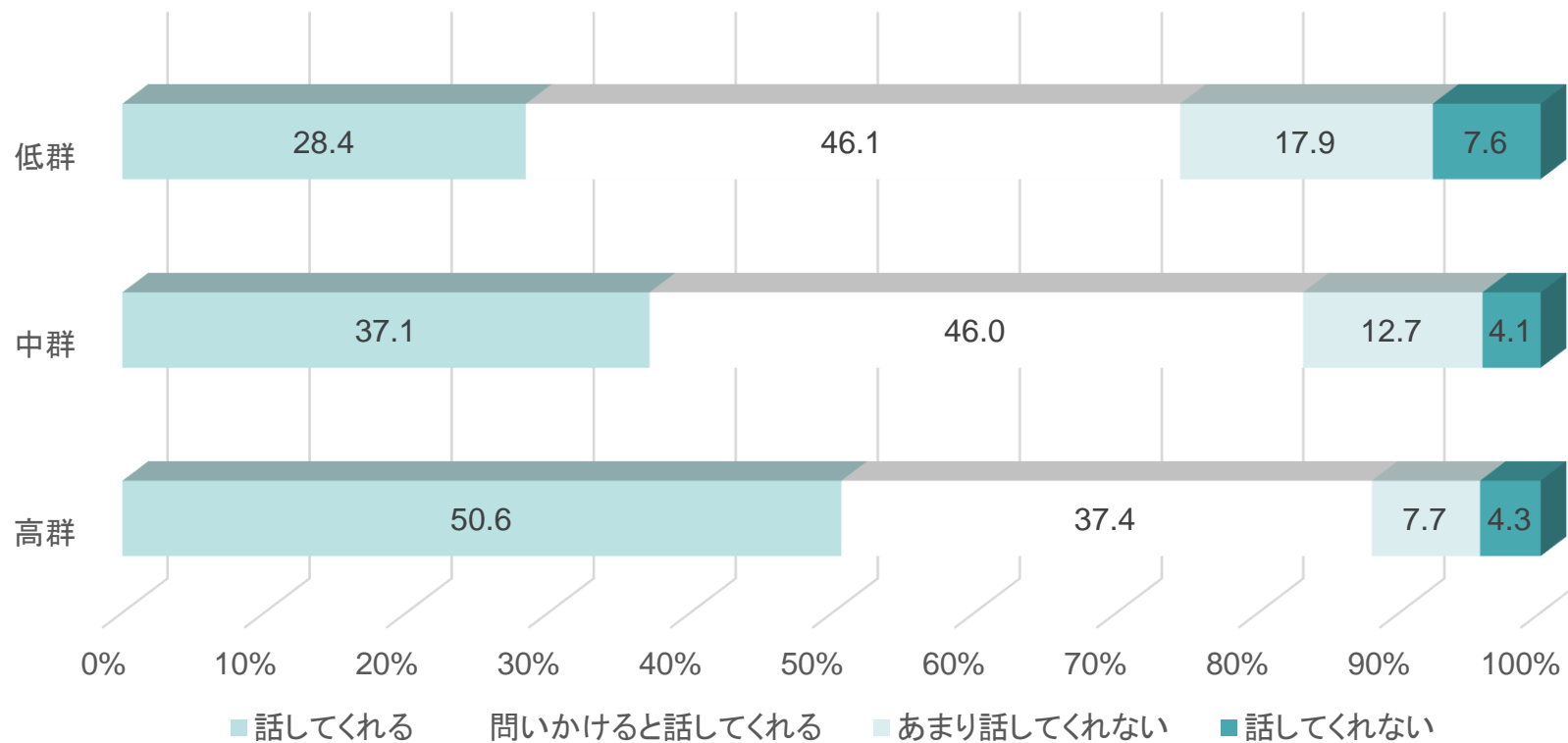


子どもとの関わり時間が短い層ほど「子どもと交わした約束が守られない」と感じている傾向がある。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもとの楽しい時間は、「子育てにポジティブな手ごたえを感じているか」の指標となる回答により関係している。※子どもと行う、楽しむ時間「低群」「中群」「高群」で比較

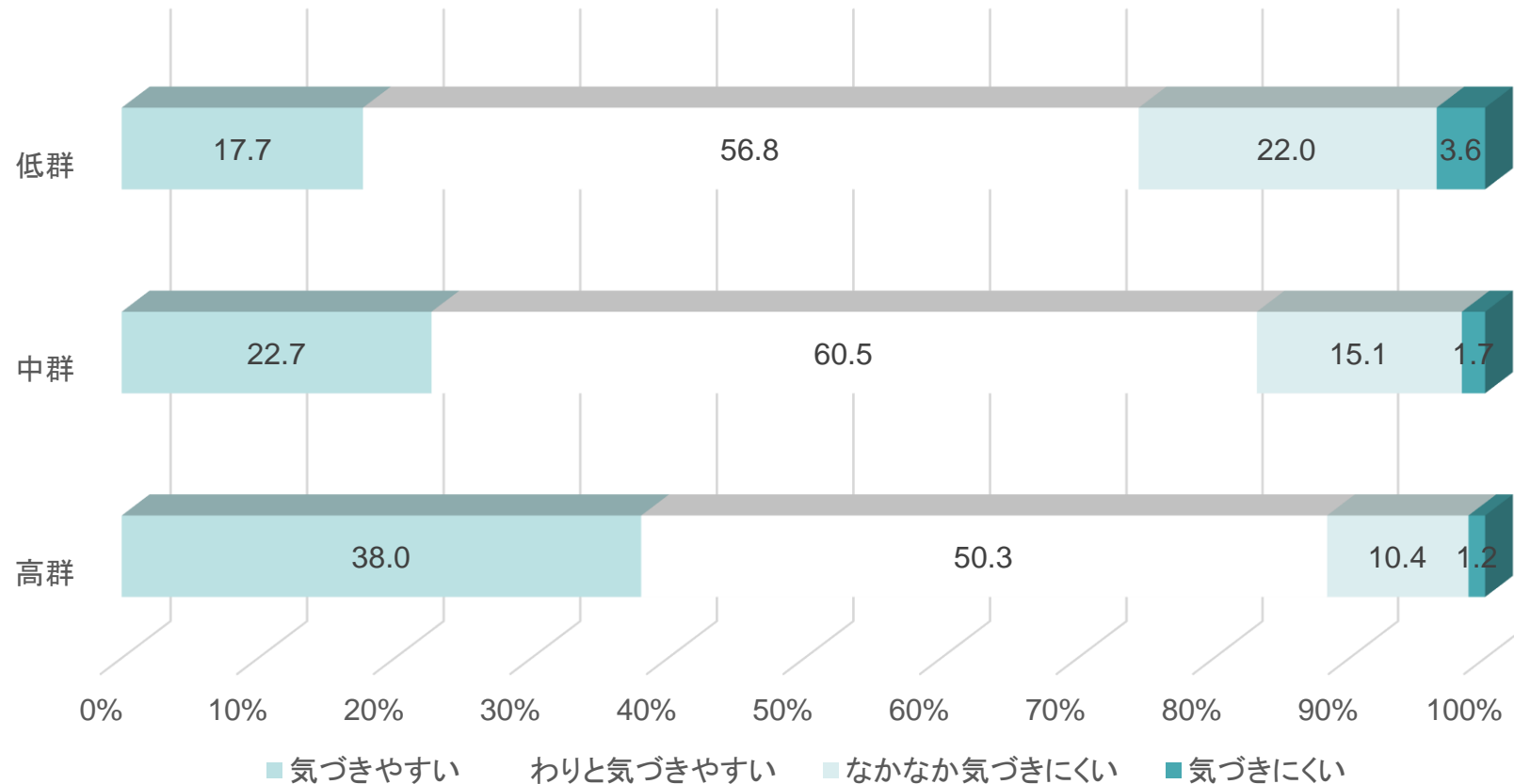
子どもが悩みなどを話し、相談してくれるか



子どもとの楽しい時間を持つ機会が多いと「子どもが悩みを話し、相談してくれる」と感じている傾向がある。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

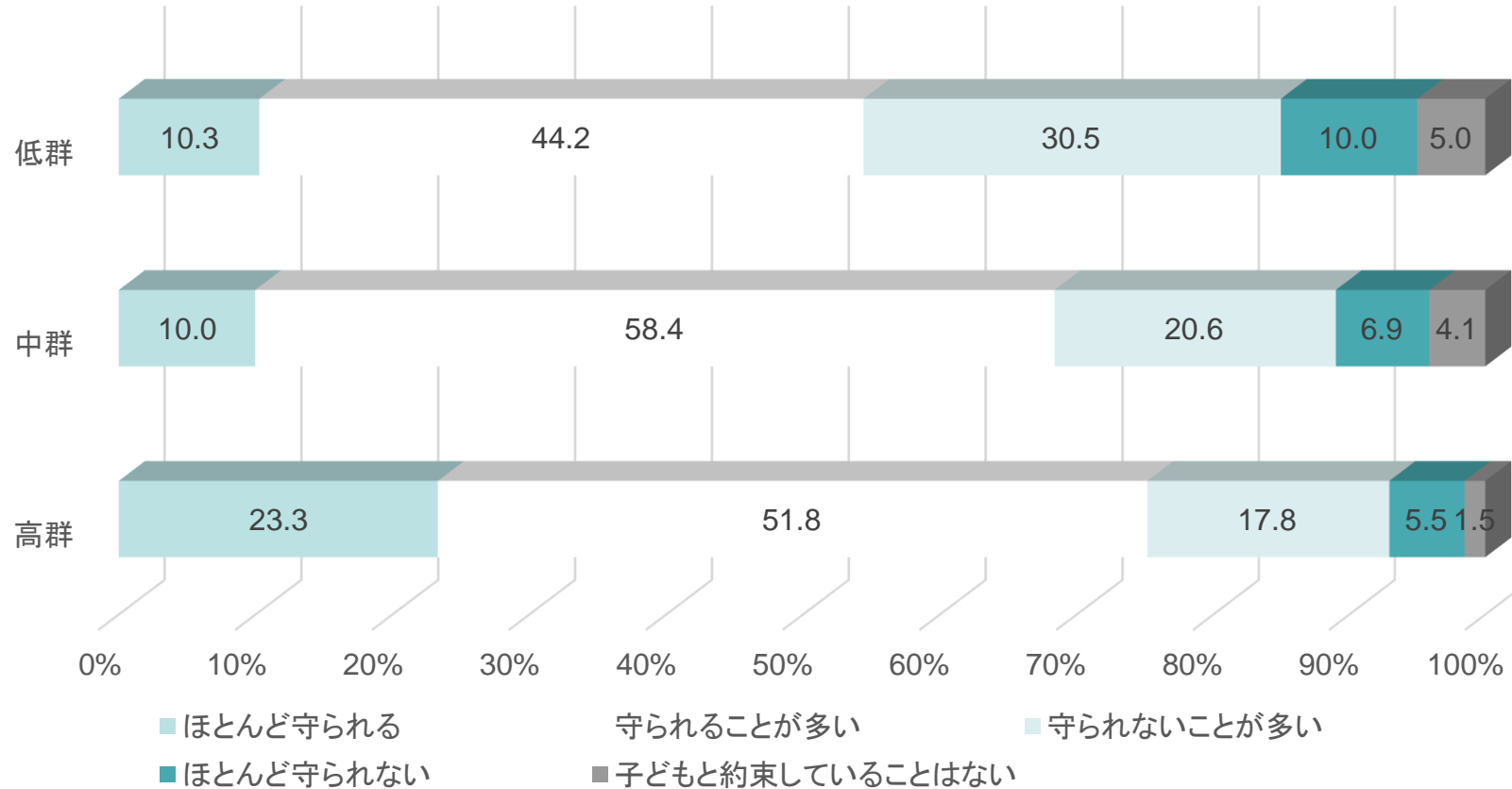
子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか



子どもとの楽しい時間を持つ機会が多いと「子どもの変化に気づきやすい」と感じている傾向がある。

関わり時間が少ない家庭・親子関係の傾向

子どもと交わす約束、子どもは守っているか



子どもとの楽しい時間を持つ機会が多いと「子どもと交わした約束が守られる」と感じている傾向がある。

時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

子どもとの関わり時間が長いほうが、子どもと良い関係を築けている傾向は高いが、それ以上に、その関わり時間で何を意識し、何をすることが重要。

子どもとの関わり時間も、いくつかの姿勢・行動ポイントをおさえることで、時間が短くても良い関係性が築きやすくなる。

1. 子どもが悩みなどを話し、相談してくれるか？
2. 子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？
3. 子どもと交わす約束、子どもは守っているか？

次シートより、子どもとの関係時間が短くても、上記3つの質問で「されている」「できている」のポイントが高かった項目を上げていく。

時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

【分析方法】

下記3つの軸でクロス集計を行った。

軸1:子どもとの関わり時間3グループ(短時間・中時間・長時間)

軸2:姿勢・行動

4レベルの選択肢を持つ質問項目.5~9、12、15、17~20、22、23の回答を、それぞれ下記2つのグループに分割。

上位2グループ:各質問に対し、「あてはまる(している等)」「少しあてはまる(だいたいしている等)」を選んだグループ。

下位2グループ:各質問に対し、「あまりあてはまらない(あまりしていない等)」「まったくあてはまらない(ほとんどしていない等)」を選んだグループ

軸3:手ごたえ

前シートの3質問に関しても上位、下位の2グループに分割。



「子どもとの関わり時間 × 第2軸回答グループ」ごとに、第3軸で上位グループに入る割合を算出。

(例:関わり時間が短い、かつ子どもをほめてることが多いグループのうち、何%が子どもは悩みなどを話し、相談してくれると感じているか)

時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

「軸1・関わり時間短時間かつ軸2(姿勢・行動)上位グループ」での、軸3(手ごたえ)で上位グループを占める割合(%・ポイント)を、下記3つのレベルと比較。

A:「軸1・関わり時間短時間かつ軸2(姿勢・行動)下位グループ」での、軸3(手ごたえ)で上位グループを占める割合

B:「軸1・関わり時間中時間かつ軸2(姿勢・行動)下位グループ」での、軸3(手ごたえ)で上位グループを占める割合

C:「軸1・関わり時間長時間かつ軸2(姿勢・行動)下位グループ」での、軸3(手ごたえ)で上位グループを占める割合

そのうえで、

A・B・Cとのポイント差がすべて15以上の軸2項目を重要レベル3、

A・B・Cとのポイント差がすべて10以上の軸2項目を重要レベル2、

A・B・Cとのポイント差がすべて7以上の軸2項目を重要レベル1として選出した。

時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

1. 子どもが悩みなどを話し、相談してくれるか？ についての重要項目

重要レベル3

- ・園や学校など、一緒にいない時間での出来事を子どもから聞いている
- ・がんばってもできなかったとき、がんばったことをほめる
- ・がんばってもできなかったとき、はげます

重要レベル2

- ・子どもが困っているとき、子どもの気持ちによりそって一緒に考えるようところがけている
- ・子どもをよくほめる
- ・あいさつやお礼の言葉が言えたときほめる
- ・親子で一緒に家の用事(片づけ、掃除など)をする

重要レベル1

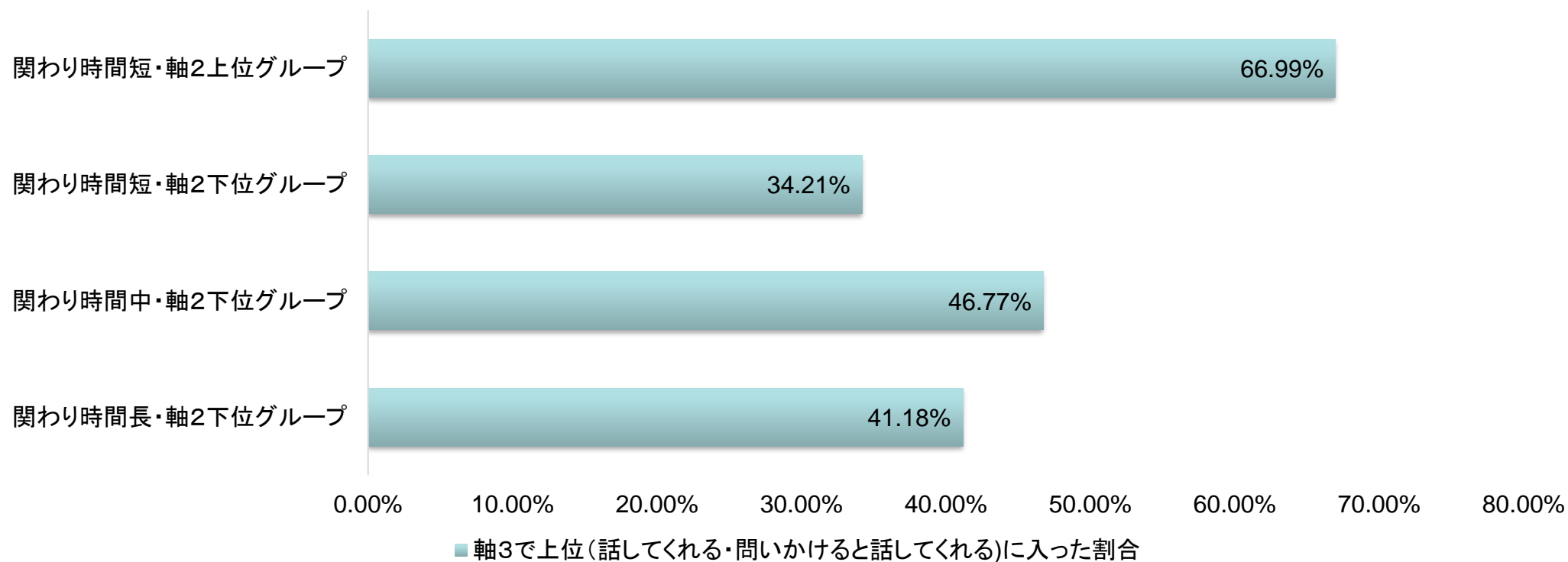
- ・小さなことでもできるようになったことをほめて、親子で喜ぶ
- ・がんばってもできなかったとき、なぜできなかったか一緒に考える
- ・勉強した時、ほめる

時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 園や学校など、一緒にいない時間での出来事を子どもから聞いているか

上位G: ほぼ毎日聞いている、ある程度聞いている / 下位G: あまり聞けていない、ほとんど聞けていない

子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？ (軸3)

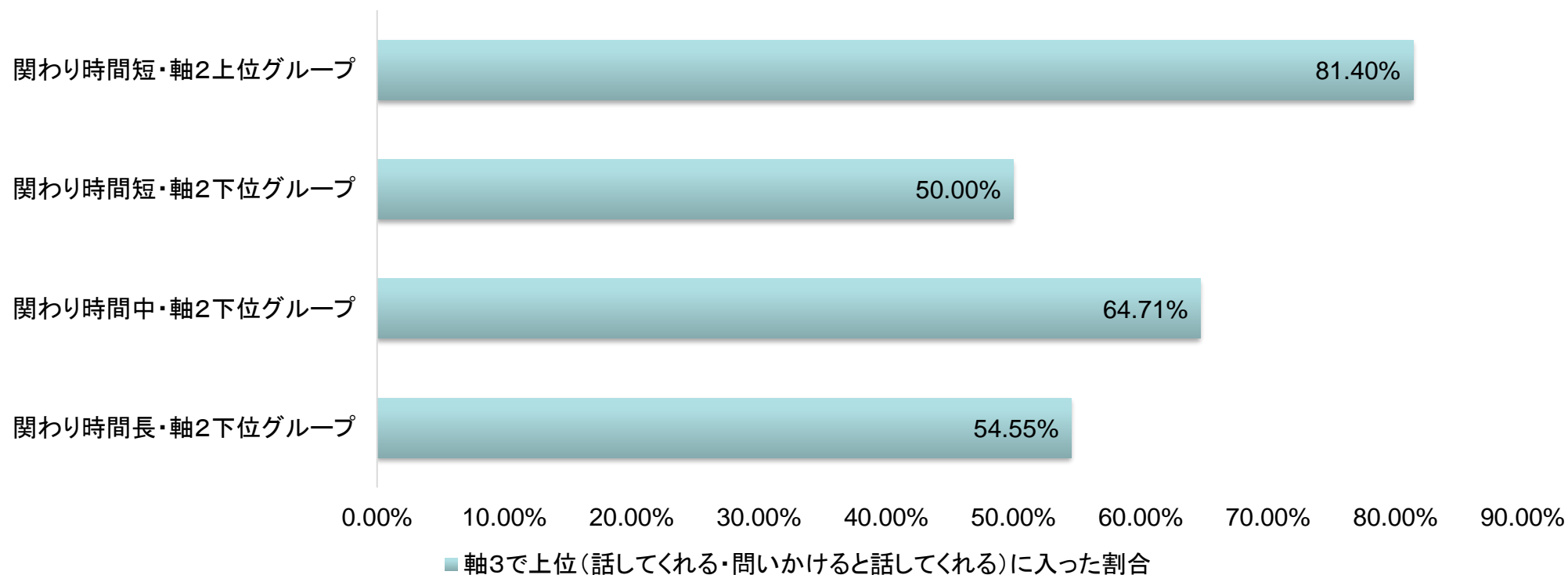


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: がんばってもできなかったとき、がんばったことをほめるか

上位G: よくする、ときどきする / 下位G: あまりしない、しない

子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？ (軸3)

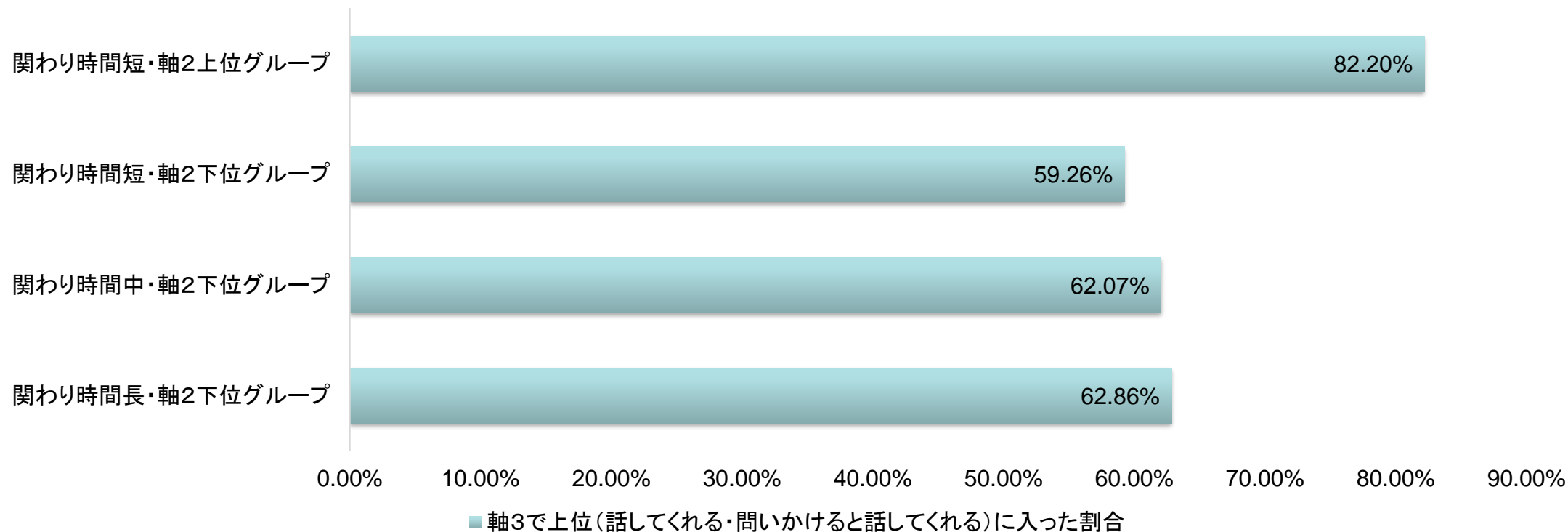


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: がんばってもできなかったとき、はげますか

上位G: よくする、ときどきする / 下位G: あまりしない、しない

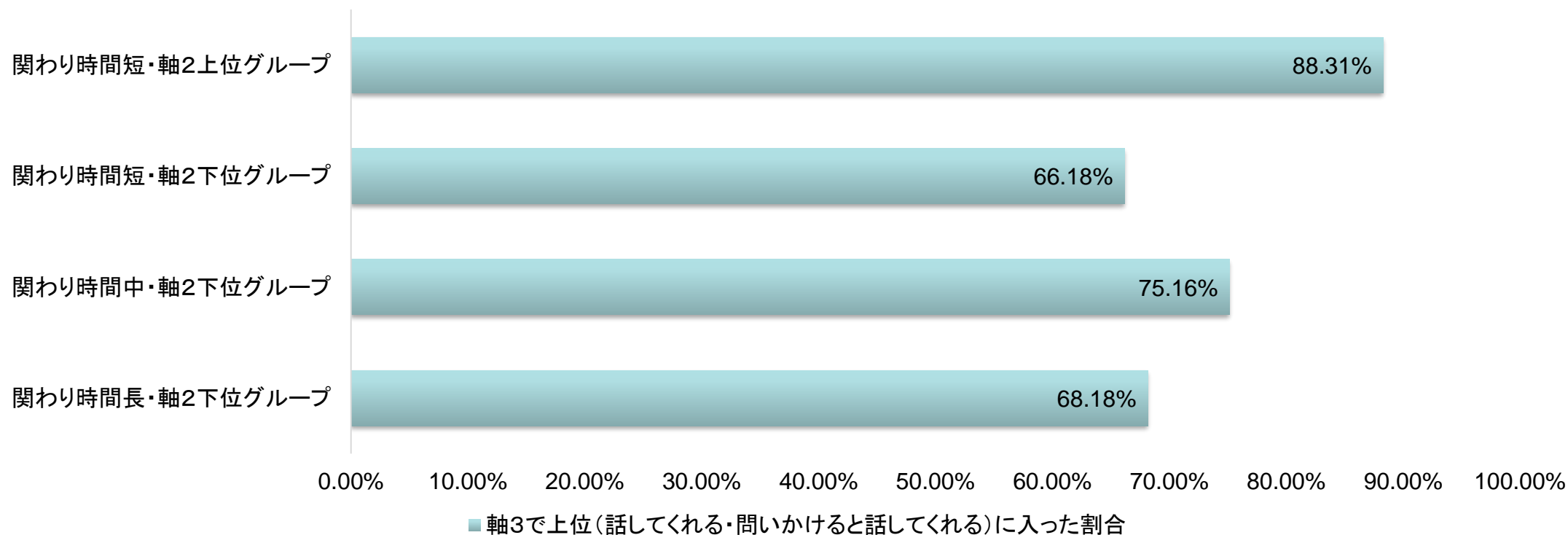
子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？ (軸3)



時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 子どもが困っているとき、子どもの気持ちによりそって一緒に考えるよう心がけできているか
 上位G: できている、だいたいできている / 下位G: あまりできていない、できていない

子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？ (軸3)



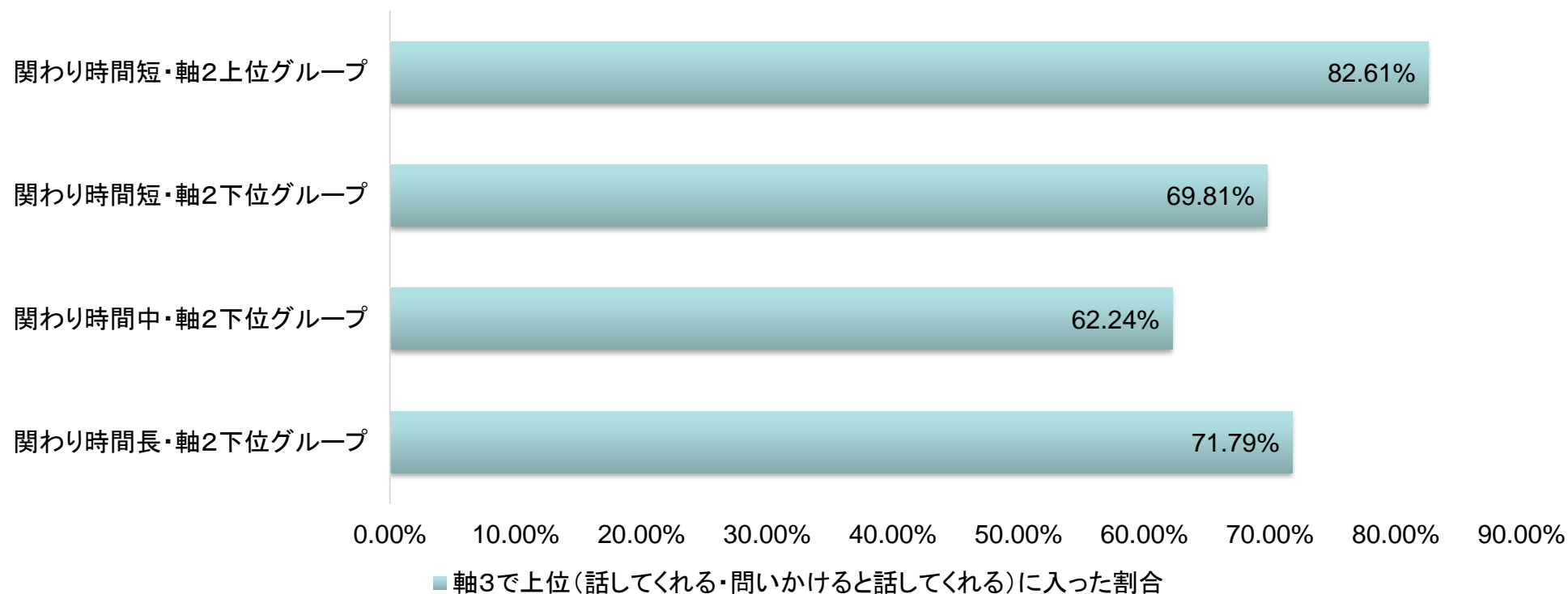
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 子どもをどれくらいほめているか

上位G: 毎日のようにほめている、毎日ではないがよくほめている

／下位G: たまにしかほめていない、ほとんどほめていない

子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？ (軸3)



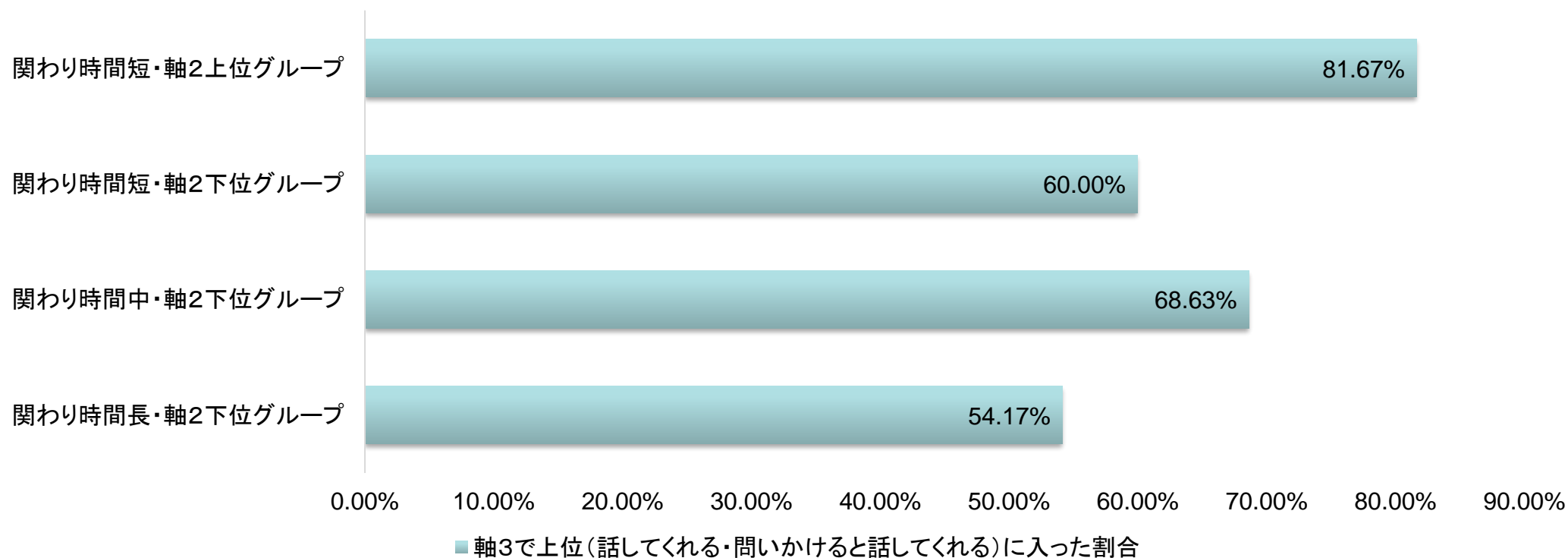
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント



軸2: あいさつやお礼の言葉が言えたとき、ほめている

上位G: よくほめる、ときどきほめる / 下位G: あまりほめない、ほとんどほめない

子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？ (軸3)

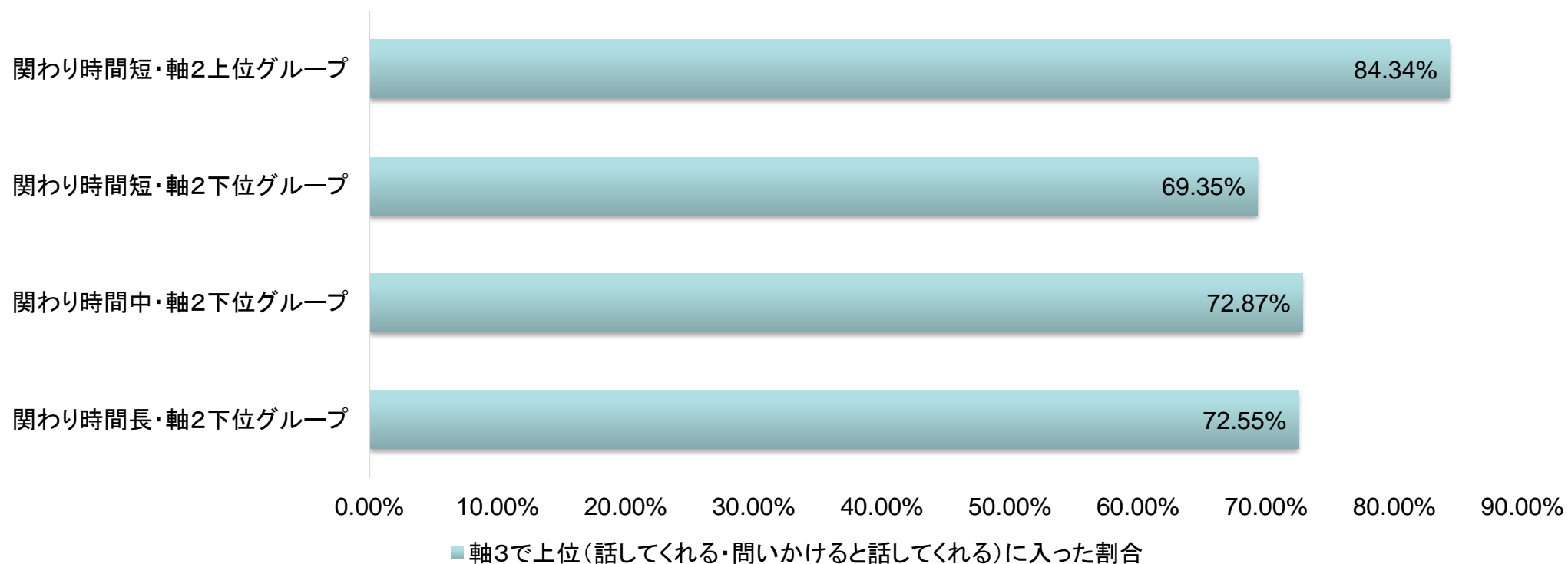


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2:親子で一緒に家の用事(片づけ、掃除など)をする

上位G:あてはまる、少しあてはまる / 下位G:あまりあてはまらない、まったくあてはまらない

子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？ (軸3)

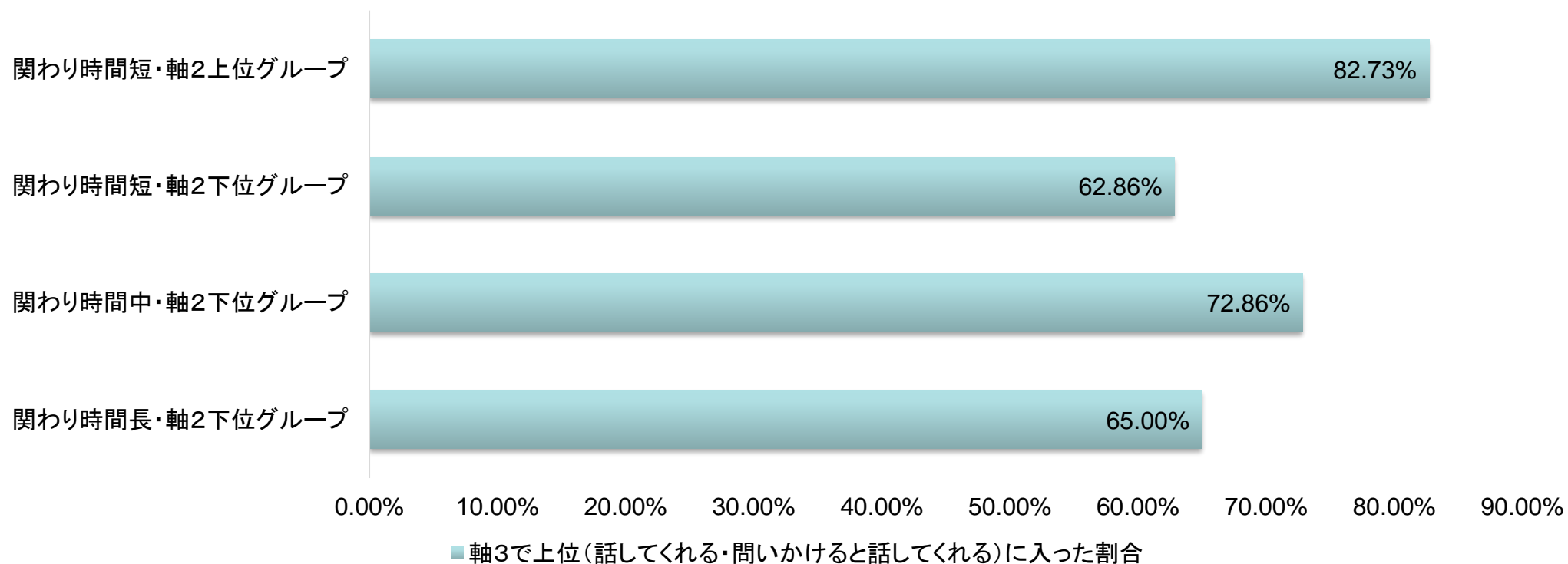


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 小さなことでもできるようになったことをほめて、親子で喜ぶ

上位G: できている、だいたいできている / 下位G: あまりできていない、できていない

子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？ (軸3)

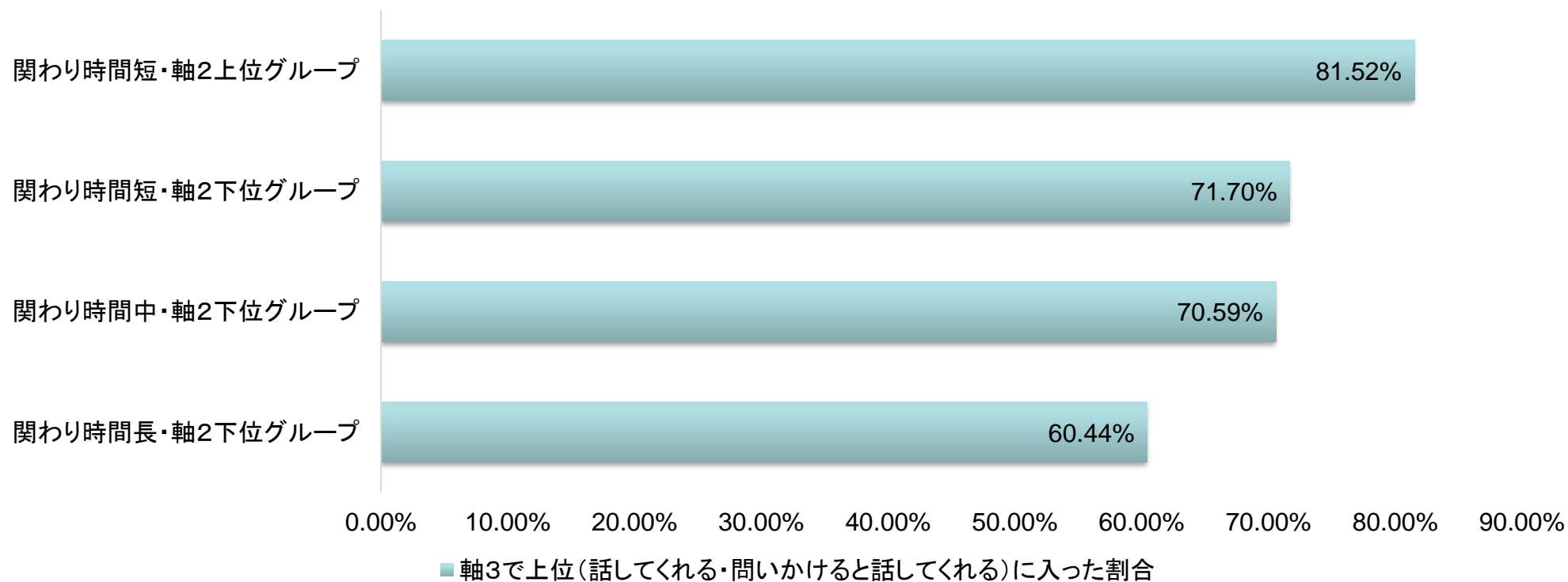


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: がんばってもできなかったとき、なぜできなかったか一緒に考えるか

上位G: よくする、ときどきする / 下位G: あまりしない、しない

子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？ (軸3)

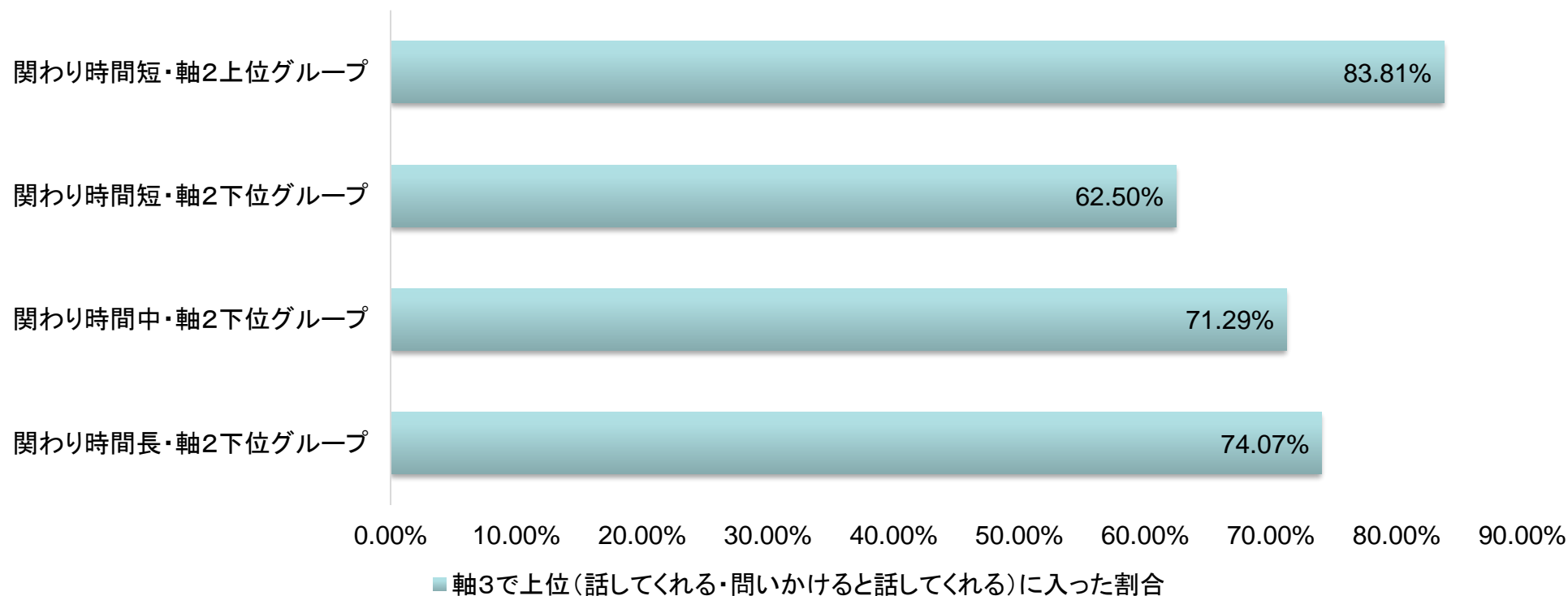


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 勉強した時、ほめるか

上位G: よくほめる、ときどきほめる / 下位G: あまりほめない、ほとんどほめない

子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？ (軸3)



時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

1. 子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？についての重要項目

重要レベル3

- ・子どもが困っているとき、子どもの気持ちによりそって一緒に考えるよう心がけている
- ・園や学校など、一緒にいない時間での出来事を子どもから聞いている

重要レベル2

- ・小さなことでもできるようになったことをほめて、親子で喜ぶ

重要レベル1

- ・子どもには、笑顔で接するように心がけている
- ・がんばってもできなかったとき、はげます
- ・子どもをよくほめる
- ・家事を手伝ったとき、ほめる
- ・ほめるとき、抱きしめるなどのスキンシップをしながらほめる
- ・ほめるとき、「こうすればもっとよかった」など言わず、ただほめる

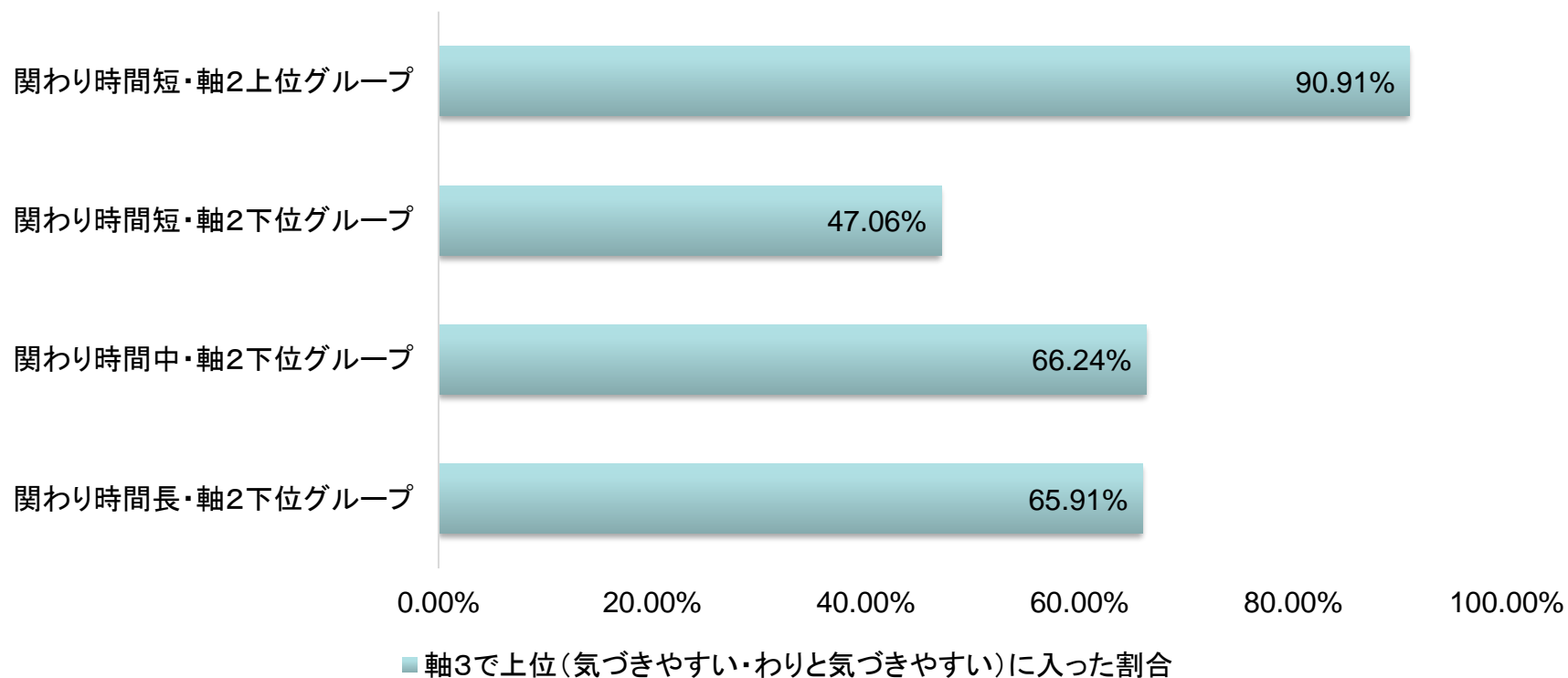
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント



軸2: 子どもが困っているとき、子どもの気持ちによりそって一緒に考えるよう心がけできているか

上位G: できている、だいたいできている / 下位G: あまりできていない、できていない

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？ (軸3)



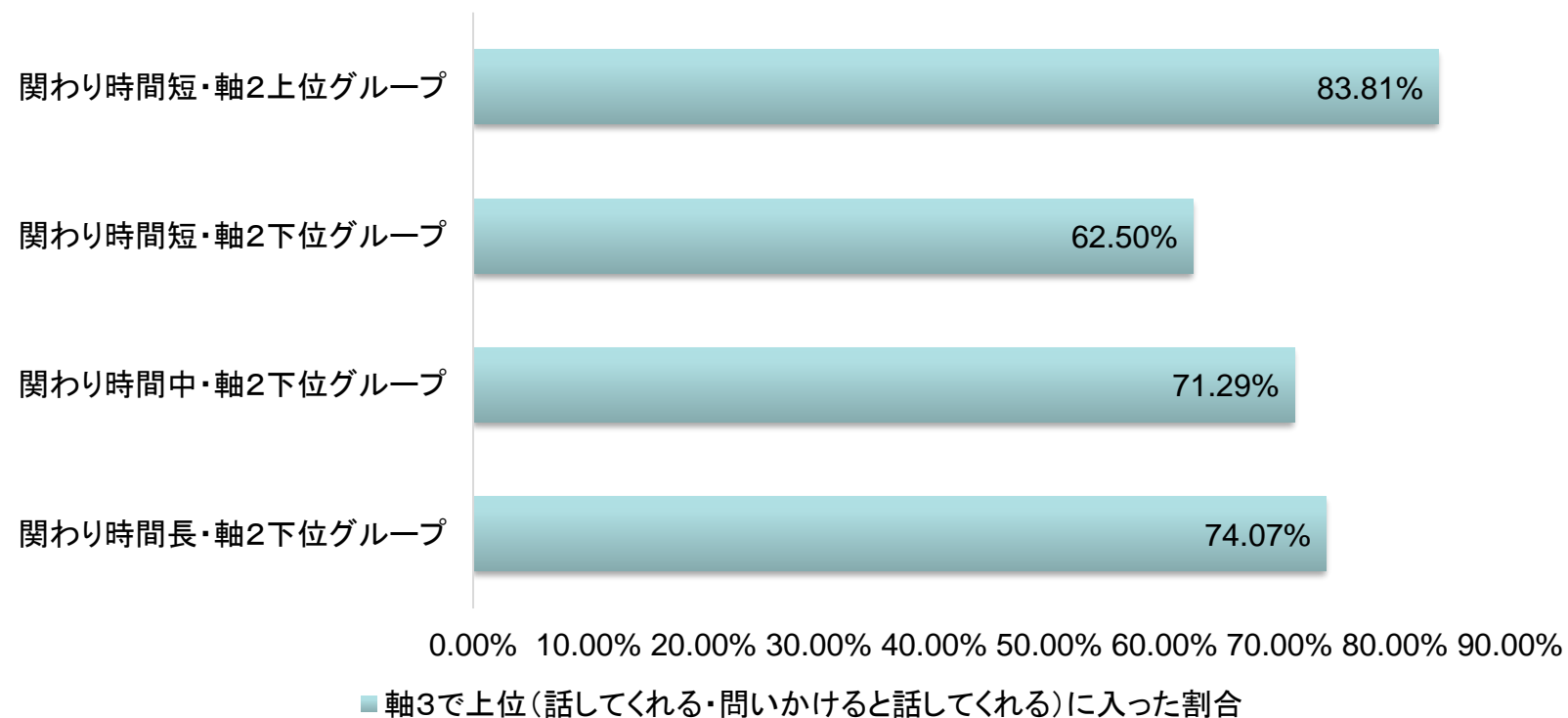
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント



軸2: 園や学校など、一緒にいない時間での出来事を子どもから聞いているか

上位G: ほぼ毎日聞いている、ある程度聞いている / 下位G: あまり聞けていない、ほとんど聞けていない

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？ (軸3)

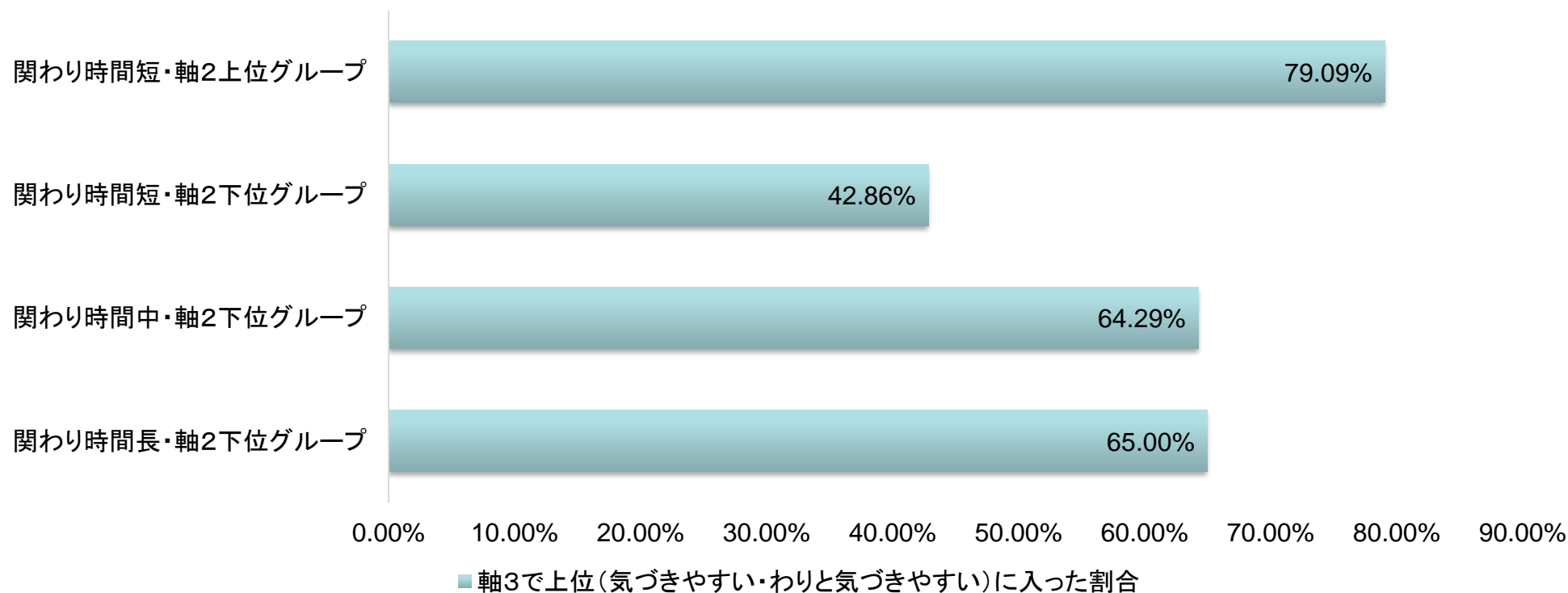


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 小さなことでもできるようになったことをほめて、親子で喜ぶ

上位G: できている、だいたいできている / 下位G: あまりできていない、できていない

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？ (軸3)

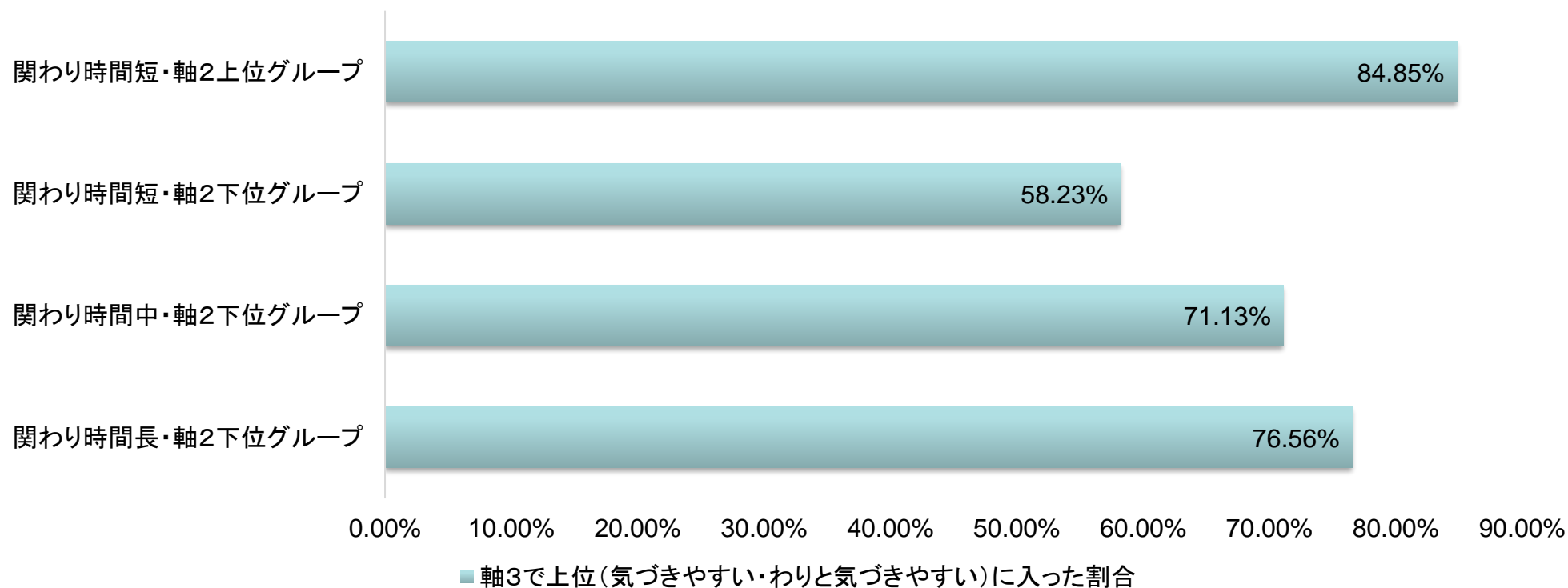


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2:子どもには、笑顔で接するように心がけているか

上位G:できている、だいたいできている / 下位G:あまりできていない、できていない

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？ (軸3)

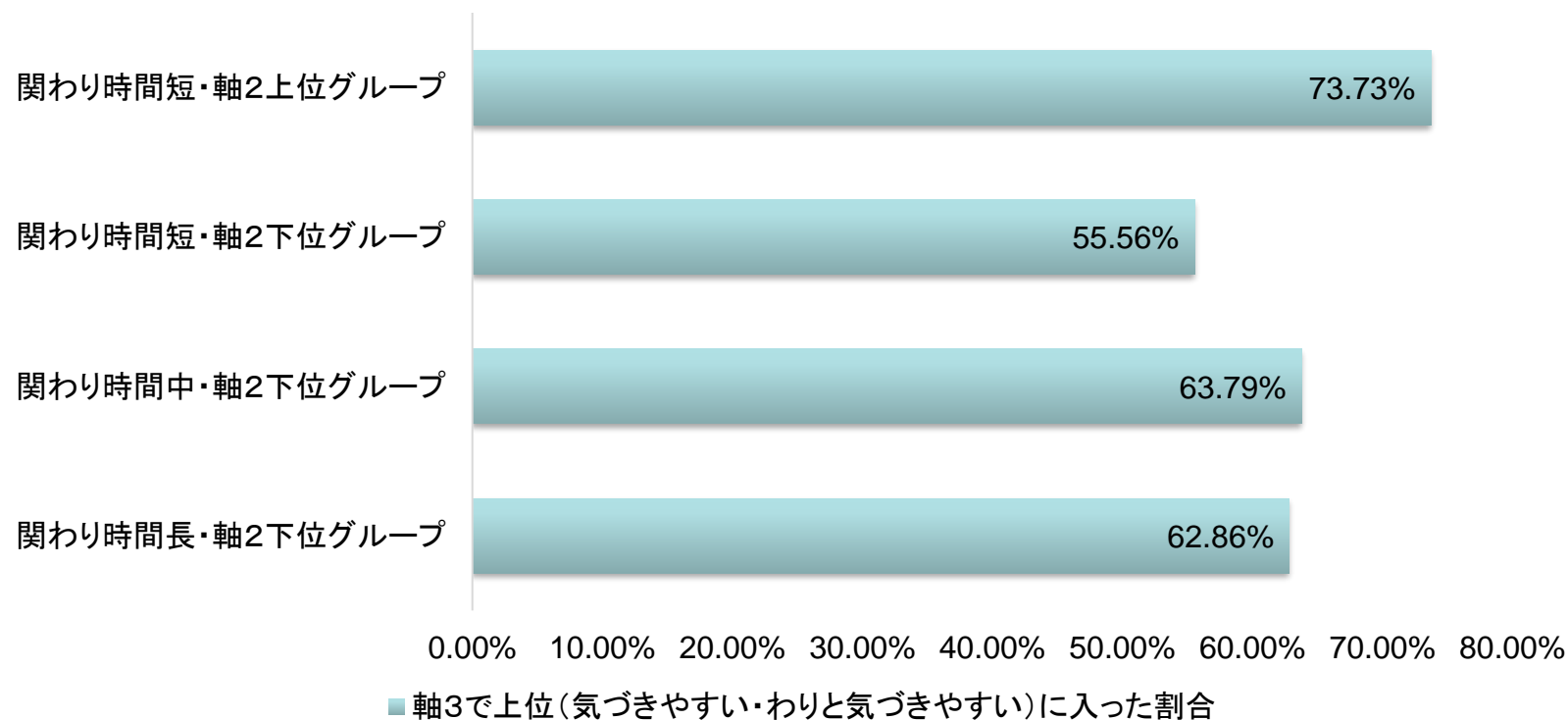


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: がんばってもできなかったとき、はげますか

上位G: よくする、ときどきする / 下位G: あまりしない、しない

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？ (軸3)



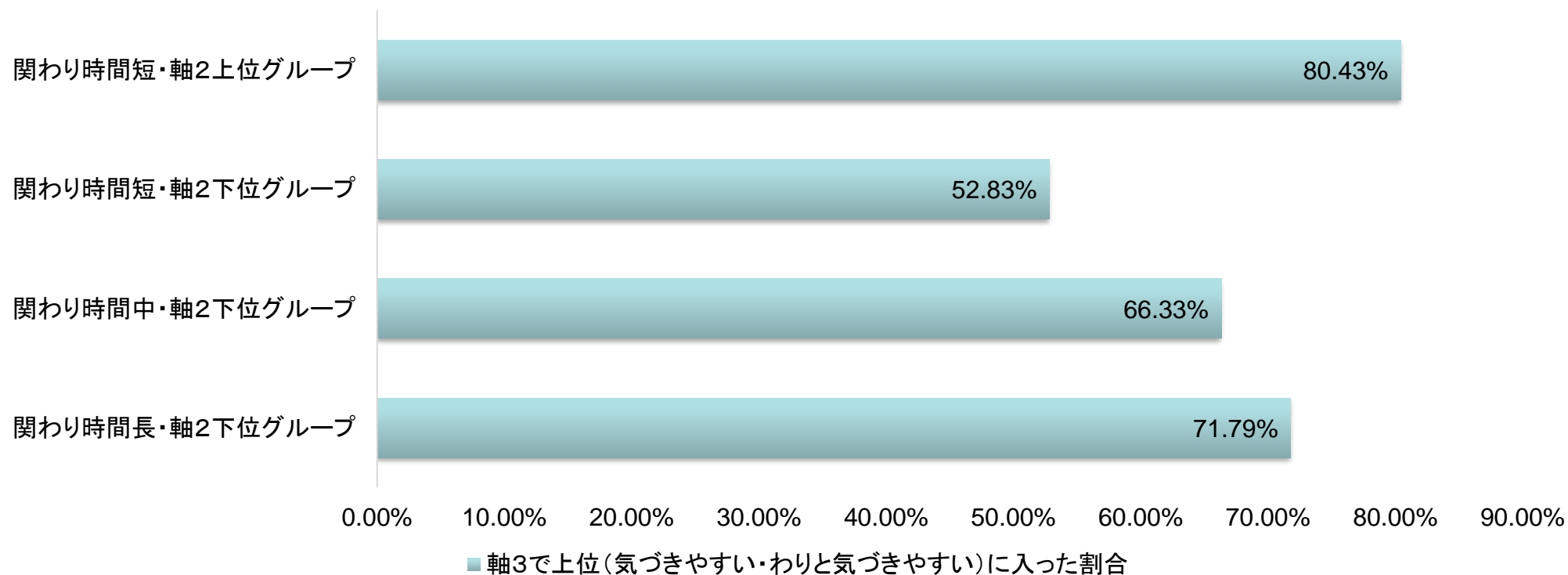
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 子どもをどれくらいほめているか

上位G: 毎日のようにほめている、毎日ではないがよくほめている

／下位G: たまにしかほめていない、ほとんどほめていない

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？ (軸3)

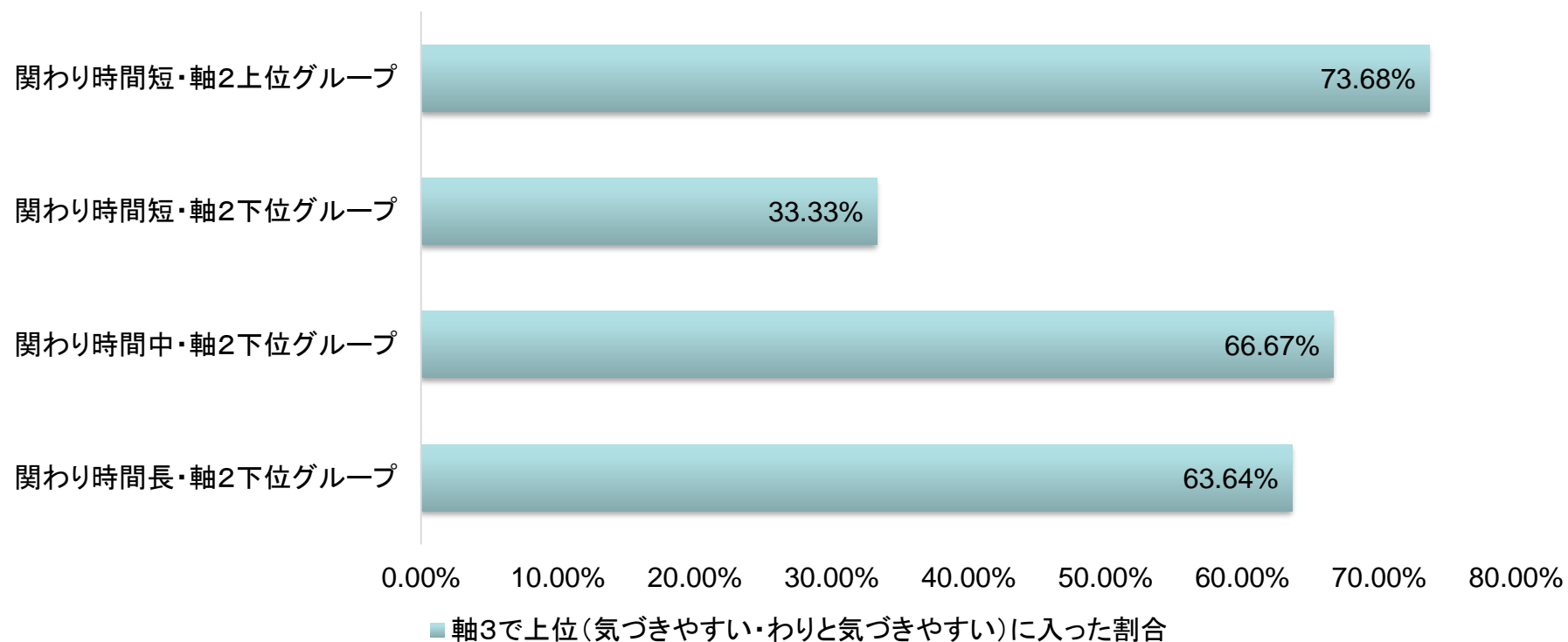


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 家事を手伝ったとき、ほめるか

上位G: よくほめる、ときどきほめる / 下位G: あまりほめない、ほとんどほめない

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？ (軸3)

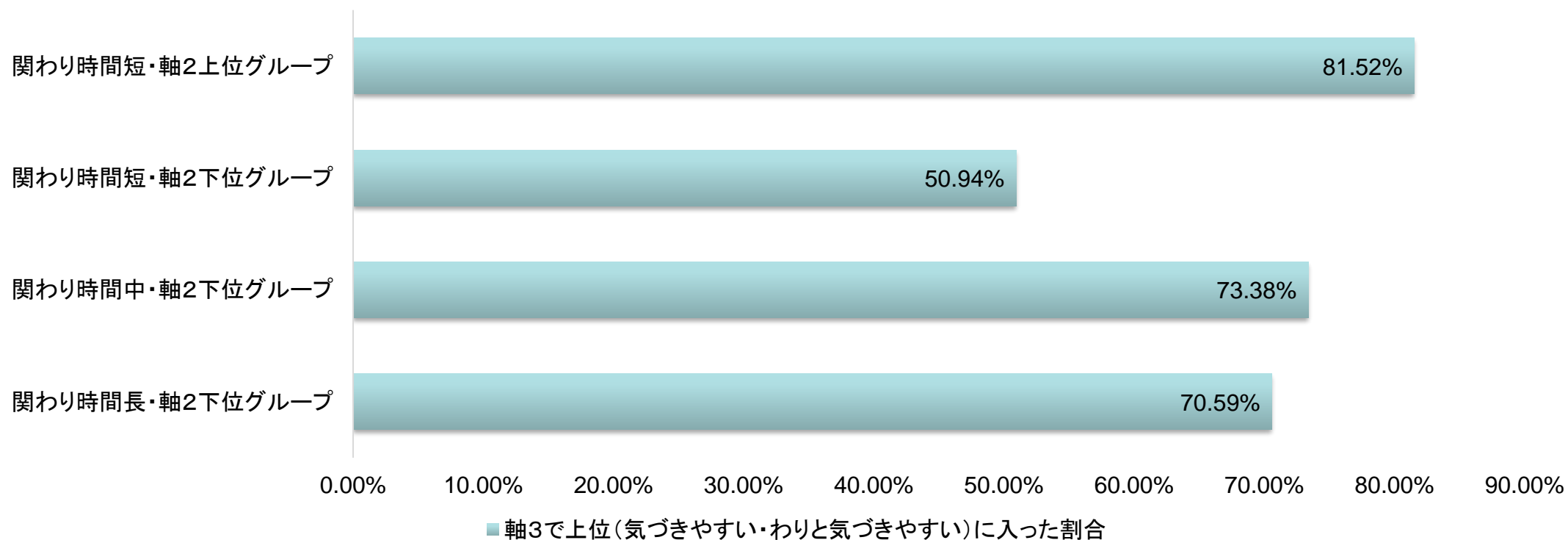


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 抱きしめるなどのスキンシップをしながらほめる

上位G: している、だいたいしている / 下位G: あまりしていない、していない

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？ (軸3)

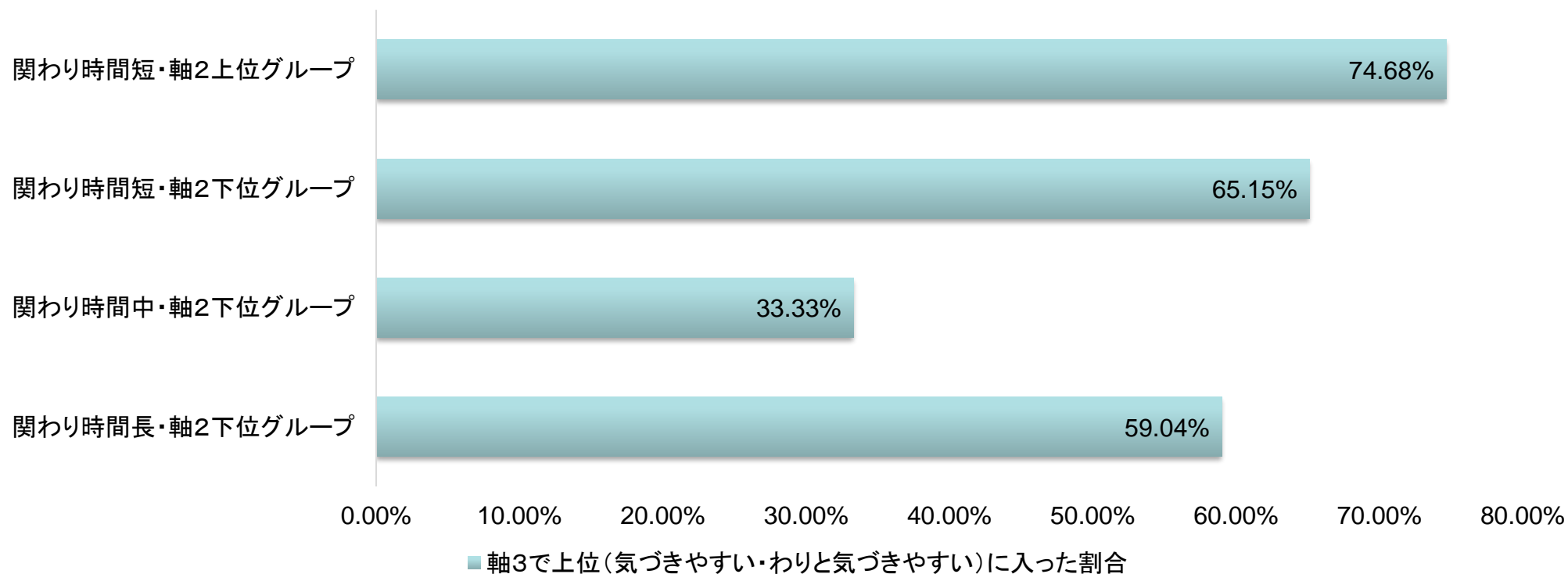


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2:「こうすればもっとよかった」など言わず、ただほめる

上位G:している、だいたいしている / 下位G:あまりしていない、していない

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？ (軸3)



時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

1. 子どもと交わす約束、子どもは守っているか？ についての重要項目

重要レベル3

- ・園や学校など、一緒にいない時間での出来事を子どもから聞いている
- ・がんばってもできなかったとき、がんばったことをほめる
- ・人に親切にしたときほめる

重要レベル2

- ・子どもが困っているとき、子どもの気持ちによりそって一緒に考えるよう心がけている
- ・子どもには、笑顔で接するように心がけている
- ・小さなことでもできるようになったことをほめて、親子で喜ぶ
- ・子どもをよくほめる
- ・友だちやきょうだいなどとはべないで、その子自身の良さを認め、ほめる
- ・家事を手伝ったときほめる
- ・がんばってもできなかったとき、はげます
- ・感情的に怒ってしまい、子どもの心を傷つけたとき、子どもに謝まっている
- ・季節の行事(正月、節句、ハロウィン、クリスマスなど)と一緒に楽しむ

重要レベル1

- ・朝夕の挨拶や「ありがとう」などの言葉を交わす
- ・あいさつやお礼の言葉が言えたとき、ほめる

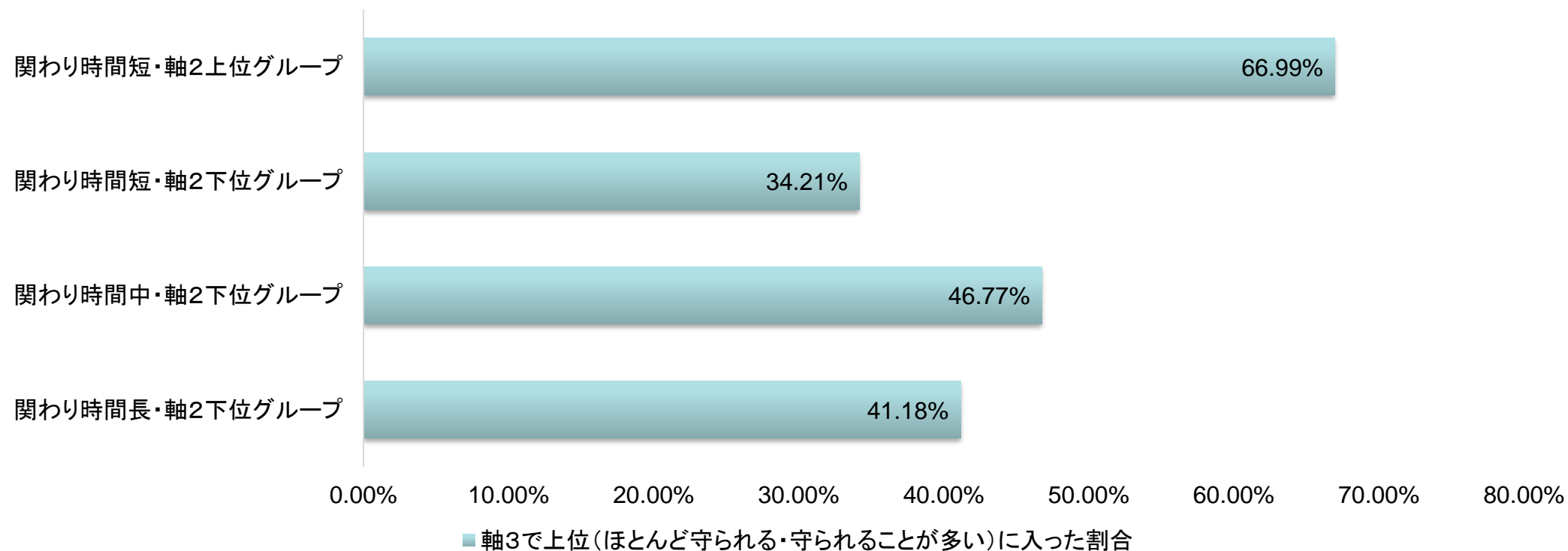
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント



軸2: 園や学校など、一緒にいない時間での出来事を子どもから聞いているか

上位G: ほぼ毎日聞いている、ある程度聞いている / 下位G: あまり聞けていない、ほとんど聞けていない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？ (軸3)

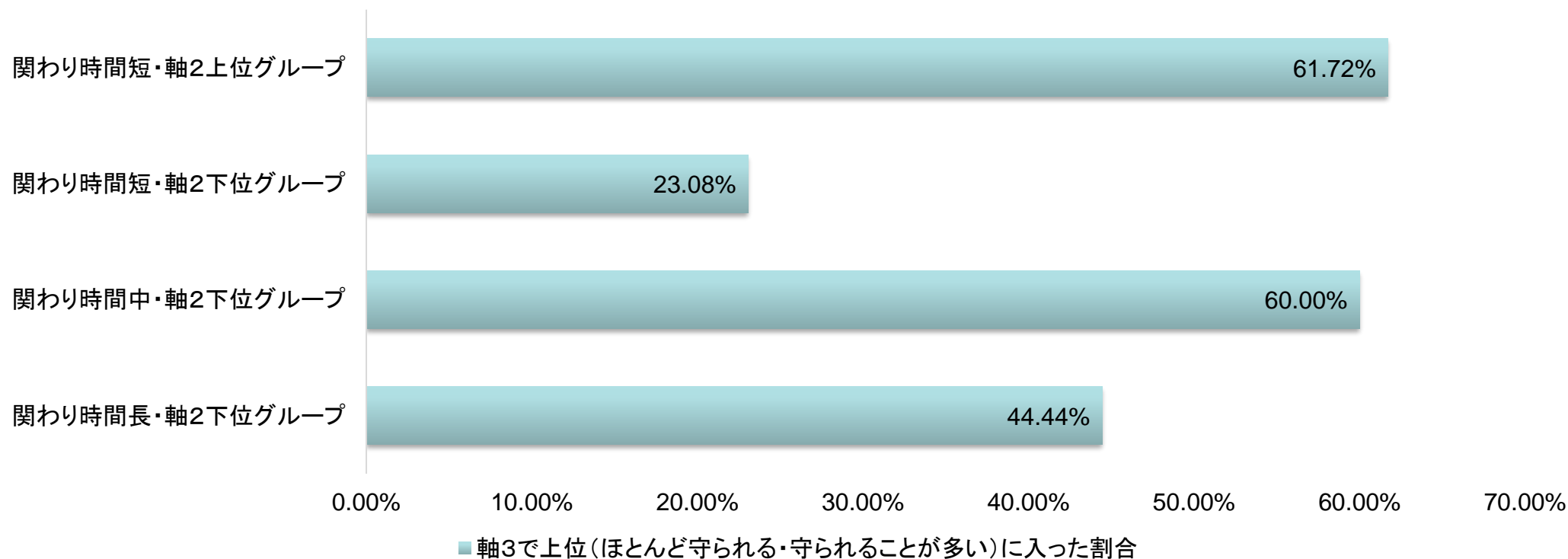


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: がんばってもできなかったとき、がんばったことをほめるか

上位G: よくする、ときどきする / 下位G: あまりしない、しない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？ (軸3)

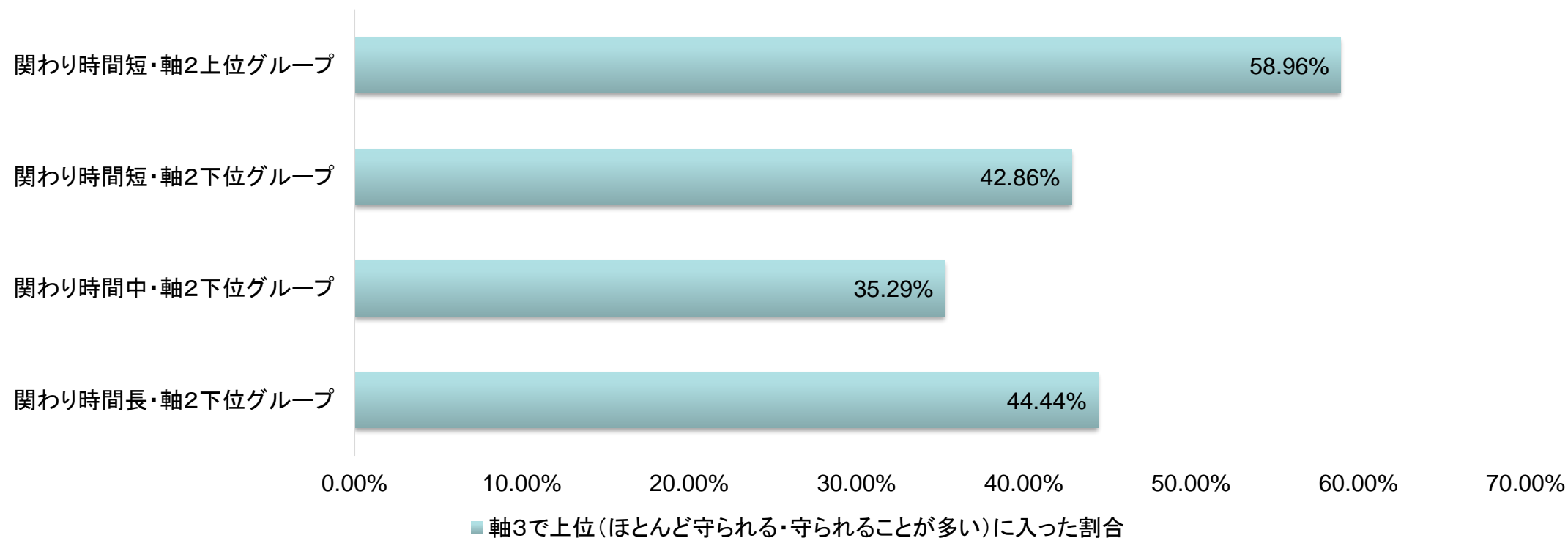


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 人に親切にしたとき、ほめているか

上位G: よくほめる、ときどきほめる / 下位G: あまりほめない、ほとんどほめない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？ (軸3)



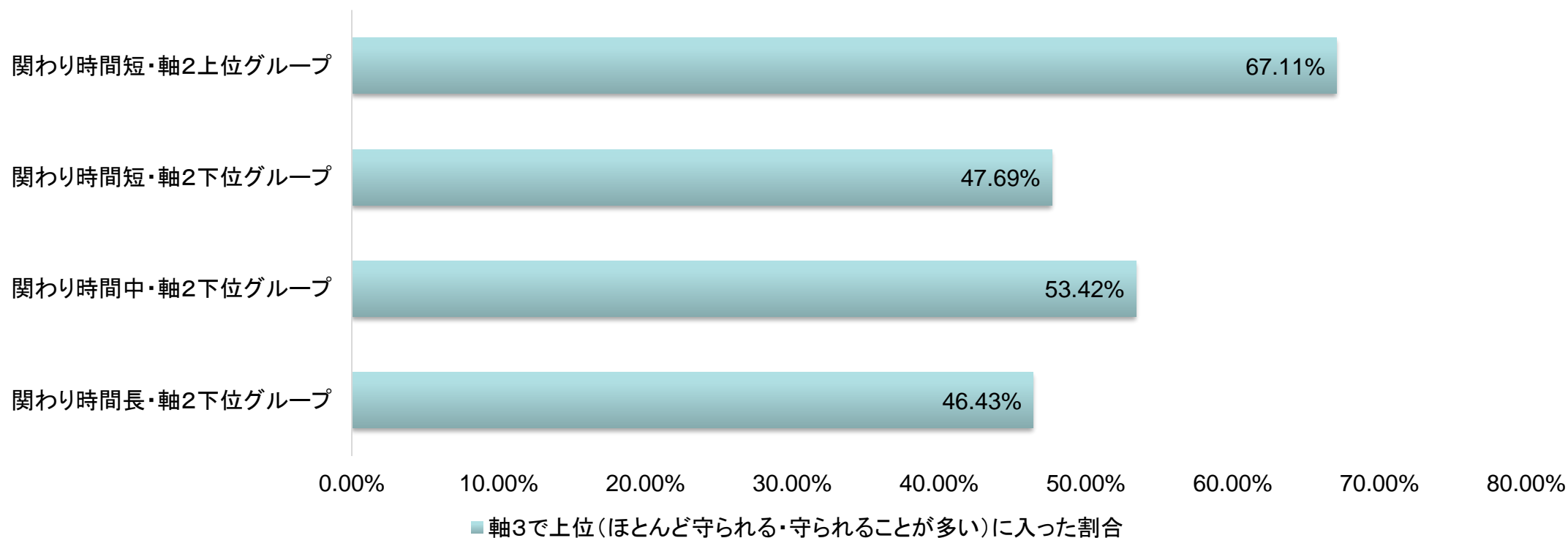
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント



軸2: 子どもが困っているとき、子どもの気持ちによりそって一緒に考えるよう心がけできているか

上位G: できている、だいたいできている / 下位G: あまりできていない、できていない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？(軸3)



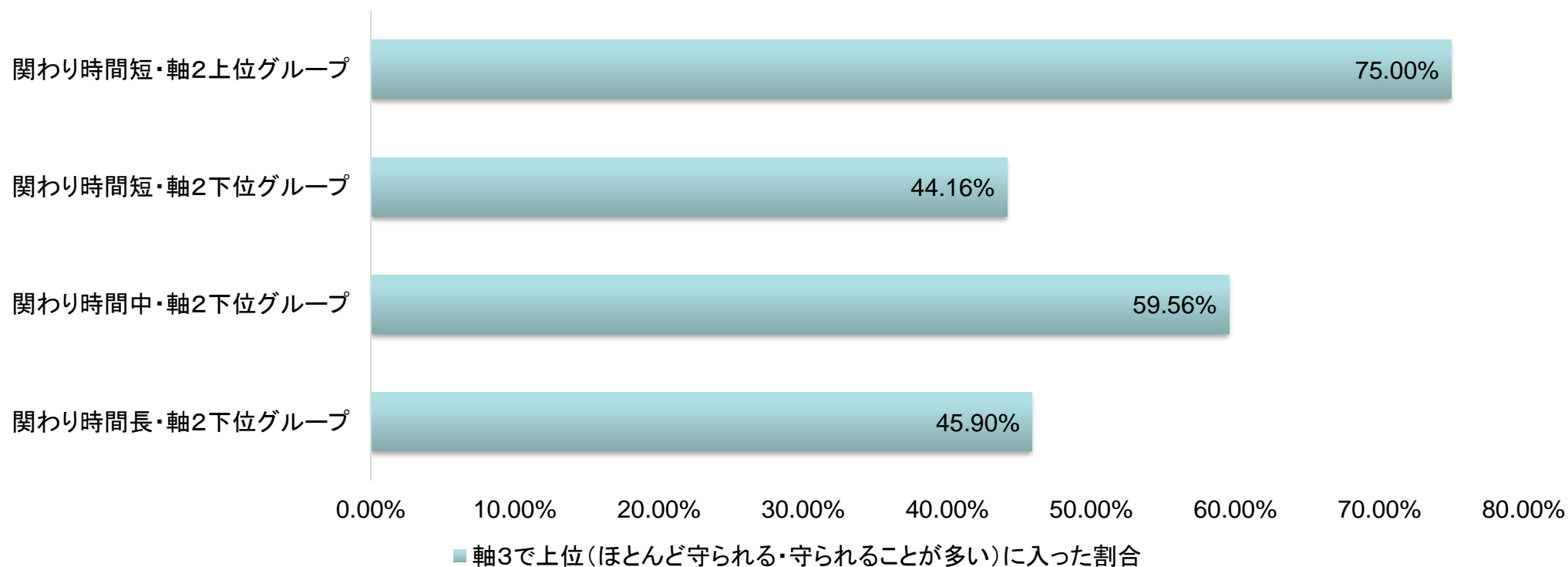
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント



軸2:子どもには、笑顔で接するように心がけているか

上位G:できている、だいたいできている / 下位G:あまりできていない、できていない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？(軸3)

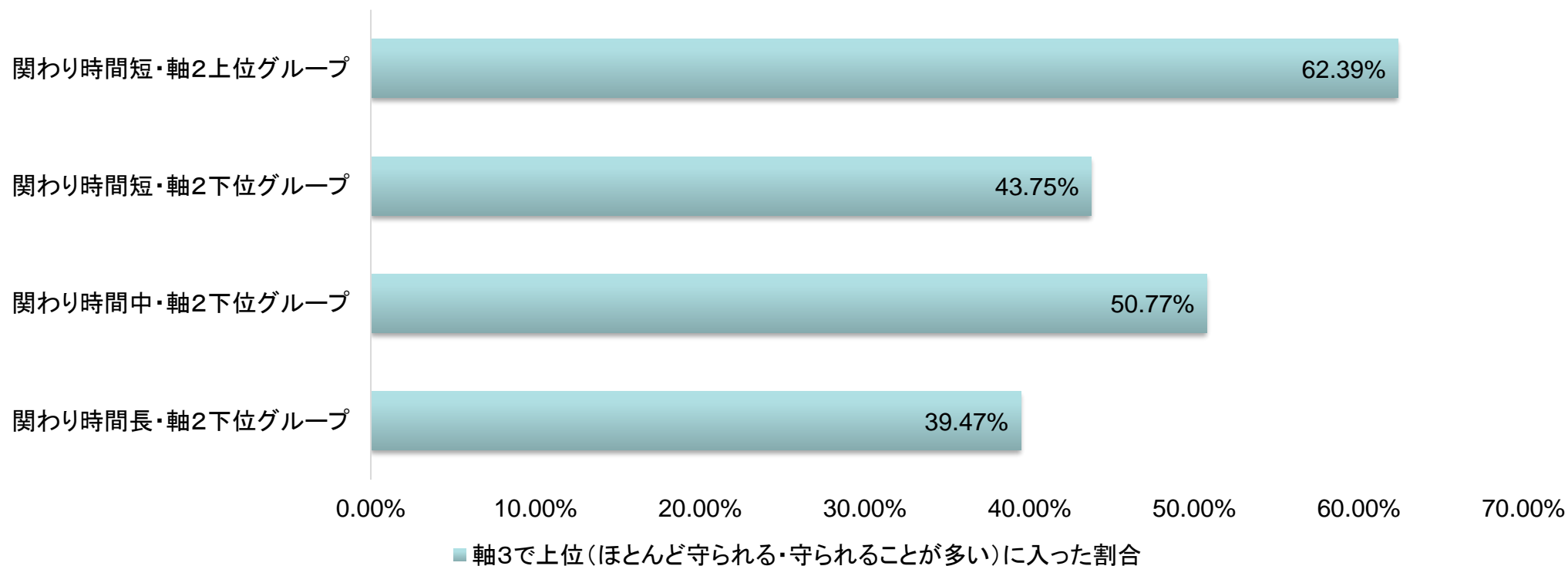


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 小さなことでもできるようになったことをほめて、親子で喜ぶ

上位G: できている、だいたいできている / 下位G: あまりできていない、できていない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？ (軸3)

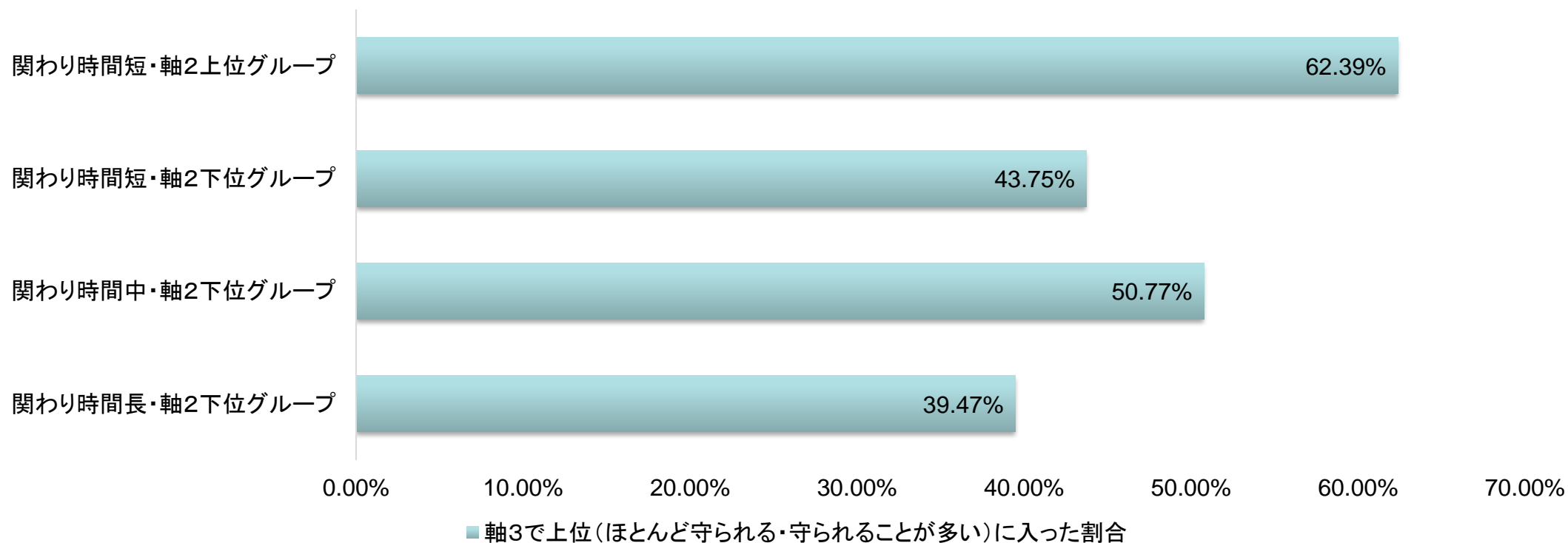


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: がんばってもできなかったとき、はげますか

上位G: よくする、ときどきする / 下位G: あまりしない、しない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？(軸3)



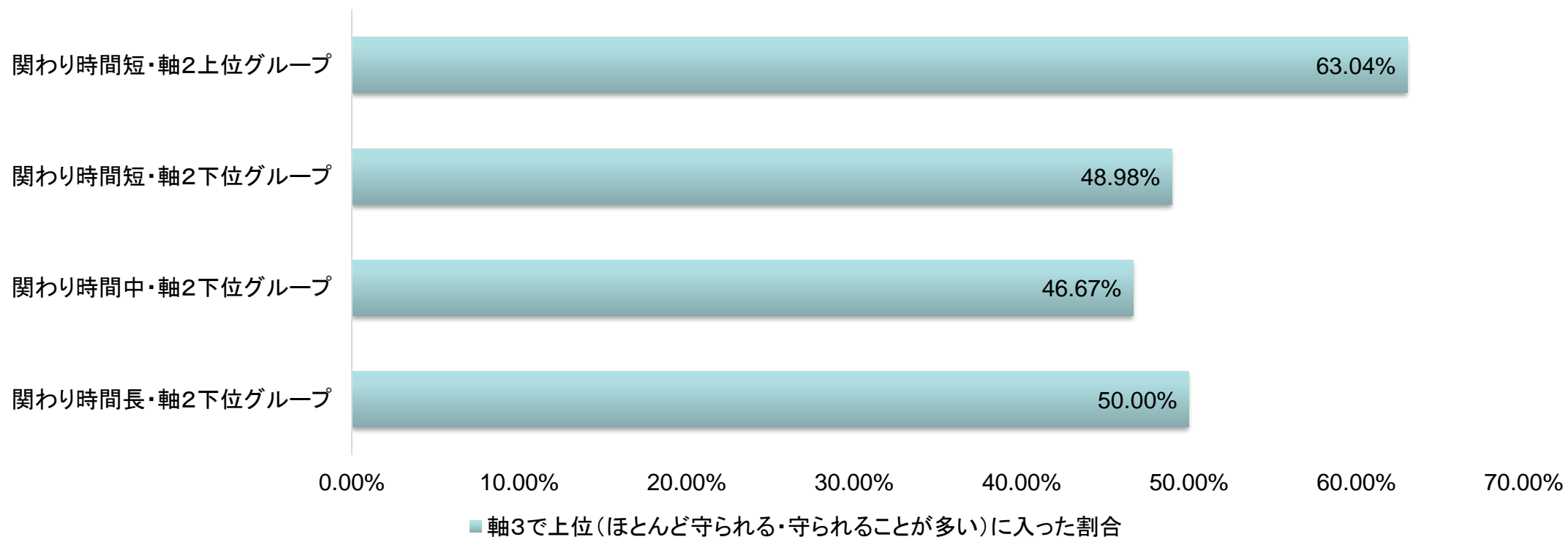
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 子どもをどれくらいほめているか

上位G: 毎日のようにほめている、毎日ではないがよくほめている

／下位G: たまにしかほめていない、ほとんどほめていない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？(軸3)

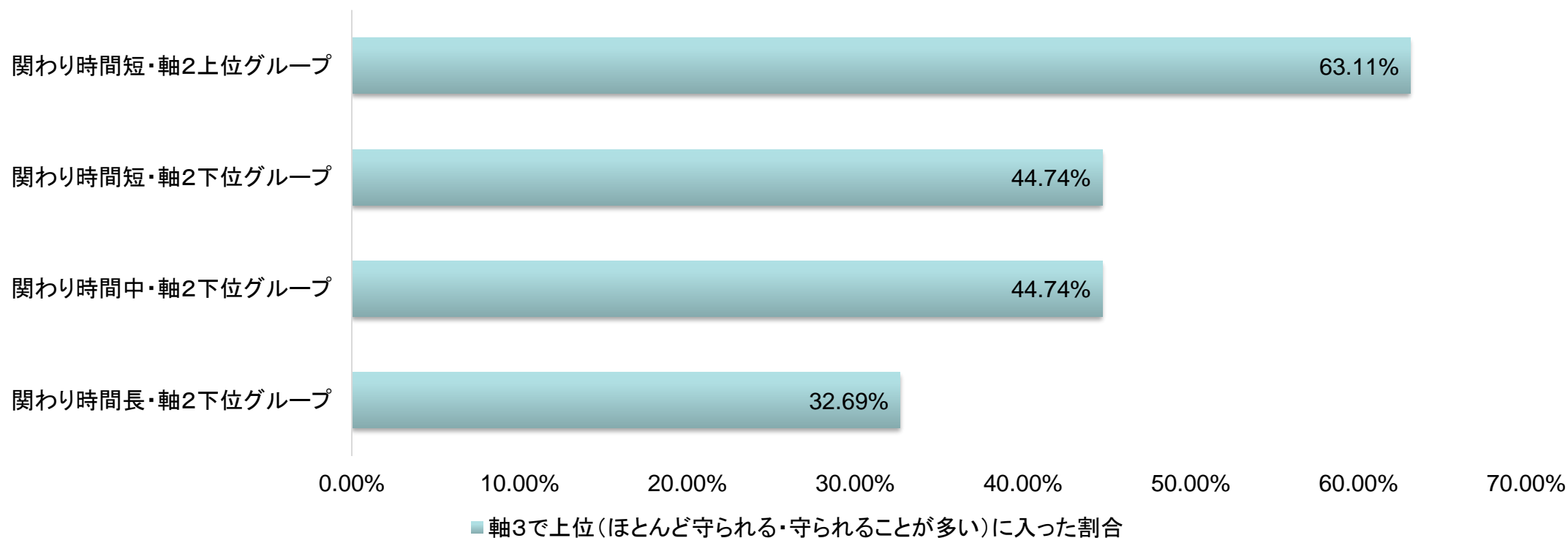


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 友だちやきょうだいなど比べないで、その子自身の良さを認め、ほめる

上位G: している、だいたいしている / 下位G: あまりしていない、していない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？ (軸3)

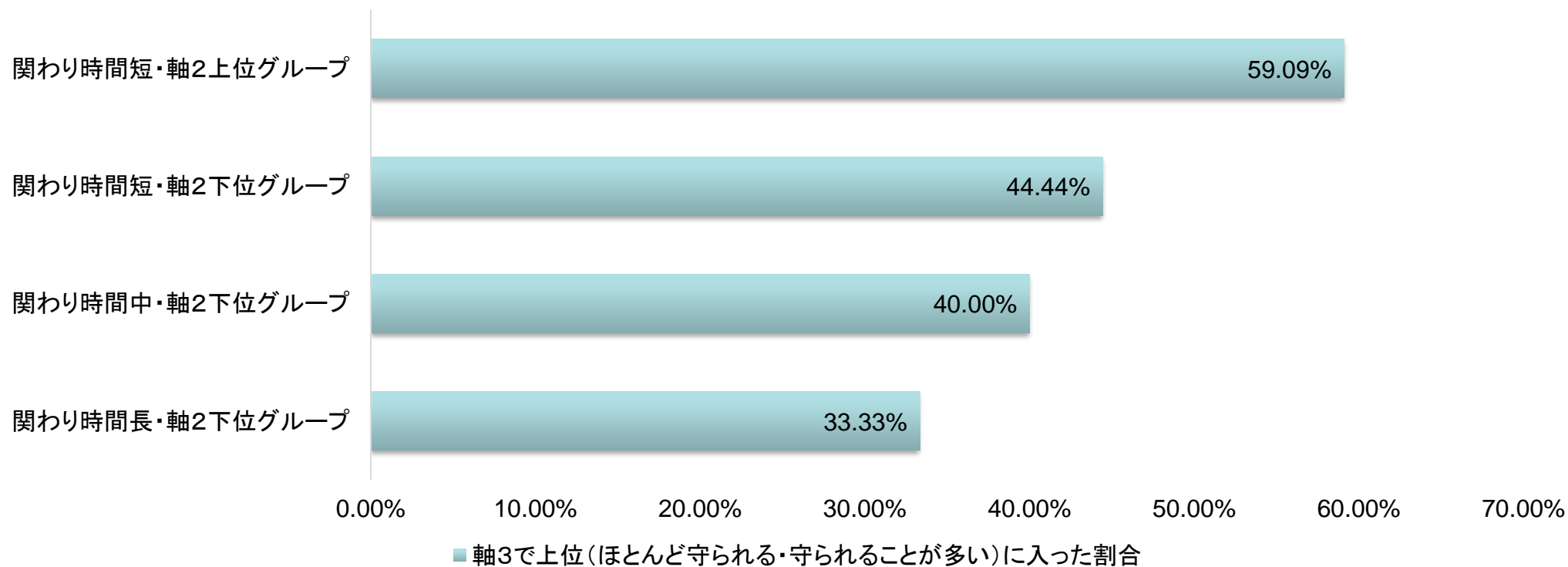


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 家事を手伝ったとき、ほめるか

上位G: よくほめる、ときどきほめる / 下位G: あまりほめない、ほとんどほめない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？ (軸3)

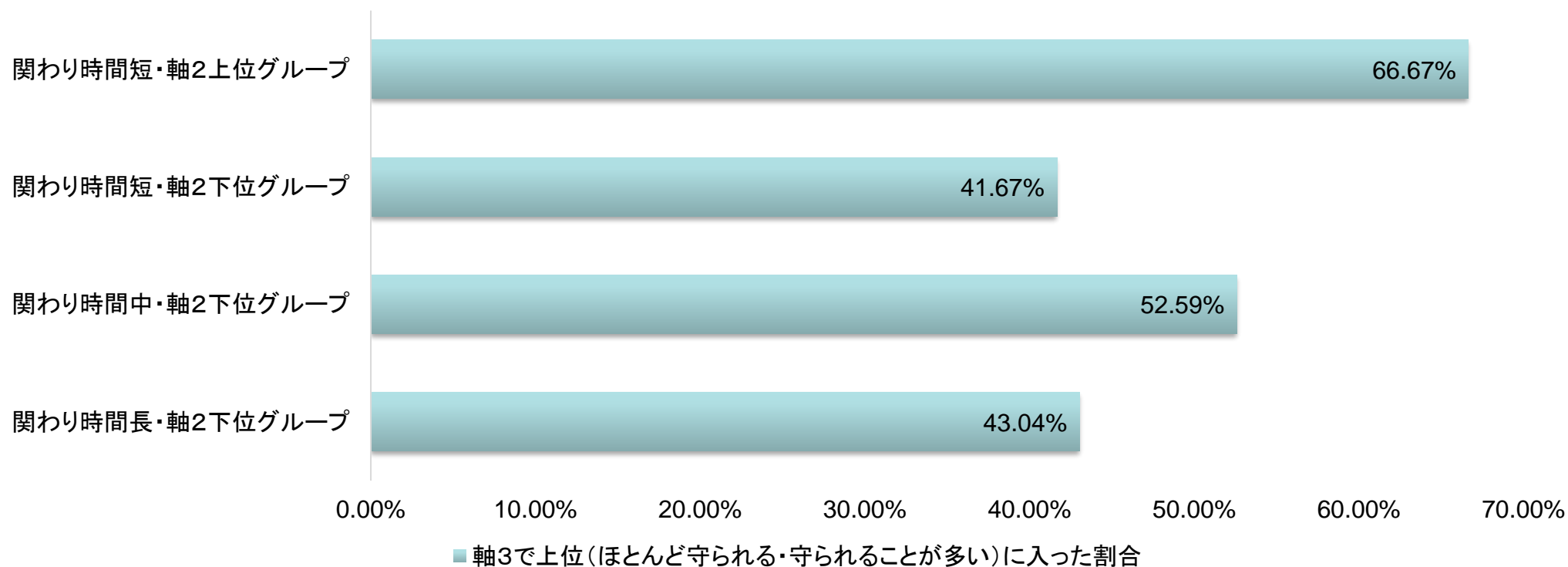


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 感情的に怒ってしまい、子どもの心を傷つけたとき、子どもに謝ってる

上位G: 必ず謝る、だいたい謝る / 下位G: あまり謝らない、謝らない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？(軸3)

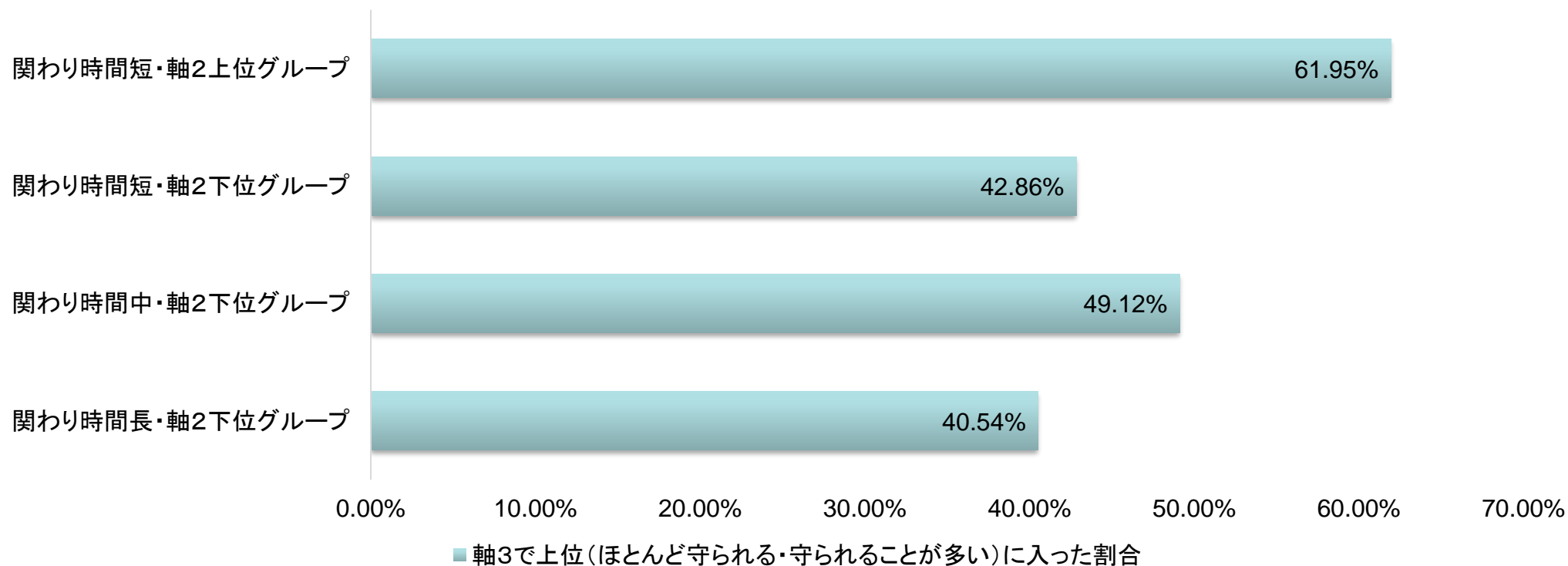


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 季節の行事(正月、節句、ハロウィン、クリスマスなど)を楽しむ

上位G: あてはまる、少しあてはまる / 下位G: あまりあてはまらない、まったくあてはまらない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？(軸3)

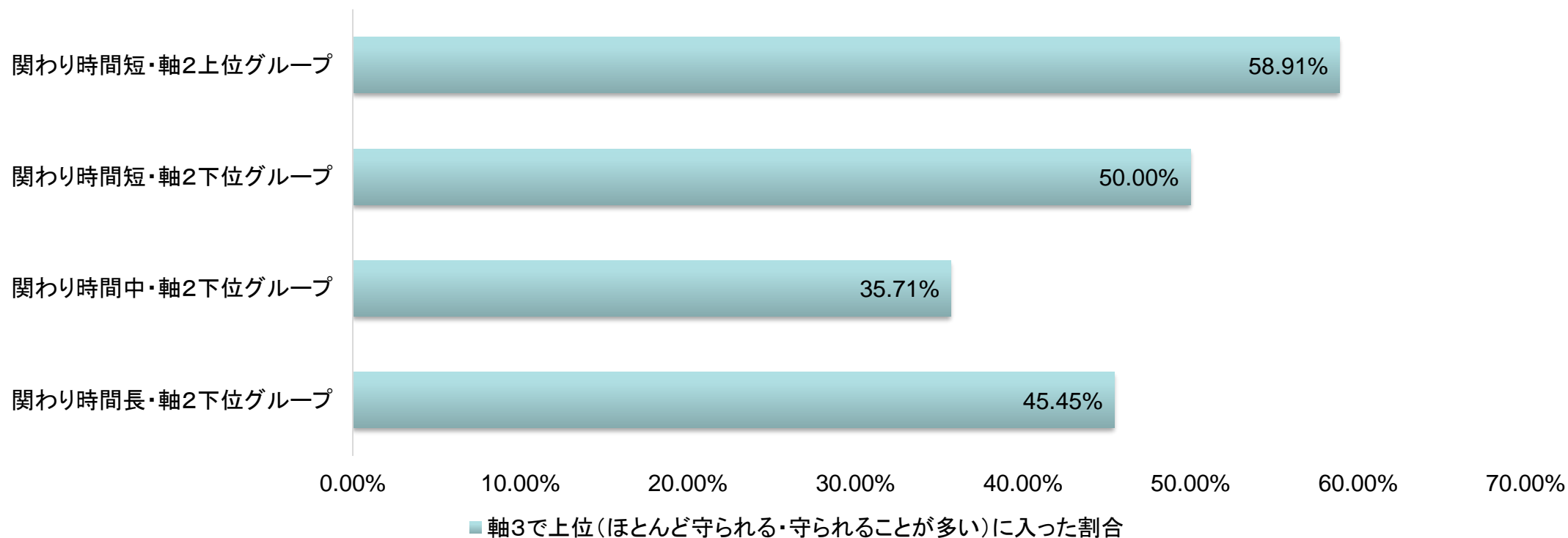


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 朝夕の挨拶や「ありがとう」などの言葉を交わす

上位G: あてはまる、少しあてはまる / 下位G: あまりあてはまらない、まったくあてはまらない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？(軸3)



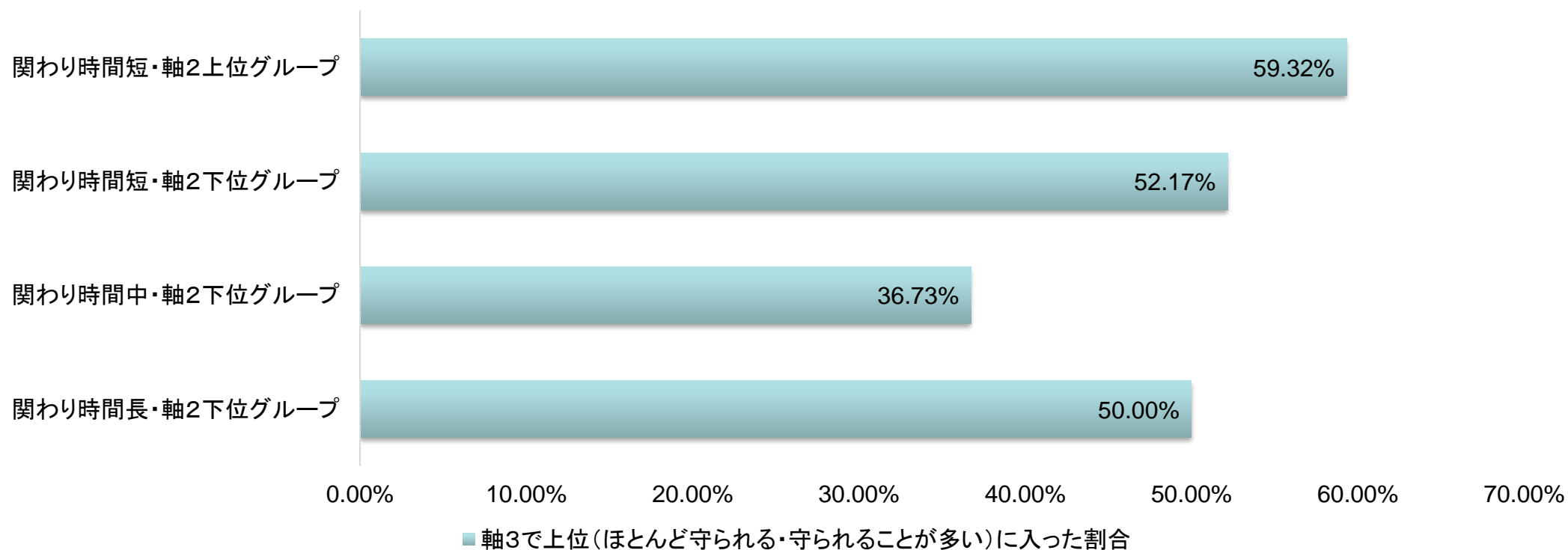
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント



軸2: あいさつやお礼の言葉が言えたとき、ほめるか

上位G:よくほめる、ときどきほめる / 下位G:あまりほめない、ほとんどほめない

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？(軸3)



時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

1～3(シート29～31)で2か所以上に選出され、レベル3を3点、レベル2を2点、レベル1を1点とした際、合計3点以上になった項目。

- ・園や学校など、一緒にいない時間での出来事を子どもから聞いている (1. 2. 3 計9点)
- ・子どもが困っているとき、子どもの気持ちによりそって一緒に考えるよう心がけている (1. 2. 3 計7点)
- ・がんばってもできなかったとき、はげます (1. 2. 3 計6点)
- ・子どもをよくほめる (1. 2. 3 計5点)
- ・小さなことでもできるようになったことをほめて、親子で喜ぶ (1. 2. 3 計5点)
- ・がんばってもできなかったとき、がんばったことをほめる (1. 3 計6点)
- ・あいさつやお礼の言葉が言えたとき、ほめる (1. 3 計3点)
- ・子どもには、笑顔で接するように心がけている (2. 3 計3点)

時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

「子どもと行う、楽しむ時間を持っているか」と、「子どもに共感する、子どもをほめる、はげます」といった「子どもへの接し方」との関係性も見られた。

子どもとの関わり時間が短くても、「子どもと行う、楽しむ時間を持っている」保護者は、

- ・子どもが困っているとき、子どもの気持ちによりそって一緒に考えるよう心がけている
- ・がんばってもできなかったとき、はげます
- ・子どもをよくほめる
- ・小さなことでもできるようになったことをほめて、親子で喜ぶ

などができている傾向が強い。

時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

【分析方法】

下記3つの軸でクロス集計を行った

軸1:子どもとの関わり時間3グループ(短時間・中時間・長時間)

軸2:子どもとの楽しむ時間(低群・中群・高群)

軸3:・子どもが困っているとき、子どもの気持ちによりそって一緒に考えるよう心がけている

- ・がんばってもできなかったとき、はげます
- ・子どもをよくほめる
- ・小さなことでもできるようになったことをほめて、親子で喜ぶ



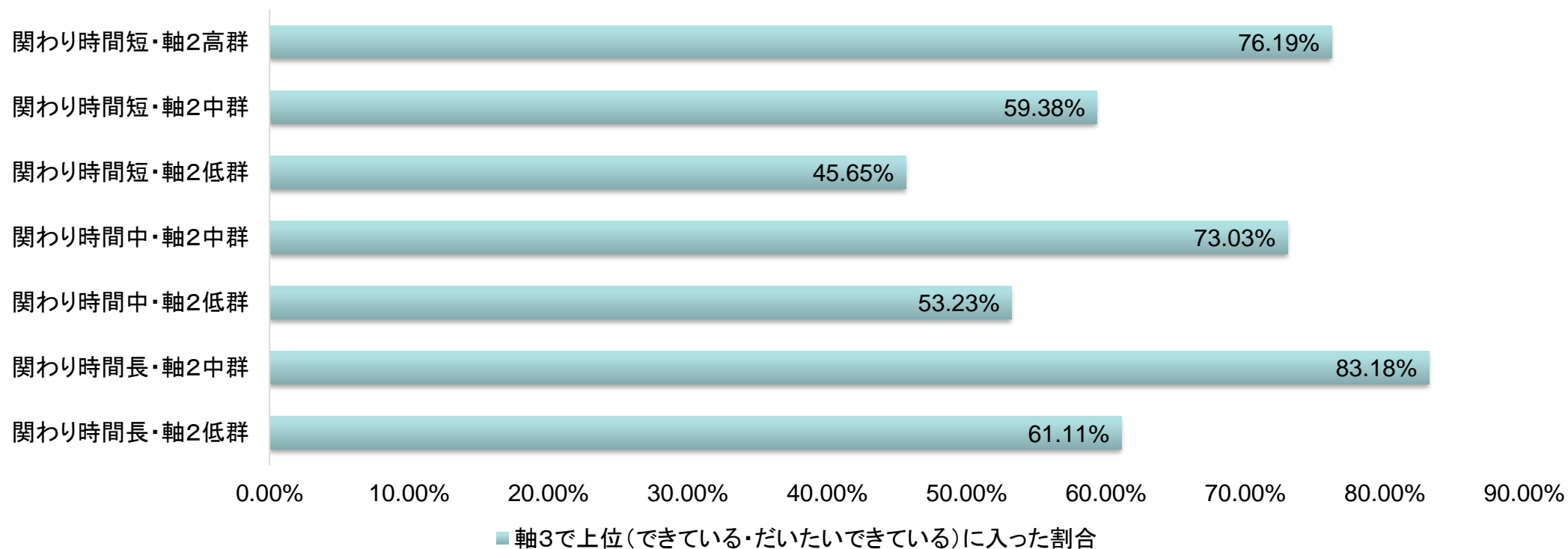
「子どもとの関わり時間 × 第2軸回答グループ」ごとに、第3軸で上位グループに入る割合を算出し比較。

※関わり時間短の2軸高群と、関わり時間短・中・長の2軸下位Gの中群・低群で、第3軸での上位G割合を比較。

時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2:子どもとの楽しむ時間(低群・中群・高群)

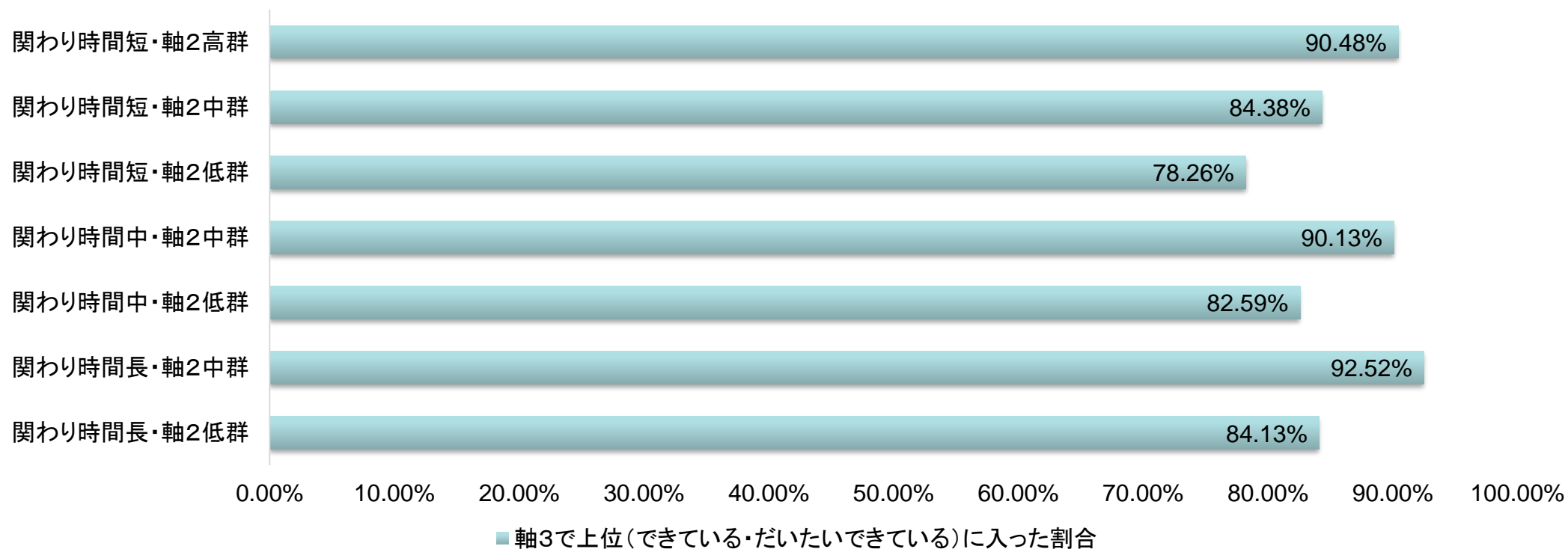
子どもが困っているとき、子どもの気持ちによりそって一緒に考えるよう心がけているか？(軸3)



時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2:子どもとの楽しむ時間(低群・中群・高群)

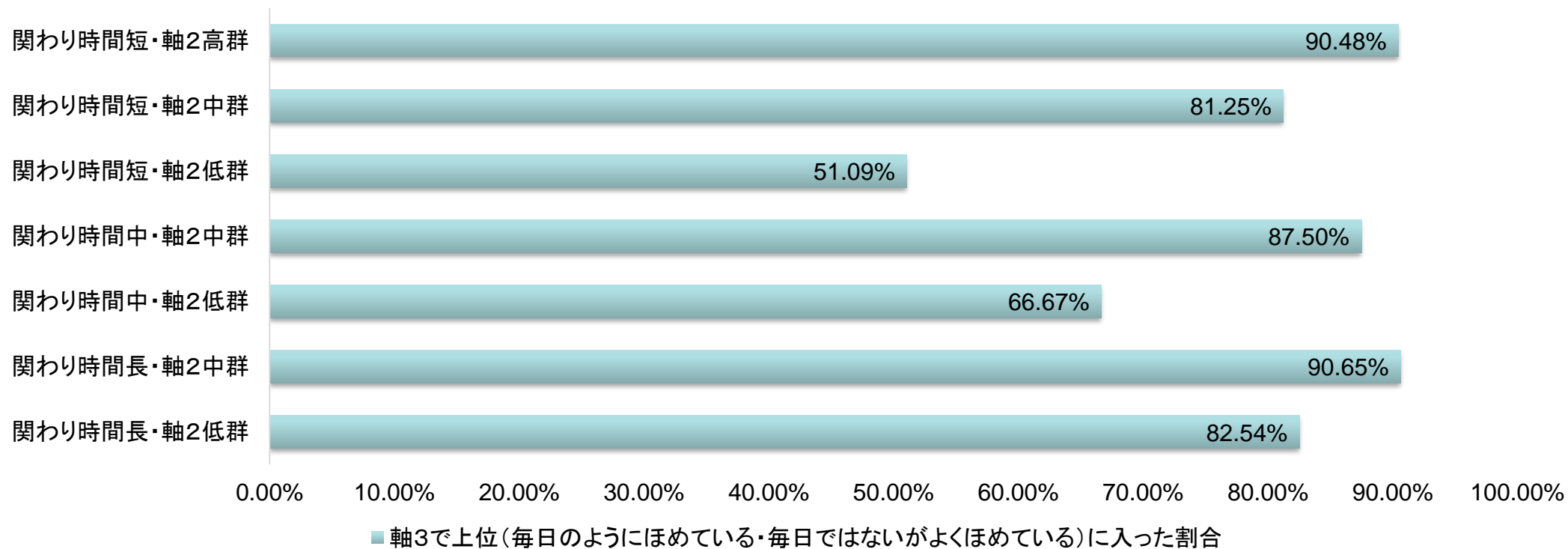
がんばってもできなかったとき、はげますか？(軸3)



時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2:子どもとの楽しむ時間(低群・中群・高群)

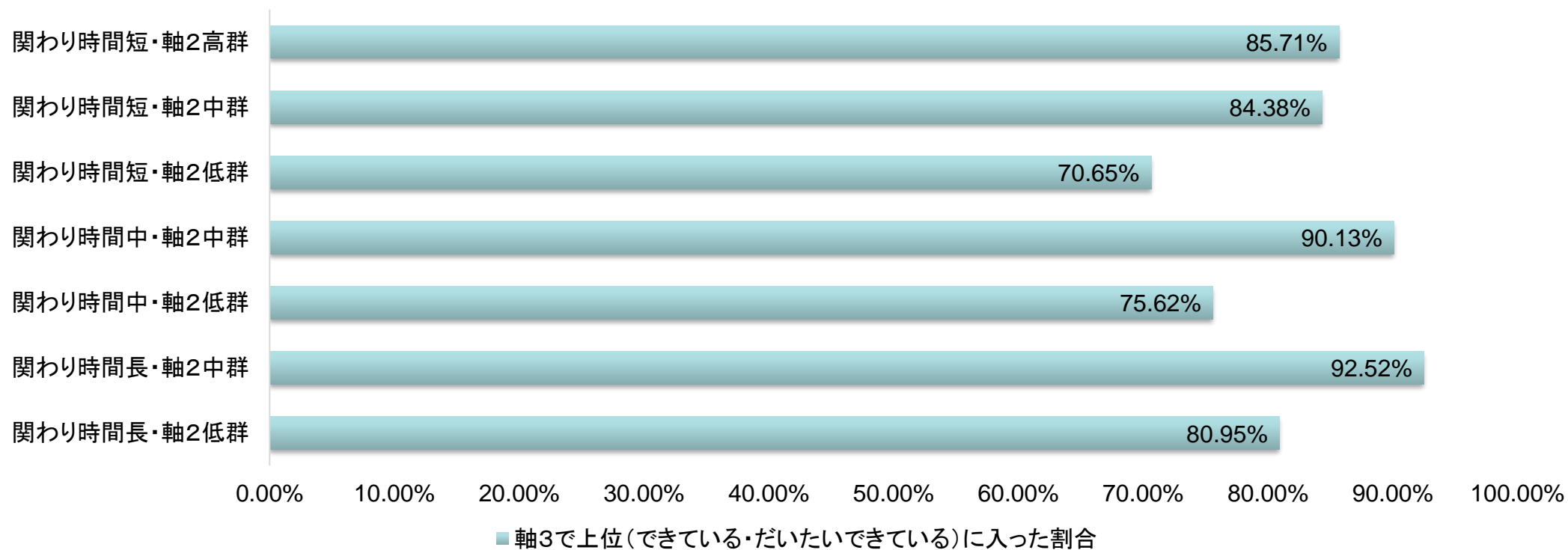
子どもをどれくらいほめているか？(軸3)



時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2:子どもとの楽しむ時間(低群・中群・高群)

小さなことでもできるようになったことをほめて、親子で喜ぶか？(軸3)



時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

1. 子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？
2. 子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？
3. 子どもと交わす約束、子どもは守っているか？

以上3つの点での親子関係について、「親子で楽しむ」「子どもの話を聞く」「ほめる」など、子どもがポジティブな感想を持ちやすい関わり方をしているほど、親は良い親子関係構築につながる手ごたえを感じている傾向がある。

逆に、子どもを「叱る・叱らない」など、子どもが嫌がる関わり方との大きな関連性は見られなかったが、「子どもを叱るとき、感情的になって怒る」ことが少ない親子ほど、「約束が守られる」傾向は高く見られた。

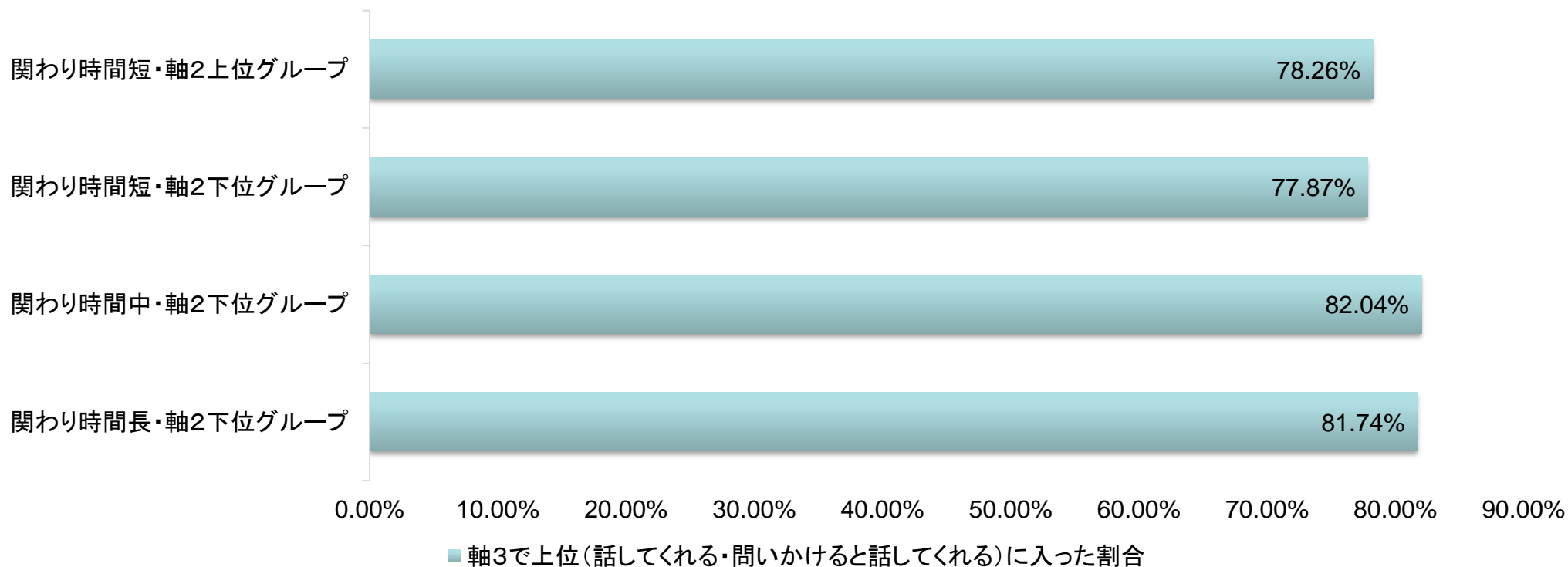
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント



軸2: 子どもをどれくらい叱っているか

上位G: たまにしか叱らない、ほとんど叱らない / 下位G: 毎日のように叱っている、毎日ではないがよく叱っている

子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？(軸3)



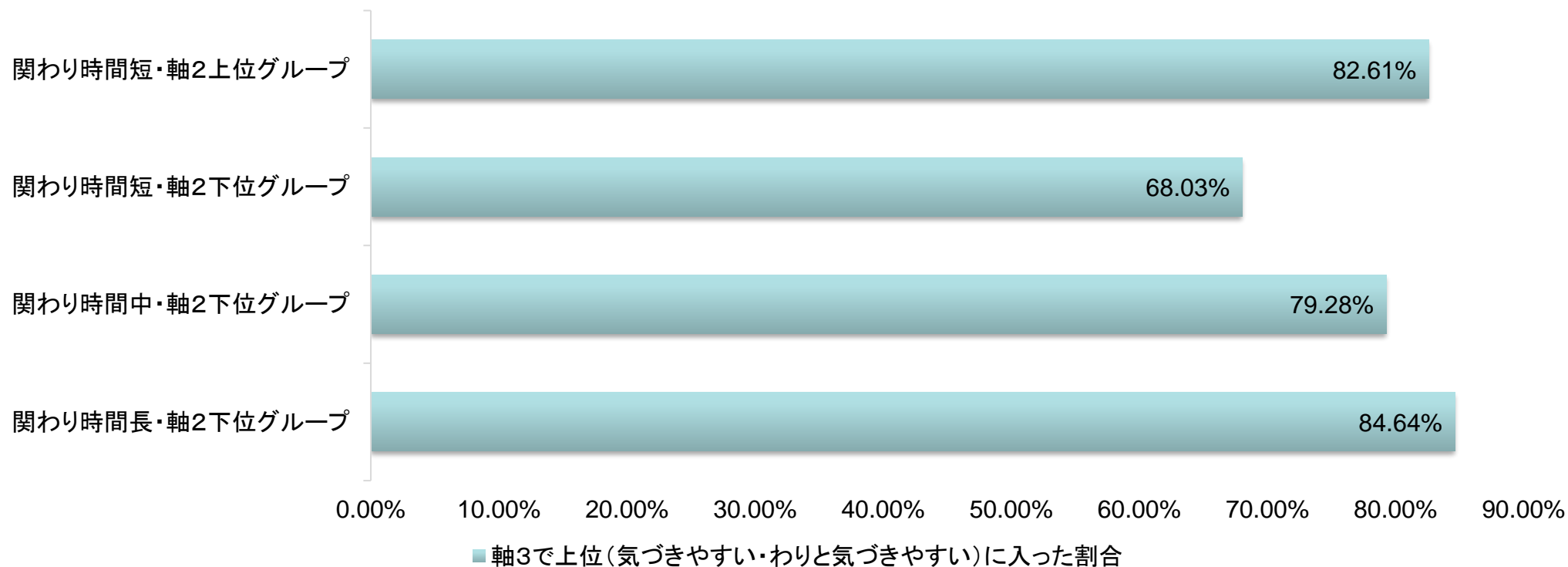
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント



軸2: 子どもをどれくらい叱っているか

上位G: たまにしか叱らない、ほとんど叱らない / 下位G: 毎日のように叱っている、毎日ではないがよく叱っている

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？ (軸3)



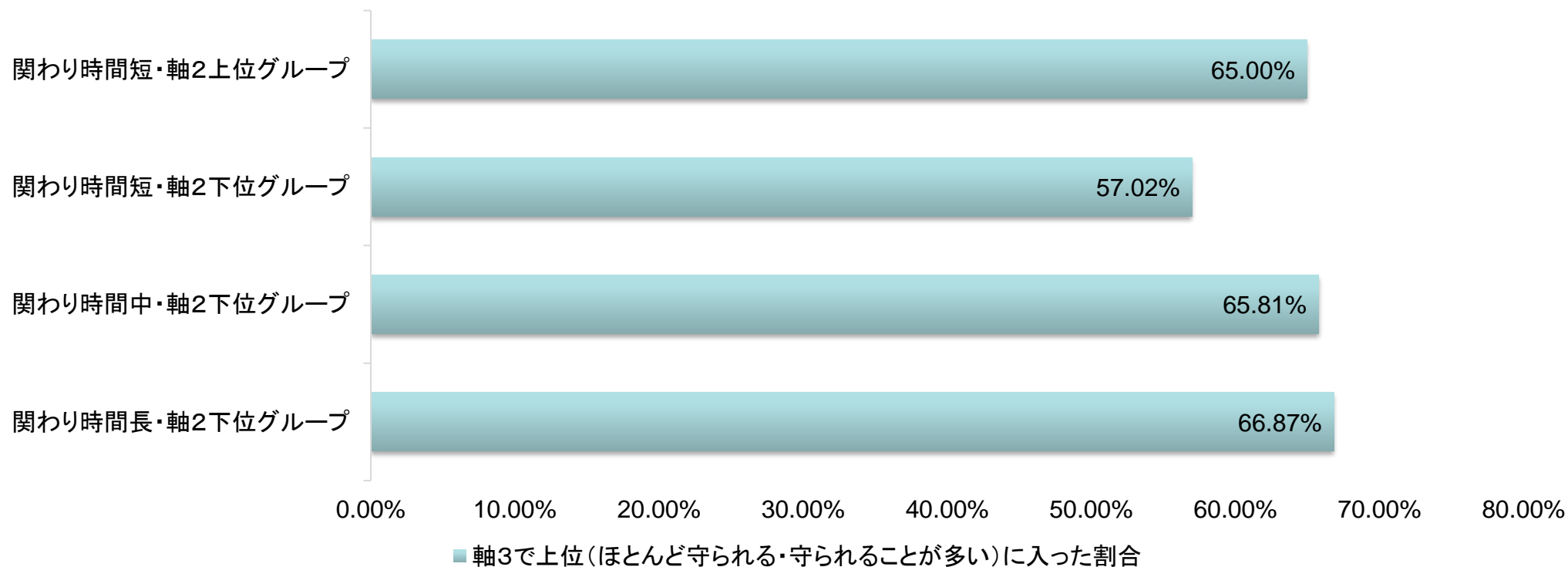
時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント



軸2: 子どもをどれくらい叱っているか

上位G: たまにしか叱らない、ほとんど叱らない / 下位G: 毎日のように叱っている、毎日ではないがよく叱っている

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？ (軸3)

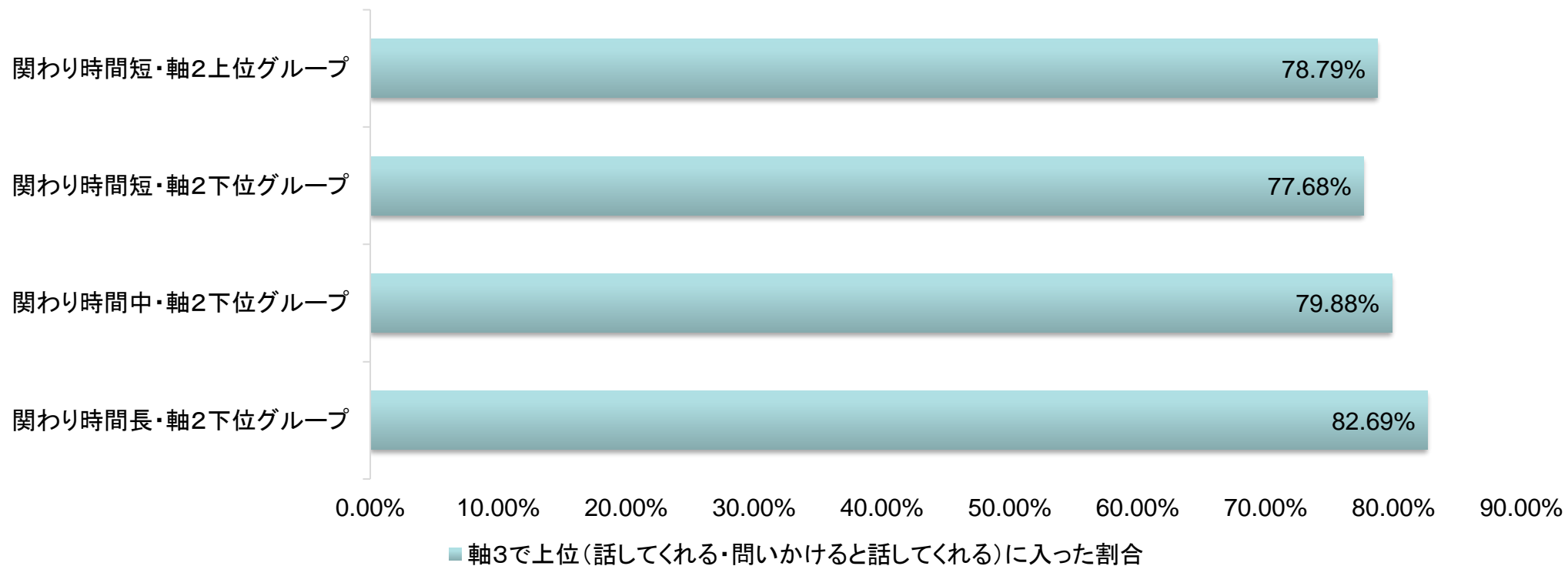


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 子どもを叱るとき、感情的になって「怒る」になってしまふことはあるか

上位G: ほとんどそうならない、たまにそうなる / 下位G: ほぼ毎回そうなる、そうなることが多い

子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？ (軸3)

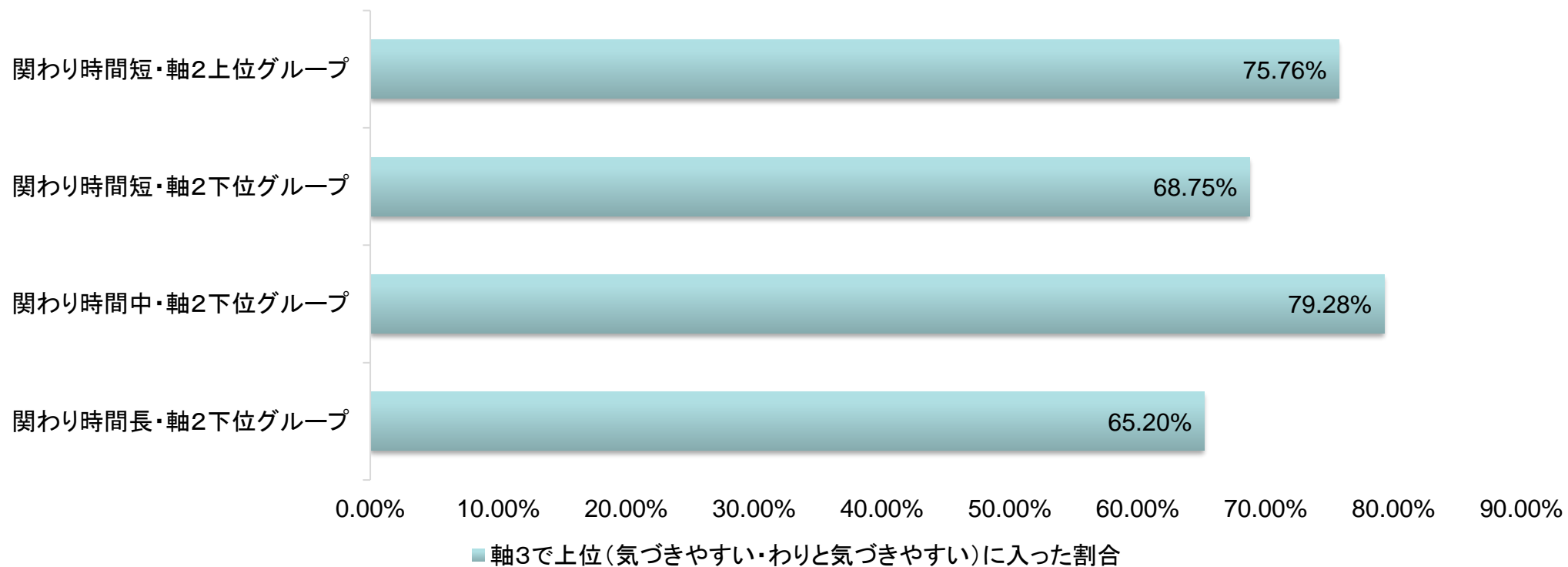


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 子どもを叱るとき、感情的になって「怒る」になってしまふことはあるか

上位G: ほとんどそうならない、たまにそうなる / 下位G: ほぼ毎回そうなる、そうなることが多い

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？ (軸3)

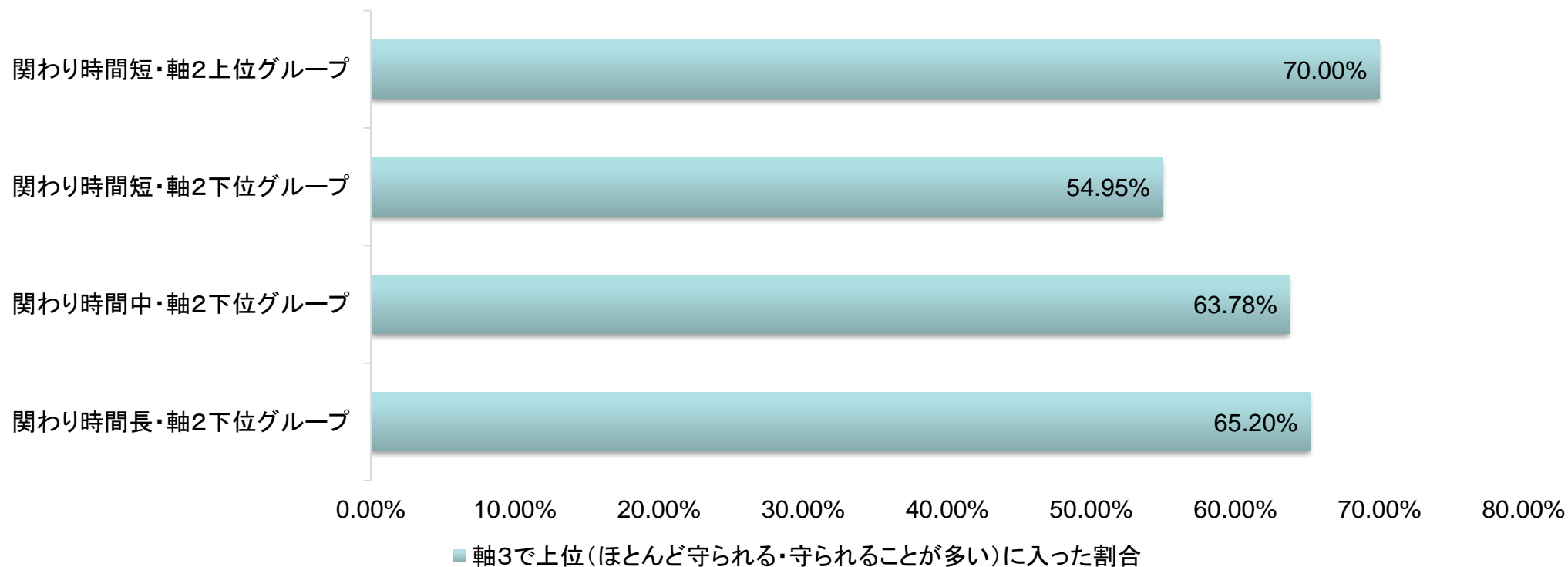


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 子どもを叱るとき、感情的になって「怒る」になってしまふことはあるか

上位G: ほとんどそうならない、たまにそうなる / 下位G: ほぼ毎回そうなる、そうなることが多い

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？ (軸3)



時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

また、子どもによくする声かけについて、「助長の声かけ」か「命令の声かけ」の、

1. 子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？
2. 子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？
3. 子どもと交わす約束、子どもは守っているか？

との関連性分析も行った。

【分析方法】 下記3つの軸でクロス集計を行った

軸1:子どもとの関わり時間3グループ(短時間・中時間・長時間)

軸2:声かけ内容を「助長の声かけ」「命令の声かけ」の2種に分類(※シート21、22同様)

軸3:3質問に関しても上位、下位の2グループに分割。



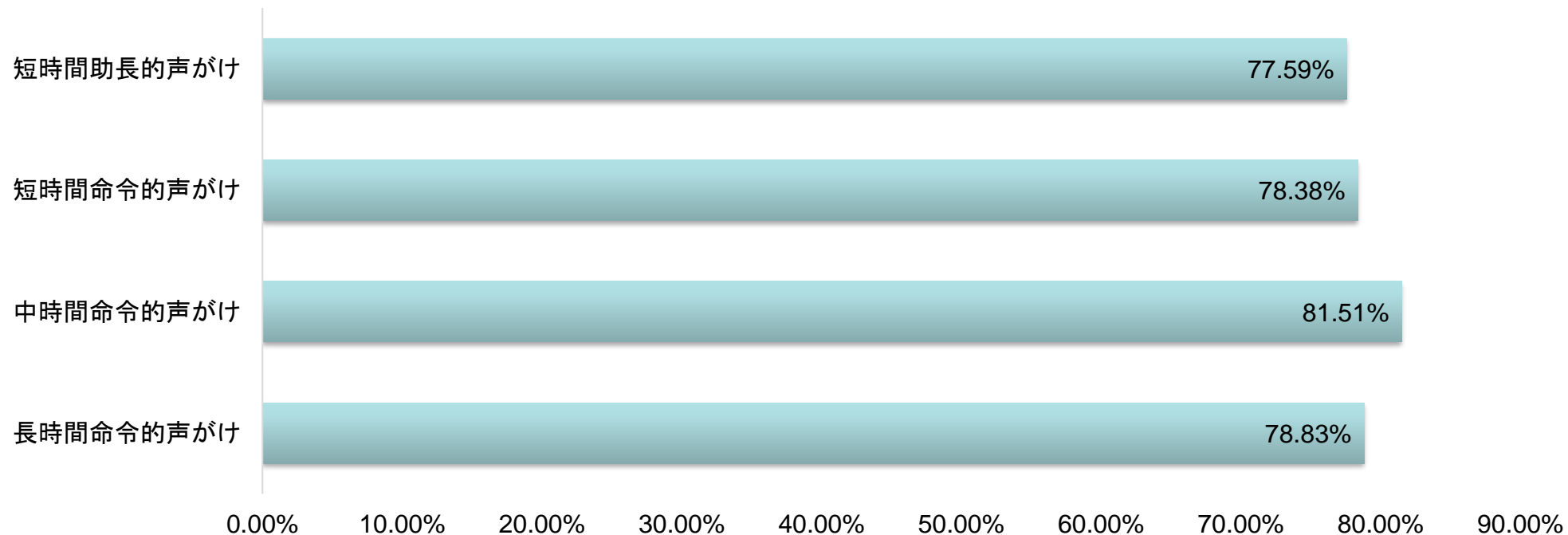
「子どもとの関わり時間 × 第2軸声かけ分類」ごとに、第3軸で上位グループに入る割合を算出

(例:関わり時間が短く、かつ子どもによくする声かけで「助長の声かけ」を選んだ保護者が、何%が子どもは悩みなどを話し、相談してくれると感じているか) ※よくする声かけは3つまで選択可能。第3軸での数値は、1保護者ではなく、1回答に対応する。

時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 子どもによくする声かけは「助長の声かけ」「命令の声かけ」か

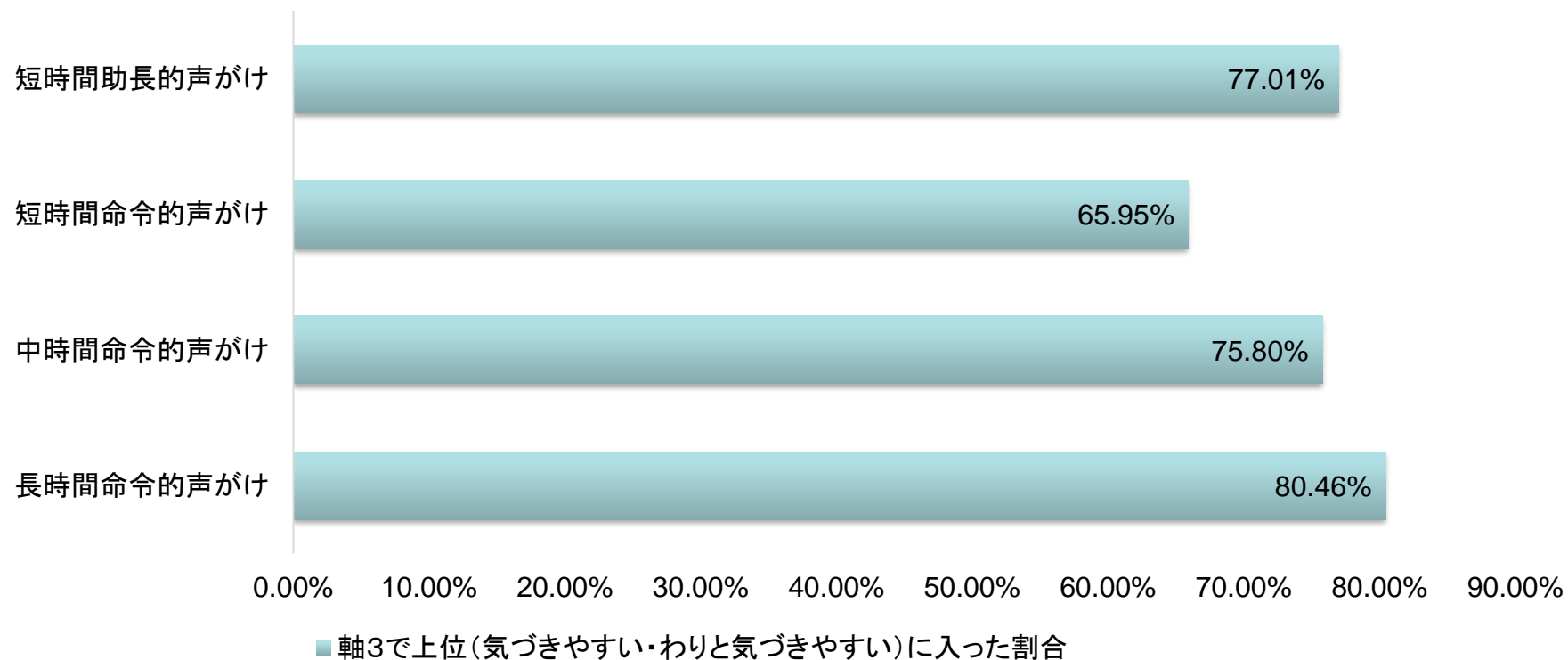
子どもは悩みなどを話し、相談してくれるか？（軸3）



時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

軸2: 子どもによくする声かけは「助長の声かけ」「命令の声かけ」か

子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすいか？（軸3）

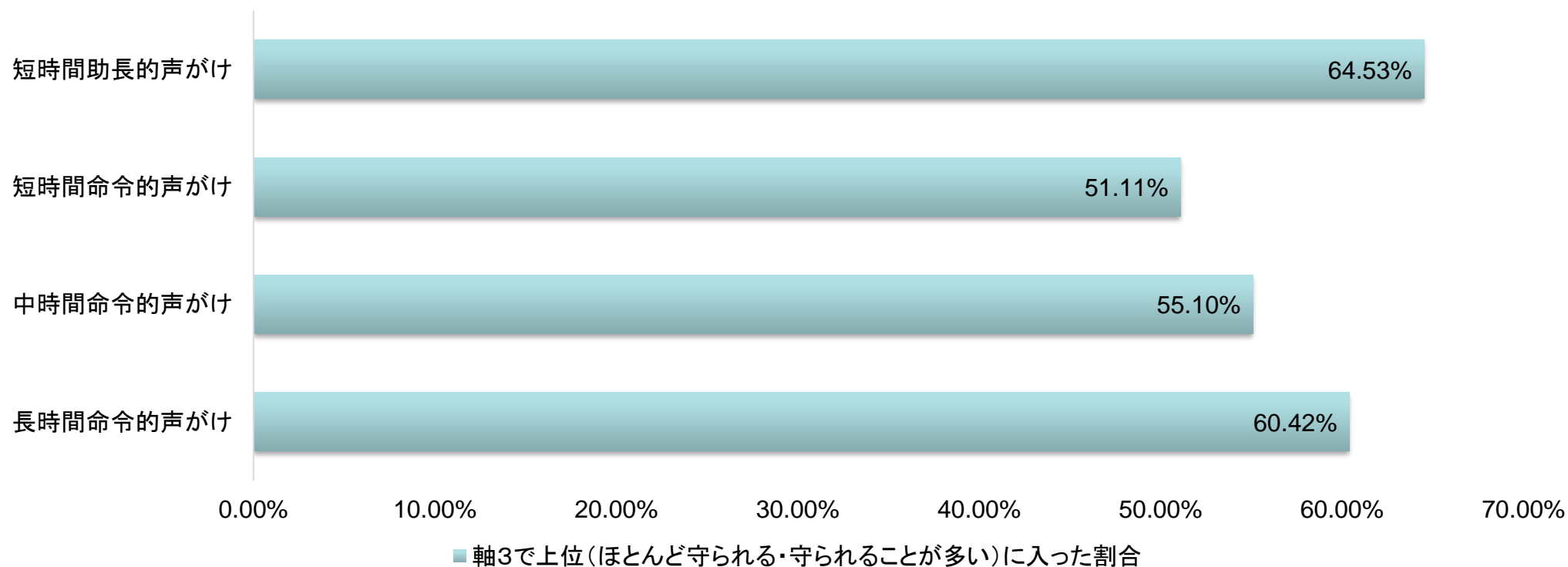


時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント



軸2: 子どもによくする声かけは「助長の声かけ」「命令の声かけ」か

子どもと交わす約束、子どもは守っているか？(軸3)



時間が少ない中でも、良い親子関係を築くポイント

子どもと関わる時間が短くても、適切な姿勢・行動を示すことによって…

- 子どもは悩みなどを話し、相談をする。
- 子どもの落ち込みや悩みなど、変化に気づきやすい。
- 子どもと交わす約束を子どもが守る。

子どもと関わる時間が長くても、適切な姿勢・行動を示さないとよい関係性が築けない。

ポジティブな声かけなどが子どもとの関係にプラスに働く。

→時間(量)よりも適切な姿勢・行動という内容(質)を重視すべき！

「子どもをほめる」関わり、平成29年ポピー会員調査との比較※参考



良い親子関係を築くためには、「ほめる」を中心とした「子どもがポジティブな感情を持ちやすい関わり方(関わり方の質)」がポイントになると考えられるが、こうした関わり方は過去と比べどのように変化しているかコロナ以前、平成29年度ポピー会員に実施した「親子のほどよい距離感チェック」※での類似質問項目への回答数値と比較を行った。

※「親子のほどよい距離感チェック」はポピー会員保護者約12,000人に対し、アンケート用紙で調査実施。対象は幼児(子どもの学齢2歳～年長)、小学(同小1～小3)、かつ保護者の就業形態を対象設定に加えていないなど調査の条件が異なる。

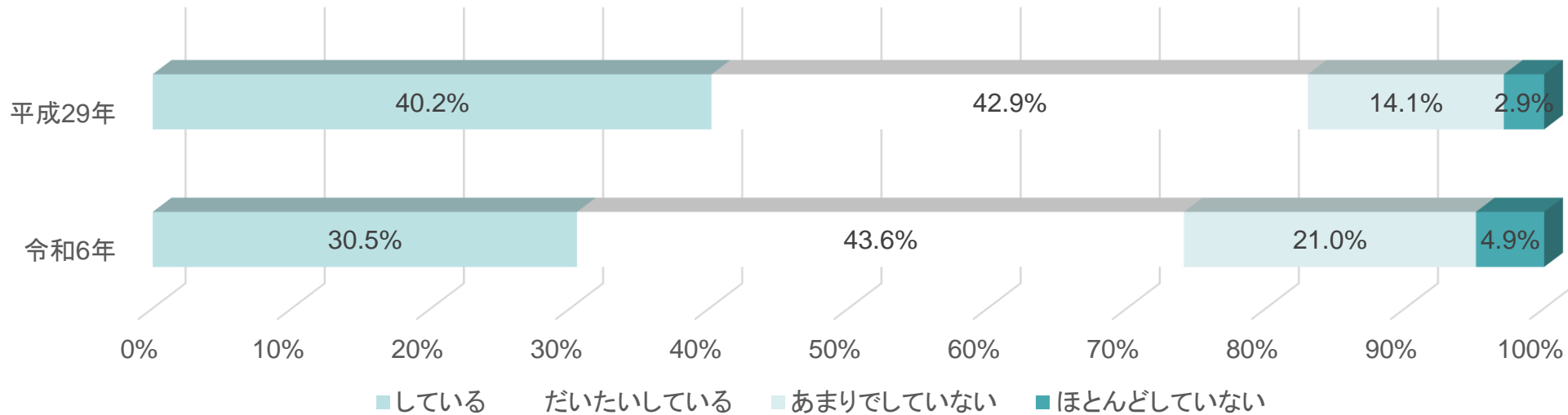
調査対象・条件が異なり、またポピー会員は教材・情報誌等で「親子の楽しいふれあい」「ほめる」の重要性を意識する機会が多いため単純比較できないが、参考として記載。

「子どもをほめる」関わり、平成29年ポピー会員調査との比較※参考

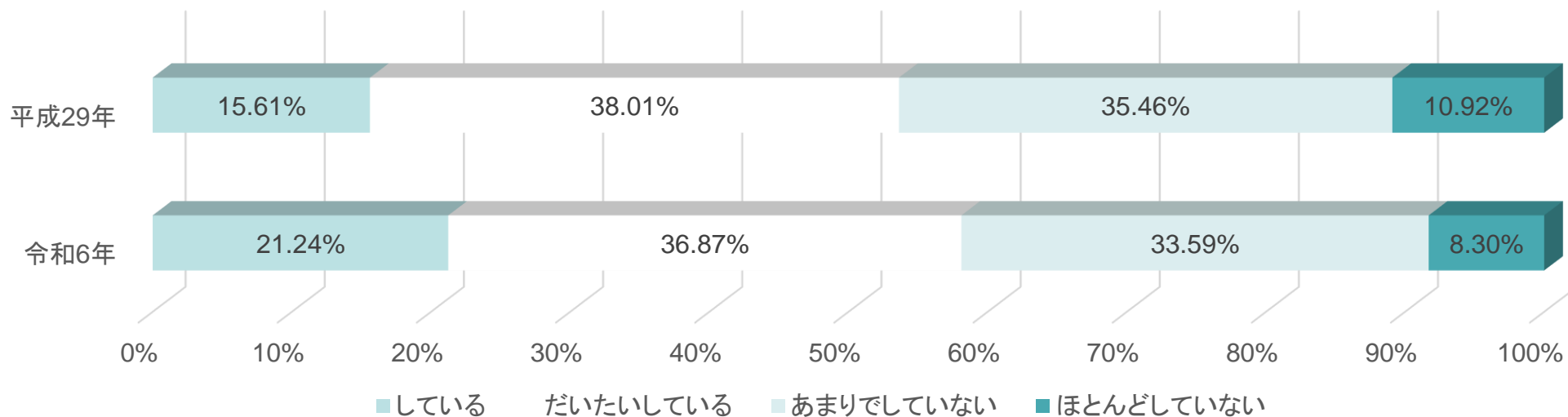


できて当たり前のようなことでも認め、ほめているか

幼児



小学

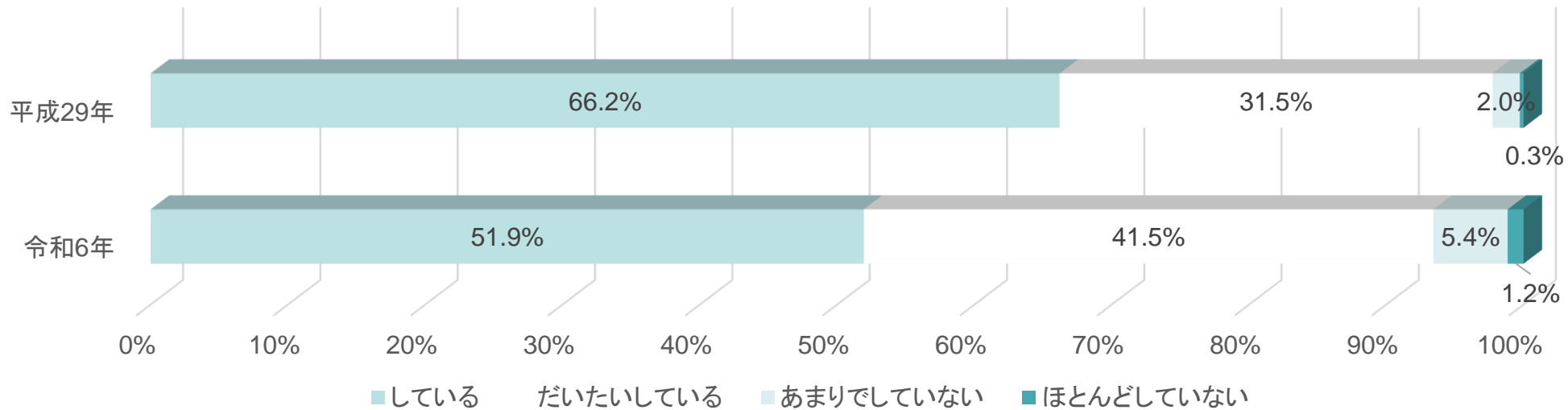


「子どもをほめる」関わり、平成29年ポピー会員調査との比較※参考

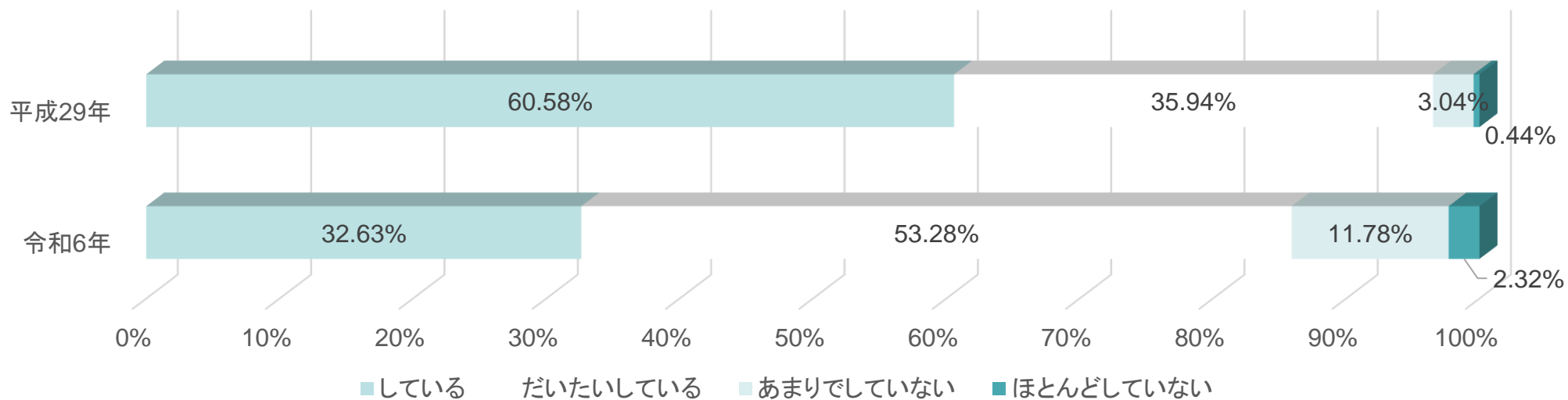


できるだけ、その場ですぐにほめたり叱ったりしているか

幼児



小学

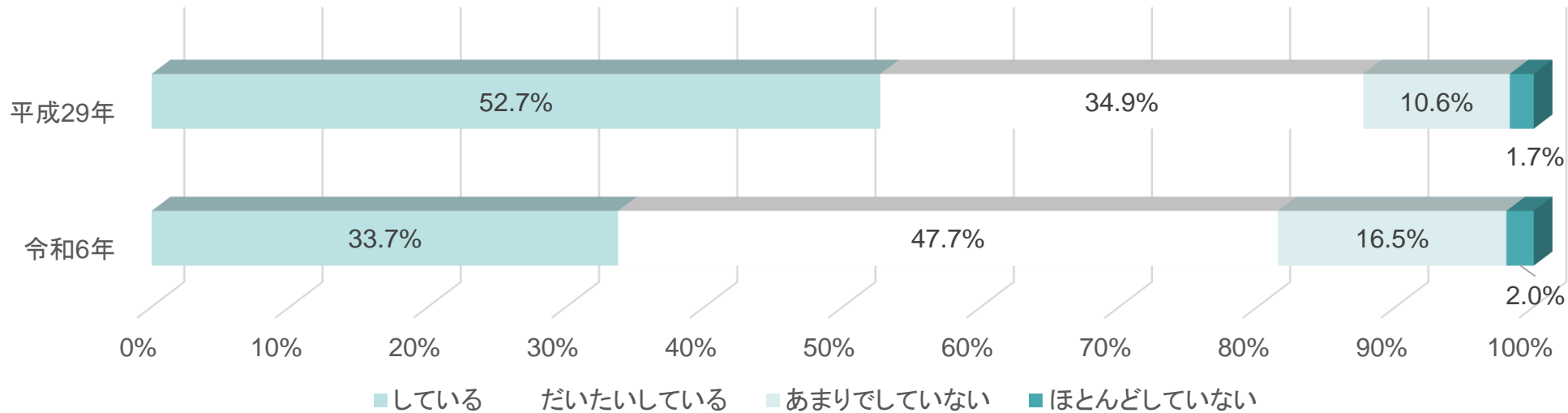


「子どもをほめる」関わり、平成29年ポピー会員調査との比較※参考

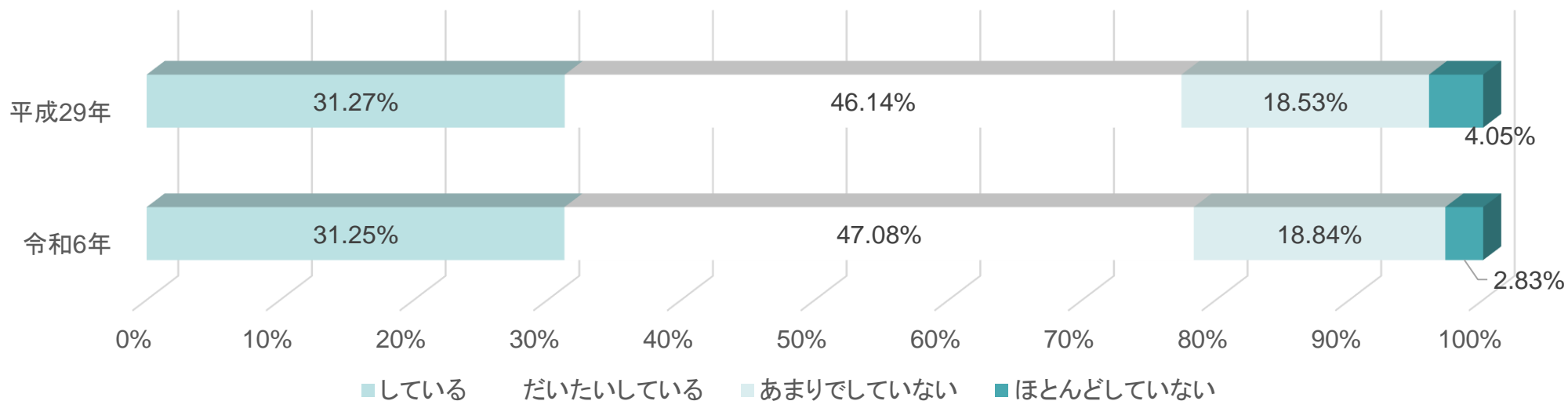


友達やきょうだいなど比べないで、その子自身の良さを認め、ほめているか

幼児



小学

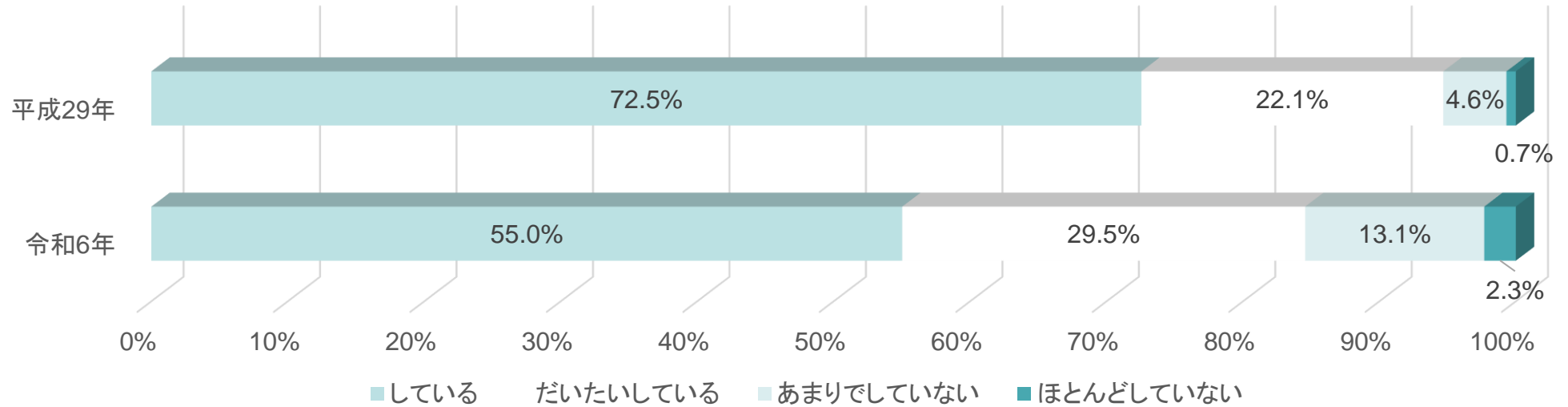


「子どもをほめる」関わり、平成29年ポピー会員調査との比較※参考

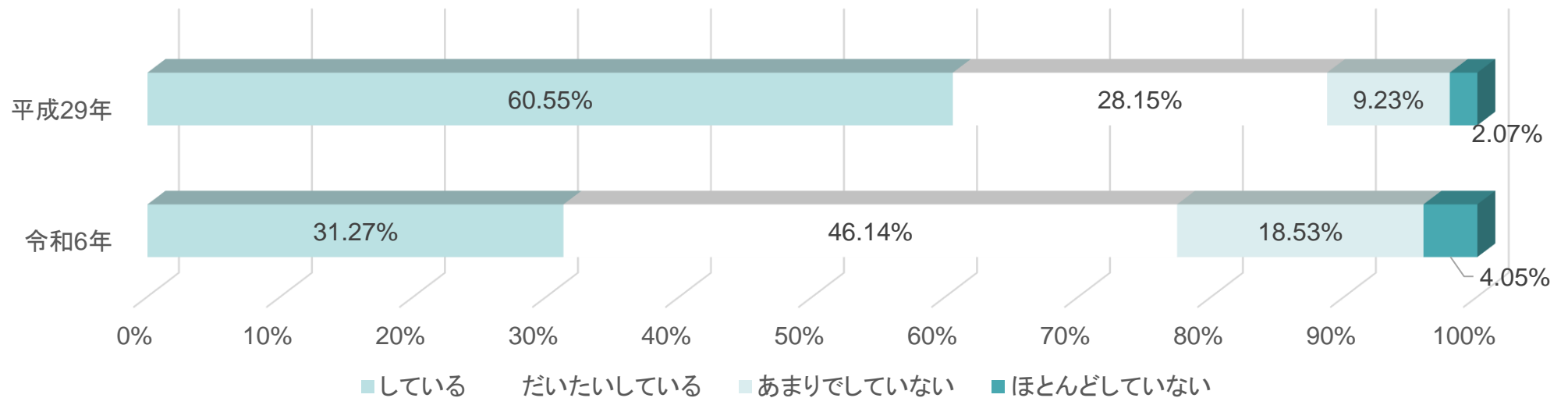


抱きしめるなどのスキンシップを心がけているか

幼児



小学

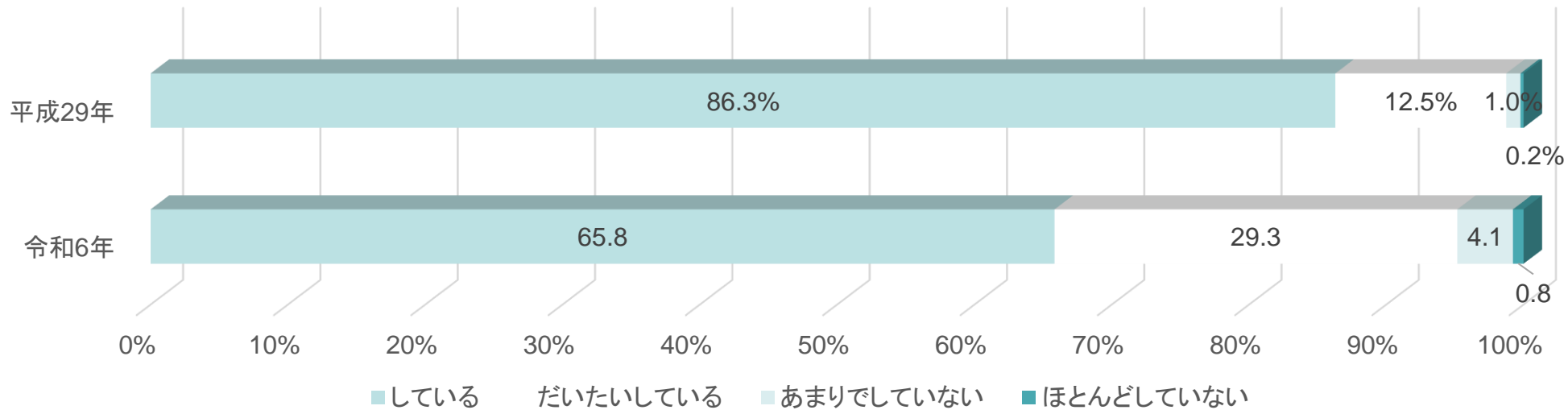


「子どもをほめる」関わり、平成29年ポピー会員調査との比較※参考

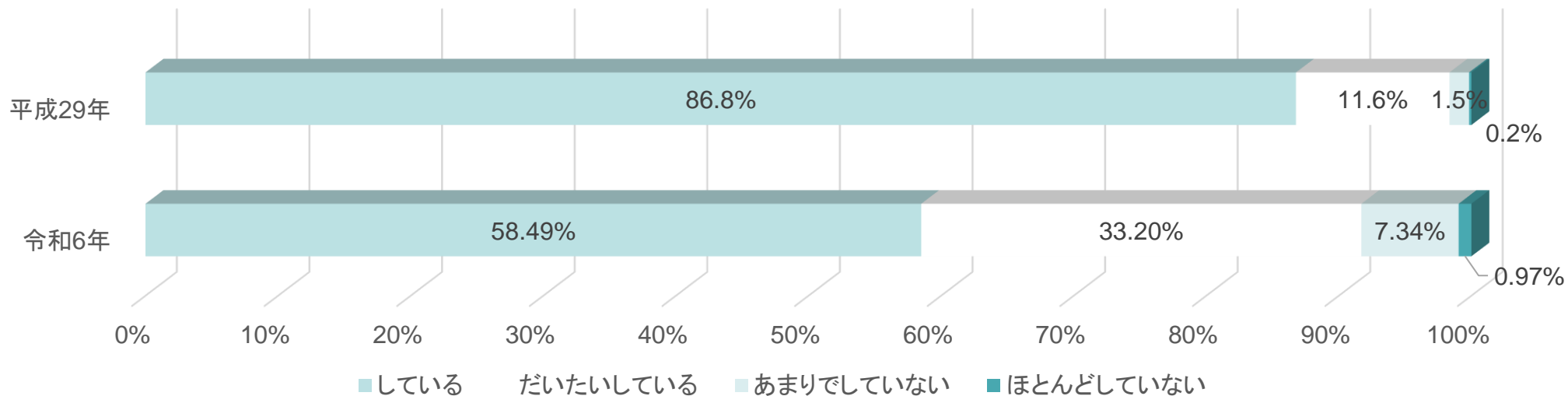


朝夕の挨拶や「ありがとう」などの言葉を交わしているか

幼児



小学



全家研運動展開への反映

参考ではあるが、7年前調査との比較では、「ほめる」など、子どもとの関わり方が希薄になってきている傾向が見られる。

	幼児	小学
できて当たり前のようなことでも認め、ほめているか	↓	↑
できるだけ、その場ですぐにほめたり叱ったりしているか	↓	↓
友達やきょうだいなどと比べないで、その子自身の良さを認め、ほめているか	↓	↑
抱きしめるなどのスキンシップを心がけているか	↓	↓
朝夕の挨拶や「ありがとう」などの言葉を交わしているか	↓	↓

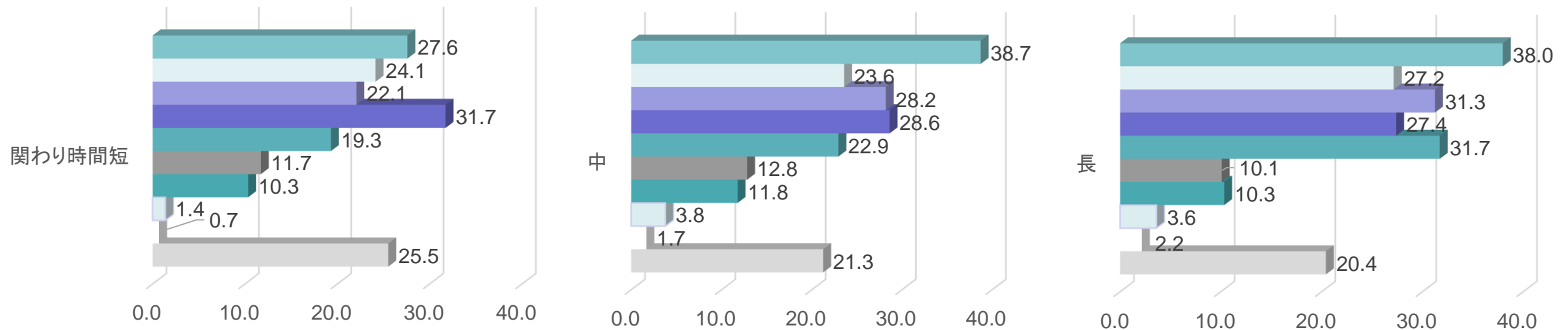
課題：忙しく、「子どもとの関わり時間」もあまり持てない保護者に、どのように「質の高い関わり」の認知を広げていくか、機会の提供を行うか。

以下シートで、関わり時間(短中長)別に、情報収集手段、生活リズム、興味・問題意識の対象を比較する

全家研運動展開への反映

子どもとの関わり方について、どんなところから情報を得ているか

※回答最大3つまで選択可



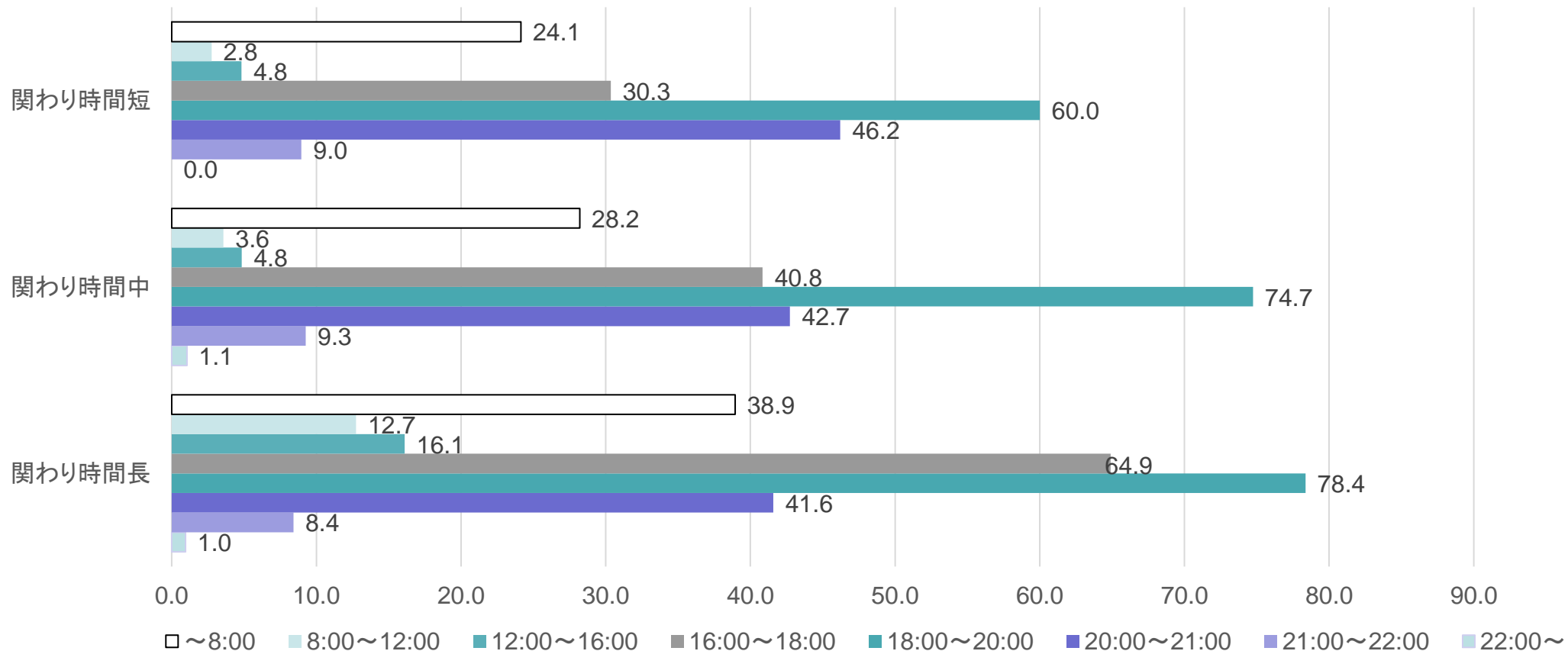
- YouTube動画、InstagramなどのSNS
- 子育て情報サイト、ウェブページ
- 学校や園の先生
- 保護者同士の横のつながり
- 両親や子育て経験のある年長者
- テレビやラジオ
- 新聞や雑誌、本
- 子育て講座、講演会
- 役所など行政
- 情報は得ていない／あてはまるものはない

- ・全体的にSNSや情報サイトなどを活用して情報収集している。
- ・関わり時間が長い保護者は、広く情報収集
- ・関わる時間が短い保護者は、適切に情報が得られていない可能性
- ・関わり時間が短い保護者ほど、保護者どうしのつながり、学校や塾の先生からが多くなる。

全家研運動展開への反映

子どもと関わりを持てる(持ちやすい)のは、平日はどの時間帯か

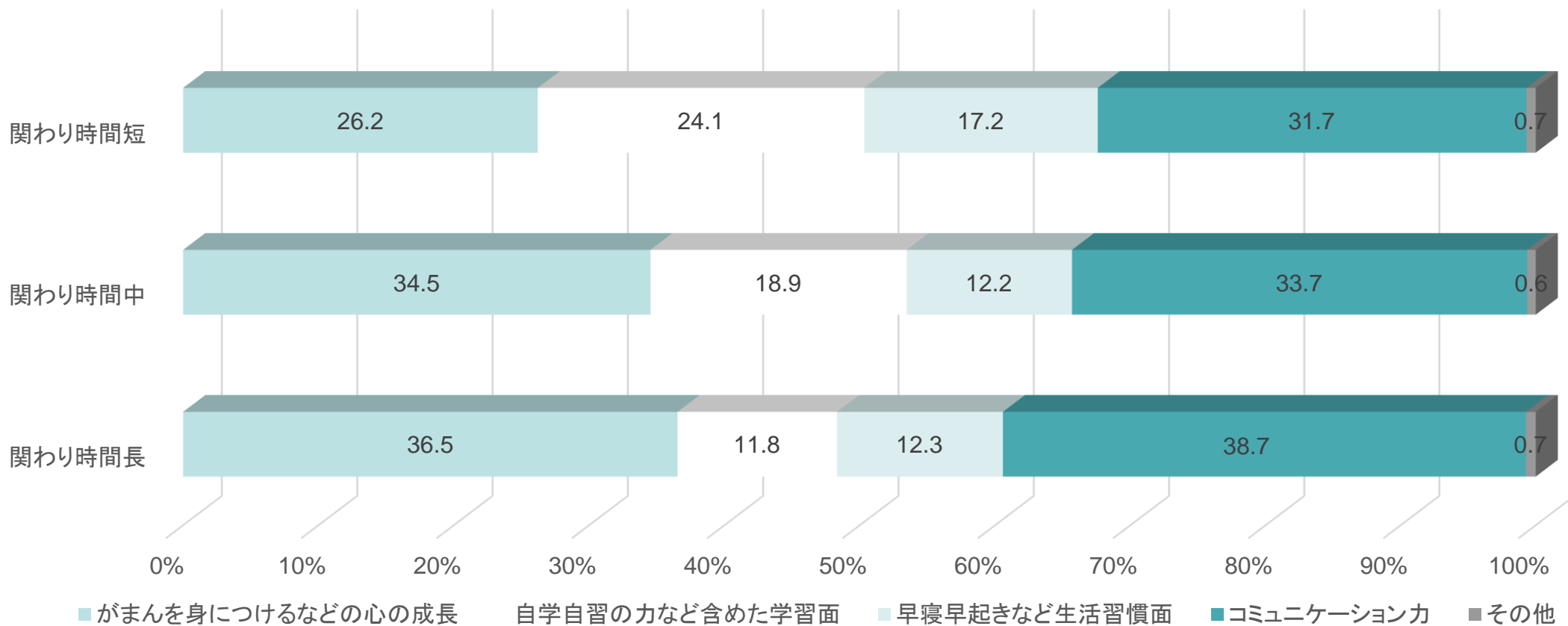
※回答最大3つまで選択可



関わり時間の長短に関わらず、18時～21時が最も関わりを持ちやすい時間帯だが、短時間はその傾向が強くなる。

全家研運動展開への反映

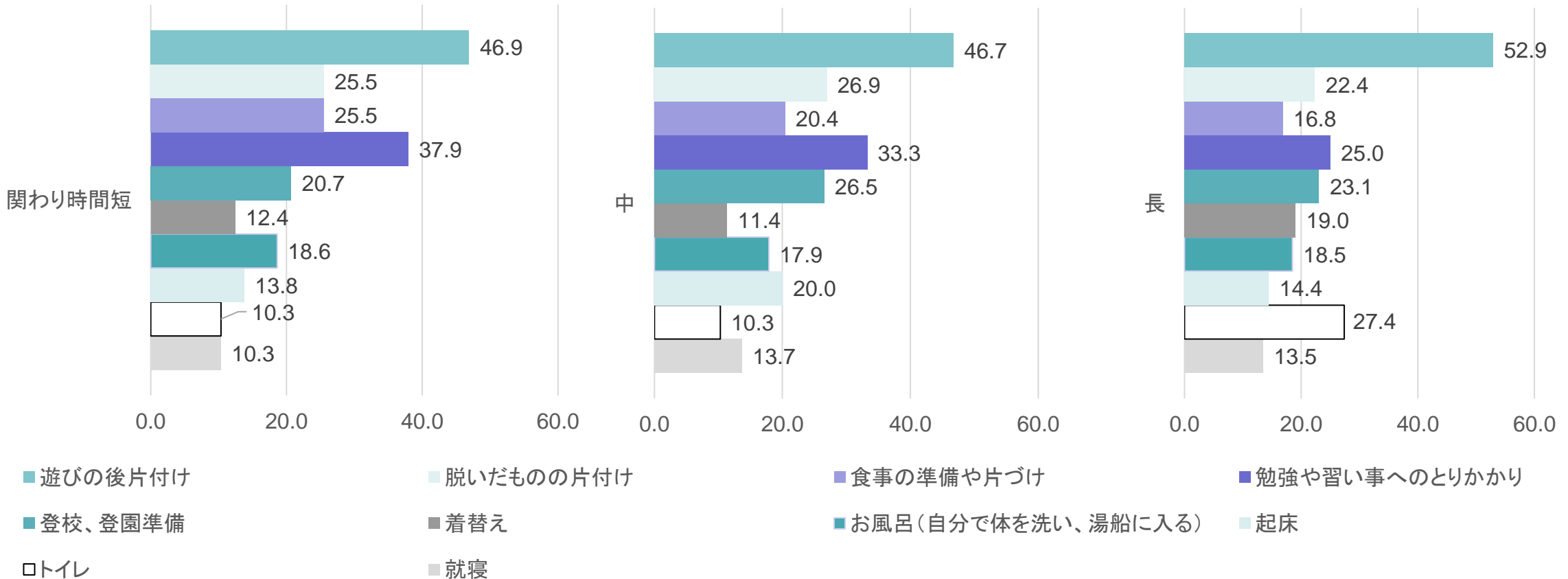
子どもの成長の上で、下記のうち今後最も重視していきたいのは、こういった面か



関わり時間が短いと「学習面」「生活面」の成長重視が多くなる。

全家研運動展開への反映

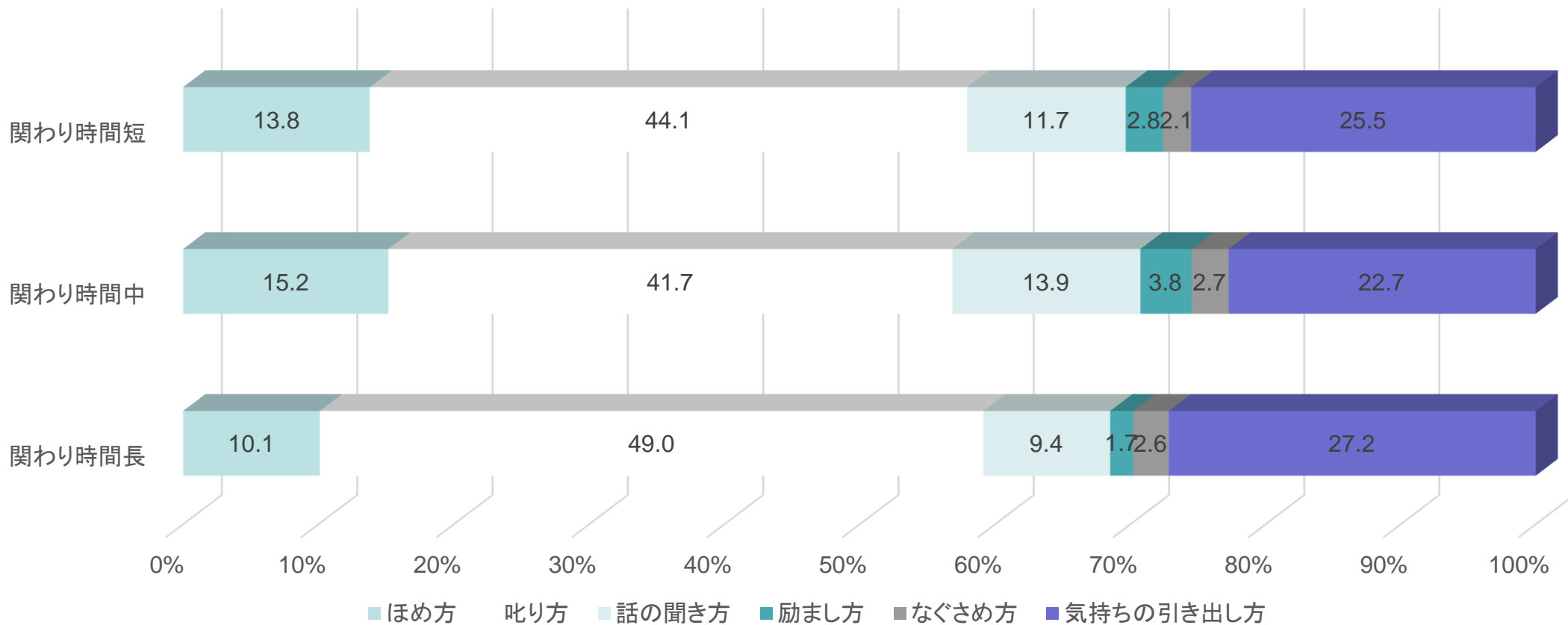
子どもに「もっとできるようになってほしい」と思うこと ※回答最大3つまで選択可



- ・全体的に「もっとできるようになってほしい」ことのトップは「片づけ」関係。
- ・共通事項もあるが、ニーズは多様化している(長時間:トイレ、短・中時間:勉強や習い事へのとりかかり)
- ・ニーズに合った情報提供方法の模索が必要。

全家研運動展開への反映

子どもとの関わり方について、最もやり方に悩み、うまくなりたいと思うこと

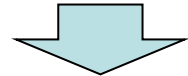


全体的に「叱り方」がトップ、次いで「子どもの気持ちの引き出し方」。

「ほめ方」については最もできていない傾向が強い、関わり時間短の保護者の関心は高くない。

- ・子どもとの関わり時間が短いほど、子どもとの関わり方で「ほめる」や「一緒に楽しむ」、「助長的な声かけをする」などの、「子どもが嬉しい、楽しいなどポジティブな感情を抱きやすい関わり」が少なくなる。
- ・子どもとの関わり時間が短くても、「叱る」「命令的な声かけをする」など、「子どもが嬉しくない、楽しくないなどネガティブな感情を抱きやすい関わり」は減少していない。
- ・子どもとの関わり時間が短くても、「子どもがポジティブな感情を抱きやすい関わり方」を実施してる保護者は、「子どもが悩み等相談してくれる」「子どもが約束を守る」など、良好な親子関係が築けている（と感じている）傾向が強い。
- ・子どもとの関わり時間が短くても、「子どもとの楽しい時間」を持っている保護者は、「ほめる」「はげます」などができている。

- ・ほめるを中心とした「子どもがポジティブな感情を抱きやすい関わり」は「ネガティブな関わり」より、親子の信頼関係を強め、良好な関係を構築するのに有効と推測できる。
- ・子どもとの関わり時間が減少傾向にある中、「ほめる」など子どもへのポジティブな関わり方も減少傾向にあるように見られる。
- ・但し、「ほめるなどの子どものポジティブな関わり方」への保護者の直接的関心は高くはない。
- ・特に子どもとの関わり時間が短い層は、即効的、具体的な効果・結果を求めている傾向が強い。



**改めて、全家研の対話活動、「10分よりそい運動」で、
全家研五訓「親は、まず、暮らしを誠実に」「子どもには楽しい勉強を」にもつながる
「親子の楽しい関わり」の大切さの認知、実行を促進していくことが重要。**

【保護者への意識づけをどう行っていくべきか】

保護者の興味・関心を得る入口は「具体的な効果、結果」 ※特にWebページでは「検索対策」として大切

例: 言わなくても片づけするには等

「ほめるを中心とした子どものポジティブな関わり方」はそれを実現する手段として具体的方法を提示

例: 「片づけたらこうほめよう」等

その上での「ポジティブな関わり方の有効性の根拠」を提示

※今回の調査・分析結果を数値的根拠として提示し、そのうえでなぜ「ほめる」などのポジティブな関わりが「子どもが約束を守るようになる」ことにつながるのかを説明していく。